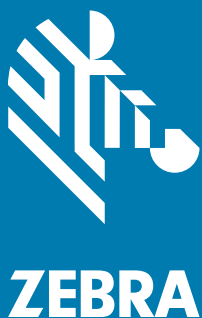


TC25

高耐久性スマートフォン



ユーザー ガイド
Android™ 7.1.2 Nougat
対応



著作権

©2018 ZIH Corp. and/or its affiliates. All rights reserved. ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。Google、Google Play およびその他のマークは、Google Inc. の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

著作権および商標: 著作権および商標の詳細情報については、www.zebra.com/copyright を参照してください。

保証: 保証に関する詳細情報については、www.zebra.com/warranty を参照してください。

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: EULA の詳細情報については、www.zebra.com/eula を参照してください。

使用の条件

- 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を認めています。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者への開示を行うことは認められません。

- 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。仕様および設計は、すべて予告なしに変更されることがあります。

- 免責条項

Zebra Technologies は、一定の手続きを通じて、公開したエンジニアリングの仕様とマニュアルが適正であることを確認しています。ただし、エラーが発生する可能性は皆無ではありません。Zebra Technologies は、かかるエラーを修正する権利を留保し、それに起因する責任は負わないものといたします。

- 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の管轄区域では、付随的または間接的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	名称
-01 改訂版 A	2017 年 9 月	初期リリース
-03 改訂版 A	2018 年 2 月	BSP 04-14-XX 向けメンテナンス リリースのアップデート
-04 改訂版 A	2018 年 9 月	WLANセキュリティと暗号化情報を更新してください (157ページ)。

目次

著作権	2
使用の条件	2
改訂版履歴	2
 目次	 3
 このガイドについて	 10
構成	10
章の説明	11
表記規則	11
関連文書およびソフトウェア	11
サービスに関する情報	12
マニュアルに関するフィードバック	12
 ご使用前に	 13
パッケージの開梱	13
機能	14
設定	16
microSD カードの取り付け	16
SIM カードの取り付け	18
バッテリーの充電	20
充電インジケータ	21
Google アカウント設定	22
Zebra Visibility Services	22
microSD カードの交換	22
SIM カードの交換	24
デバイス設定へのアクセス	26
バッテリー管理	26
バッテリー使用量の監視	26
低バッテリー通知	27
バッテリー最適化	28
無線通信をオフにする方法	28
日時の設定	28
ディスプレイの設定	29
画面の輝度の設定	29

画面回転の設定	29
画面のタイムアウトの設定	29
フォント サイズの設定	30
LED 充電の設定	30
LED 充電の設定	31
一般的なサウンド設定	31
ウェイクアップ ソース	32
 TC25 の使用	
Google モバイル サービス	34
ホーム画面	34
ホーム画面回転の設定	36
ステータス バー	36
ステータス アイコン	37
通知アイコン	38
通知の管理	39
アプリケーション通知の設定	39
全アプリの通知設定の表示	40
ロック画面の通知の制御	40
クイック設定	40
クイック設定のアイコンの編集	41
アプリケーション ショートカットとウィジェット	42
アプリケーションをホーム画面に追加する	42
ホーム画面にウィジェットを追加する	42
ホーム画面での項目の移動	42
アプリケーション ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除する	42
フォルダ	43
フォルダの作成	43
フォルダの名前付け	43
フォルダの削除	43
ホーム画面の壁紙	43
タッチスクリーンの使用方法	44
画面キーボード	44
テキストの編集	44
数字、記号、および特殊文字の入力	44
言語キーボードの切り替え	45
キーボードの構成	45
GMS キーボード	45
非通知機能	45
音と振動の制限	46
アラームのみ	46
優先通知のみ	47
音と振動の自動的なブロック	47
一定時間での音のミュート	47
イベントおよび会議でのミュート	48
サウンドをオンに戻す	48
特定アプリの非通知の上書き	48
アプリケーション	49
アプリケーションへのアクセス	51
現在使用されているアプリケーションの切り替え	52

画面のロック解除	53
スケジュールされた電源オン/オフ	54
デバイスのリセット	55
ソフト リセットの実行	55
ハード リセットの実行	55
サスペンド モード	56
USB を使用してホスト コンピュータにファイルを転送する	56
メディア転送プロトコルを使用してファイルを転送する	56
写真転送プロトコルを使用してファイルを転送する	57
ホスト コンピュータから切断する	57
 通話	
緊急通話	58
音声モード	58
Bluetooth ヘッドセットの使用	58
音量の調節	59
ダイヤラを使用して電話をかける	59
ダイヤラのダイヤル オプション	61
連絡先を使用して電話をかける	61
ダイヤラの使用	61
連絡先アプリケーションの使用	62
通話履歴を使用して電話をかける	62
会議通話セッションの確立	63
Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかける	65
通話への応答	65
通話設定	66
[Display Options] (表示オプション)	66
[Sounds and Vibrations] (着信音とバイブレーション)	67
[Quick Responses] (クイック レスポンス)	67
[Speed Dial Settings] (短縮ダイヤルの設定)	67
通話	67
[Call Blocking] (通話のブロック)	68
ユーザー補助	68
 アプリケーション	
ファイル ブラウザ	69
メッセージング	71
テキスト メッセージの送信	71
マルチメディア メッセージの送信	71
連絡先	73
連絡先の追加	73
連絡先の編集	73
連絡先の削除	73
カメラ	74
写真の撮影	74
パノラマ写真の撮影	75
ビデオの録画	75
写真設定	76
ビデオの設定	77

写真	79
アルバムの処理	80
アルバムの削除	81
写真の処理	81
写真の表示およびブラウズ	81
写真のトリミング	82
連絡先アイコンとしての写真の設定	82
写真の共有	82
写真の削除	83
ビデオの処理	83
ビデオの再生	83
ビデオの共有	83
ビデオの削除	83
DataWedge のデモンストレーション	84
サウンド レコーダ	85
PTT Express Voice Client	86
PTT 音声通知	86
通知アイコン	87
PTT 通信の有効化	87
トーク グループの選択	88
PTT 通信	88
グループ通話の作成	88
プライベート応答での応答	88
PTT Express Voice Client 通信の無効化	89
RxLogger[RxLogger]	89
ログの有効化	89
ログの無効化	89
RxLogger ユーティリティ	90
診断ツール	91
設定	93
バッテリー テストの情報	93
GPS テスト情報	93
システム テストの情報	94
WLAN テストの情報	94
WWAN テストの情報	94
Bluetooth テストの情報	94
データ収集	
イメージング	95
動作モード	95
RS507 ハンズフリー イメージャ	96
RS6000 Bluetooth リング スキャナ	96
スキャン操作に関する考慮事項	97
内部 SE2100 イメージャを使用したバーコードのスキャン	97
SE2100 ピックリスト モード	98
SE2100 基本マルチバーコード モード	99
内部 SE4710 イメージャを使用したバーコードのスキャン	100
SE4710 基本マルチバーコード モード	101
RS6000 Bluetooth リング スキャナを使用したバーコード データの収集	102
RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り	103

Bluetooth イメージャのペアリング	105
Simple Serial Interface を使用してペアリングする	105
Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする	105
DataWedge	106
DataWedge の有効化	106
DataWedge の無効化	106
無線	
無線ワイド エリア ネットワーク	107
モバイル データ接続の共有	107
USB テザリング	107
Bluetooth テザリング	108
ポータブル Wi-Fi ホットスポット	108
携帯電話ネットワークの設定	109
ローミング中のデータの無効化	109
強化された 4G LTE モード	109
マイクロセルの検索	110
アクセス ポイント名の編集	110
SIM カードのロック	110
データ使用量	111
データ使用量の警告の設定	112
データ制限の設定	112
無線ローカル エリア ネットワーク	112
Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続	113
Wi-Fi ネットワークの削除	114
Bluetooth	114
適応型周波数ホッピング	115
セキュリティ	115
Bluetooth プロファイル	116
Bluetooth の電源の状態	116
Bluetooth 無線の電源	117
Bluetooth の有効化	117
Bluetooth の無効化	117
Bluetooth デバイスを検出する	117
Bluetooth の名前の変更	118
Bluetooth デバイスへの接続	118
Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択	118
Bluetooth デバイスのペアリング解除	118
アクセサリ	
アクセサリ	119
1 スロット ベース充電専用クレードル	122
デバイスの充電	122
バッテリーの充電	123
充電温度	123
1 スロット イーサネット充電クレードル	124
USB/イーサネット通信	124
イーサネット LED インジケータ	125
イーサネット接続の確立	126

デバイスの充電	126
バッテリーの充電	127
充電温度	127
5 スロット充電専用クレードル	128
TC25 の充電	129
バッテリーの充電	129
充電温度	129
Extended Power Pack	130
取り付け	130
充電機能	130
Power Pack の充電	132
充電温度	133
パワーレベルの確認	133
Extended Power Pack のリセット	134
トリガ ハンドル	135
オプションのストラップの取り付け	135
トリガ ハンドルへのデバイスのセット	136
トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し	137
リスト/アーム マウント	138
リスト/アーム マウントの取り付け	138
デバイスの取り付け	140
デバイスの取り外し	141
スキャン	141
ストラップの取り付け	142
ハンド ストラップ	144
ソフト ホルスタ	146
ホルスタの調整	146
 メンテナンスと トラブルシューティング	
TC25 の保守	149
ディスプレイのベスト プラクティス	150
画像の残留	150
バッテリーの安全に関するガイドライン	150
クリーニング方法	151
使用可能な洗剤の活性成分	151
有害成分	151
クリーニング方法	151
クリーニングの際の注意事項	151
必要なクリーニング材料	151
クリーニングの頻度	152
TC25 のクリーニング	152
筐体	152
ディスプレイ	152
カメラと出力ウィンドウ	152
コネクタのクリーニング	152
クレードルのコネクタのクリーニング	153
トラブルシューティング	154
TC25	154

目次

技術仕様	
TC25	157

インデックス

このガイドについて

このガイドでは、TC25 高耐久性スマートフォンとアクセサリの使用方法について説明します。

✓ **注** このガイドで示している画面とウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際の画面と異なることがあります。

このガイドは、次のモデル番号に適用されます。TC25AJ、TC25BJ、および TC25CJ。

構成

このガイドは、以下の構成を対象としています。

表 1 構成

構成	無線	オペレーティングシステム Android 7.1	メモリ RAM/フラッシュ	データ収集	8MP カメラ	アクセス ドア
TC25AJ-10B101xx	WAN/LAN/PAN	GMS	2GB/16GB	SE2100	○	空白
TC25AJ-10C102xx	WAN/LAN/PAN	GMS	2GB/16GB	SE4710	×	2 ピン
TC25BJ-10B101xx	WAN/LAN/PAN	GMS	2GB/16GB	SE2100	○	空白
TC25BJ-10C102xx	WAN/LAN/PAN	GMS	2GB/16GB	SE4710	×	2 ピン

注：インドネシアの構成では、LTE をサポートしていません。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **ご使用の前に**では、TC25 を初めて使用する際の手順について説明します。
- **TC25 の使用**では、TC25 の操作手順について説明します。
- **通話**では、音声通話の手順について説明します。
- **アプリケーション**では、TC25 にインストールされているアプリケーションの使用方法について説明します。
- **データ収集**では、バーコード データの読み取りについて説明します。
- **無線**では、さまざまな無線オプションについて説明します。
- **アクセサリ**では、TC25 用のアクセサリの使用方法について説明します。
- **メンテナンスとトラブルシューティング**では、クリーニングの手順と、TC25 の操作中に発生する問題に対するトラブルシューティング ソリューションについて説明します。
- **技術仕様**では、TC25 の技術仕様について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- 太字は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - 画面上のアイコン
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (・) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要があるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要がある手順 (順番を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書およびソフトウェア

TC25 高耐久性スマートフォンに関するより詳しい情報については、次の資料を参照してください。

- TC25 Quick Reference Guide (p/n MN-003052-xx)
- TC25 Regulatory Guide (p/n MN-003053-xx)
- TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide (p/n MN-003055-xx)

本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、次のサイトから入手可能です。zebra.com/support

サービスに関する情報

機器に問題がある場合は、www.zebra.com で提供されているセルフ ヘルプのサポート リソースを使用してください。セルフ ヘルプ リソースで十分に対応できない場合、お住まいの地域の Zebra グローバル カスタマーサポートにお問い合わせください。お問い合わせ先は、次のサイトに記載されています。zebra.com/support

サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

Zebra が、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Zebra カスタマー サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。承認された梱包箱が使用されない場合、移動中に被った損害に関して Zebra は責任を負いません。装置を不適切に移動すると、保証が無効になる場合があります。

Zebra ビジネス製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネスパートナーにお問い合わせください。

マニュアルに関するフィードバック

このガイドについてのご意見、ご質問またはご提案がある場合は、EVM-Techdocs@zebra.comまで電子メールにてご連絡ください。

ご使用前に

この章では、デバイスを初めて使用する際の手順について説明します。

パッケージの開梱

TC25 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

1. 次のものが含まれていることを確認します。
 - TC25 高耐久性スマートフォン
 - 規制ガイド
2. 機器に破損がないか確認してください。不足または破損している機器がある場合は、ただちにグローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
3. TC25 を初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

機能

図1 TC25 正面図

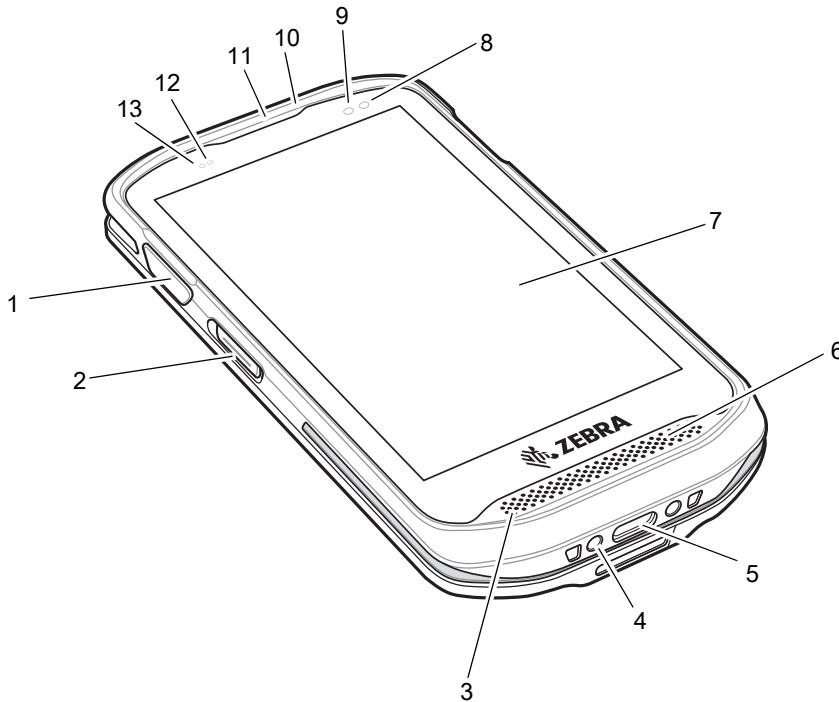


表 2 正面図の機能

番号	項目	機能
1	スキャン ボタン	データの収集を開始します (プログラム可能)。 黄色のボタン: SE4710 イメージャが搭載された TC25 灰色のボタン: SE2100 イメージャが搭載された TC25
2	PTT ボタン	プッシュトゥトーク通信を開始します (プログラム可能)。
3	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。
4	電源端子	TC25 の充電に必要な電力を供給します。
5	USB-C コネクタ	USB ホスト、クライアント通信、ケーブルおよびアクセサリを介したデバイスの充電に使用します。
6	スピーカ	ビデオと音楽の再生にオーディオを出力します。スピーカーフォンモードで音声出力します。
7	タッチ スクリーン	TC25 の操作に必要なすべての情報が表示されます。
8	充電/通知 LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
9	データ収集 LED	データ収集ステータスを示します。
10	マイク	スピーカーフォン モードでの通信に使用します。
11	レシーバ	ハンドセット モードでのオーディオ再生に使用します。

表 2 正面図の機能 (続き)

番号	項目	機能
12	光センサ	ディスプレイ バックライトの輝度をコントロールするために、周辺光を判別します。
13	近接センサ	ハンドセット モードでディスプレイをオフにする場合の近接状態を判別します。

図2 TC25 背面図

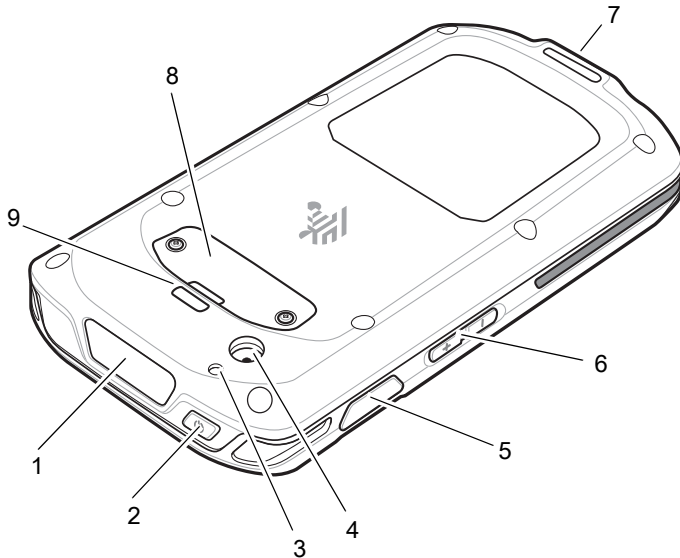


表 3 背面図の機能

番号	項目	機能
1	イメージ ウィンドウ	イメージを使用したデータ収集に使用します。
2	電源ボタン	ディスプレイのオン/オフを切り替えます。ボタンを押し続けると、デバイスのリセットまたはデバイスの電源オフを行うことができます。
3	カメラ フラッシュ	カメラの照明に使用します。
4	カメラ	写真やビデオを撮影します。
5	スキャン ボタン	データの収集を開始します。
6	音量上/下ボタン	音声のボリュームを上げ下げします。
7	ハンドストラップの取り付け箇所	ハンドストラップを掛ける際に使用します。
8	アクセス ドア	microSD カード スロットと SIM カード スロットにアクセスできます。トリガ ハンドル用の 2 ピン アクセス ドア (オプション) は、SE4710 イメージャ搭載のデバイスで使用できます。
9	ハンドストラップの取り付け箇所	ハンドストラップを掛ける際に使用します。

設定

この手順は、初めて TC2X を使用するときに行います。

1. microSD Secure Digital (SD) カード (オプション) を取り付けます。
2. nano SIM カードを取り付けます。
3. TC25 を充電します。
4. TC25 の電源をオンにします。

microSD カードの取り付け

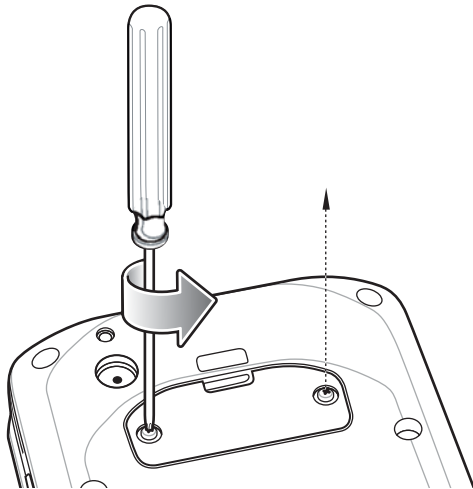
microSD カードをスロットに挿入すると、不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはアクセス ドアの下にあります。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカーの推奨使用方法に従ってください。



注意 microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することや作業者を適切に接地することなどが含まれます。

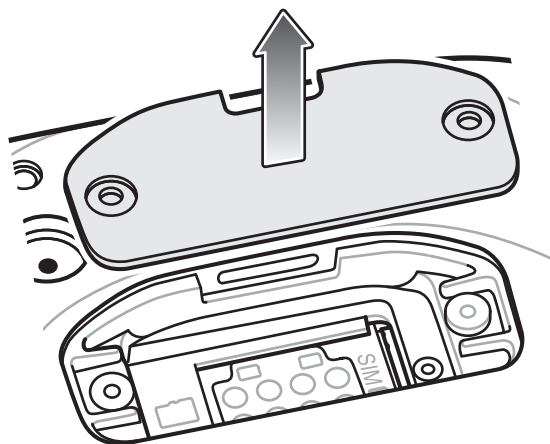
1. 0 番のプラス ドライバを使用して、アクセス ドアを固定している 2 本のねじを取り外します。

図3 アクセス ドアを取り外し



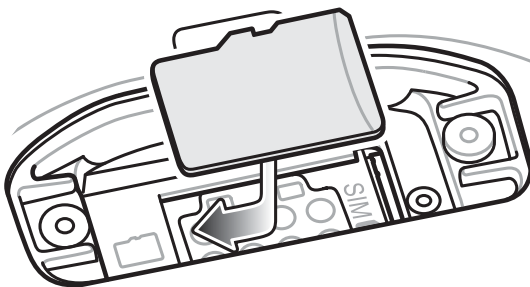
2. アクセス ドアを取り外します。

図4 アクセスドアの取り外し



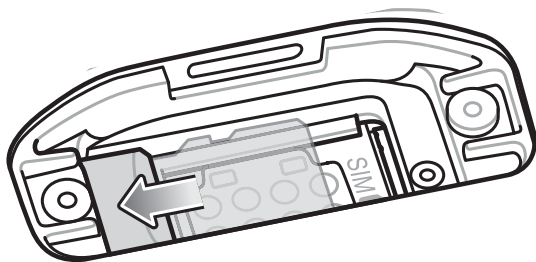
3. microSD カードを SD カード スロットに合わせます。

図5 microSD カードの挿入



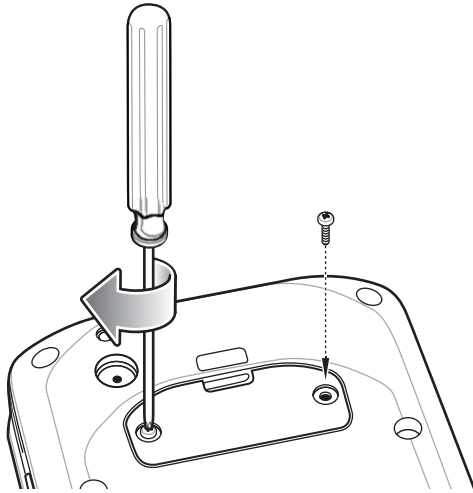
4. microSD カードを押して SD カード スロットに挿入します。

図6 microSD カードを押して SD カード スロットに挿入



5. アクセス ドアを元の位置に戻します。
6. 2 本のねじでアクセス ドアを固定します。

図7 アクセスドアの固定



SIM カードの取り付け



注 nano SIM カードのみを使用してください。

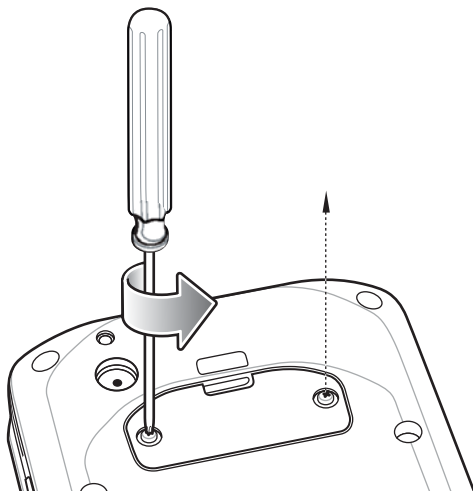
nano SIM カードの ESI TS102.221 規格、フォーム ファクタ 4FF (厚さ 0.67mm) に適合する nano SIM カードのみを使用してください。厚みのある mini SIM カードから切った SIM カードまたは micro SIM カードを使用しないでください。



注意 SIM カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することやユーザーを適切に接地することなどが含まれます。

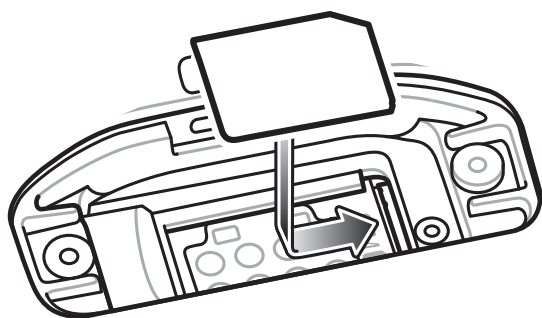
1. 0 番のプラス ドライバを使用して、アクセス ドアを固定している 2 本のねじを取り外します。

図8 アクセスドアの取り外し



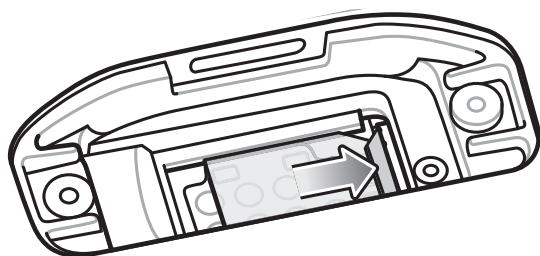
2. 接触面が下向きで切り欠きがデバイスの上方向くように、SIM カードと SIM カード スロットの位置を合わせます。

図9 SIM カードとスロットの位置合わせ



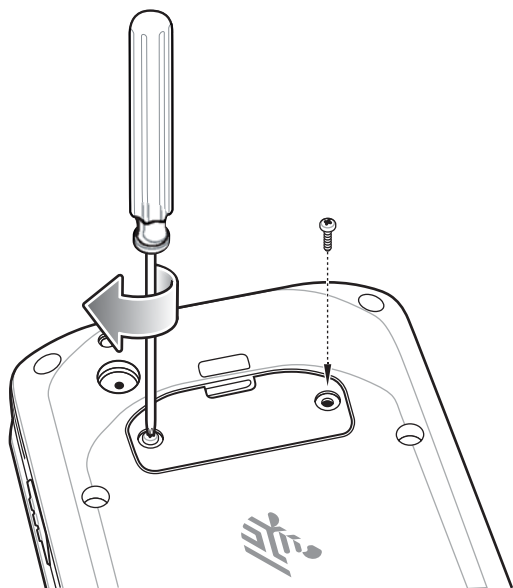
3. スロットにしっかりはまるまで SIM カードを押します。

図10 SIM カードをスロットに押し込む



4. アクセス ドアを再度取り付けます。

図11 アクセス ドアの取り付け



バッテリーの充電

TC25を初めて使用する場合は、バッテリー充電/通知発光ダイオード (LED) が緑色に点灯するまで、内蔵バッテリーを充電します。TC25 を充電するには、USB-C ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。TC25 で使用可能なアクセサリの詳細については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。

内蔵バッテリーが完全に空になっている場合は約 4 時間で 90% まで、約 5 時間で 100% まで充電されます。



注 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 10 時間連続で使用できます。

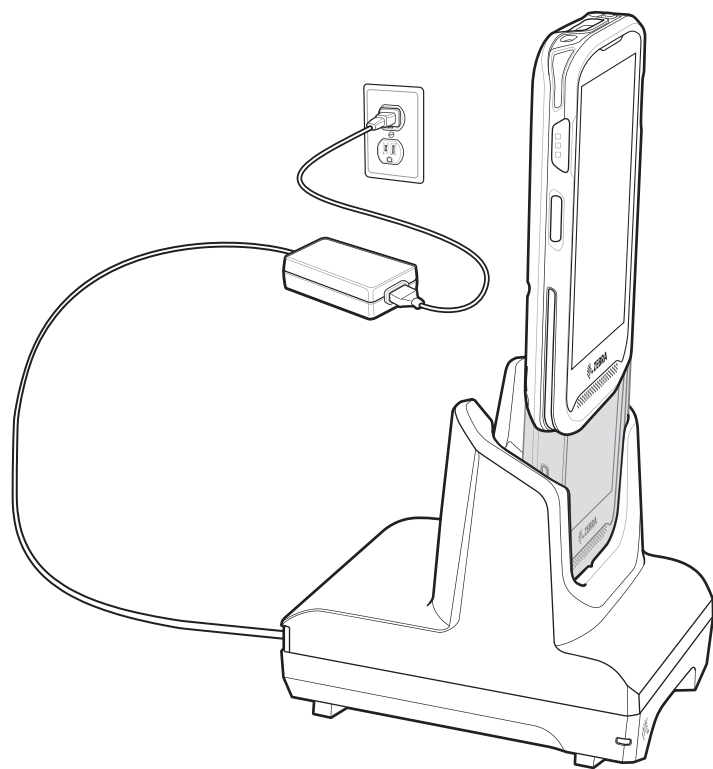
Zebra の充電アクセサリとバッテリーのみを使用してください。TC25 をスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。TC25 やアクセサリのバッテリー充電は、常に安全かつ適切な方法で行ってください。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、TC25 やアクセサリは、バッテリーの充電が交互に有効と無効とに短時間で切り替わり、バッテリーを適切な温度に保つ場合があります。異常な温度のために充電が無効になった場合は、TC25 やアクセサリの LED にエラーが表示され、画面に通知が表示されます。

メイン バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

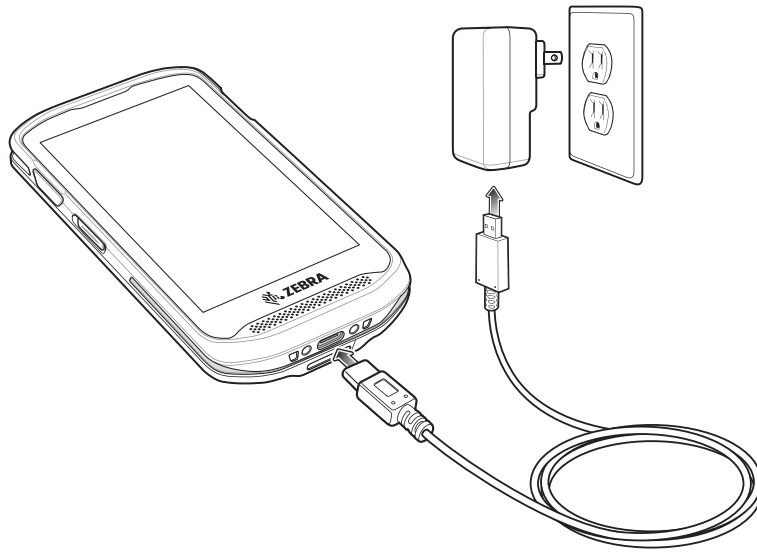
1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. TC25 をクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。TC25 の電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電/通知 LED が黄色で点滅し、充電が完了すると緑色で点灯します。

図12 クレードルでの充電



重要 充電には Zebra USB-C ケーブルのみを使用してください。

図13 USB ケーブルでの充電



充電インジケータ

表 4 充電/通知 LED 充電インジケータ

状態	LED	意味
消灯	○	TC25 は充電されていません。TC25 が正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)	●	TC25 は充電中です。
赤色でゆっくり点滅 (4 秒に 1 回点滅)	●	TC25 を充電中ですが、バッテリーの寿命が近づいています。バッテリー交換サービスについては、システム管理者にお問い合わせください。
緑色の点灯	●	充電が完了しました。
赤色の点灯	●	充電を完了しましたが、バッテリーの寿命が近づいています。バッテリー交換サービスについては、システム管理者にお問い合わせください。
黄色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	●	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 - 温度が低すぎる、または高すぎる。 - 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 8 時間)。
赤色で速く点滅 (1 秒に 2 回点滅)	●	充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。次のような場合に、この状態になります。 - 温度が低すぎる、または高すぎる。 - 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 8 時間)。 バッテリー交換サービスについては、システム管理者にお問い合わせください。

Google アカウント設定



注 Google™ アカウントを設定するには、TC25 がインターネットに接続されている必要があります。

TC25 を初めて起動すると、セットアップ ウィザードが表示されます。画面に表示される指示に従って Google アカウントの設定、Play ストアからアイテムを購入するための Google ウォレットの設定を行い、個人情報を入力して、バックアップ/リストア機能を有効にします。

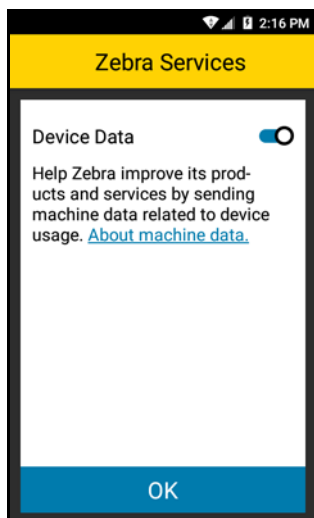
Zebra Visibility Services



重要 Zebra Visibility Services は、BSP 04-14XX 以降に適用されます。

TC25 は、システム管理者にデバイス分析を収集し提供しています。初めて TC25 が起動したとき (または工場出荷時およびエンタープライズ リセット後)、**Zebra サービス 契約画面**が表示されます。

図14 Zebra サービス



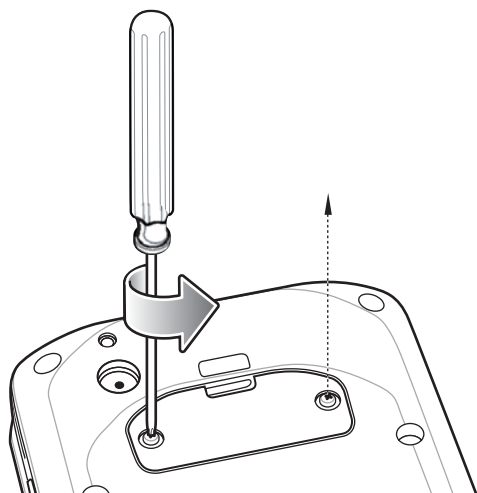
[OK] をタッチして、TC25 が分析データを送信できるようにします。[Device Data] (デバイスデータ) スイッチをタッチして、TC25 の分析データ送信を無効にしてから、[OK]をクリックします。

microSD カードの交換

microSD カードを交換するには、次の手順に従います。

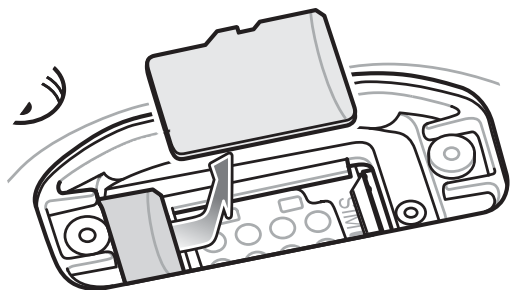
1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. [Power off] (電源オフ) をタッチします。
3. [OK] をタッチします。
4. ハンドストラップが取り付けられている場合は、ハンドストラップを外します。
5. 0 番のプラス ドライバを使用して、アクセス ドアを固定している 2 本のねじを取り外します。

図15 アクセスドアの取り外し



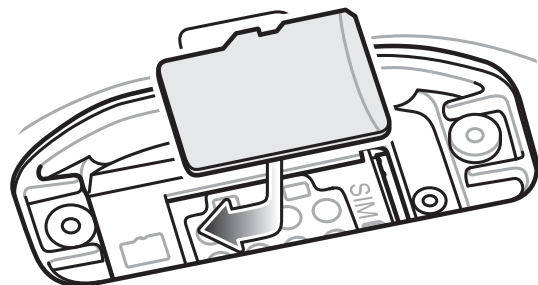
6. アクセスドアを取り外します。
7. microSD カードをスライドして SD カード スロットから取り出します。

図16 microSD カードの取り外し



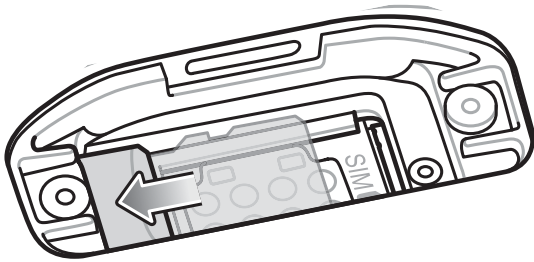
8. microSD カードを持ち上げます。
9. 交換用の microSD カードを SD カード スロットに合わせます。

図17 microSD カードの挿入



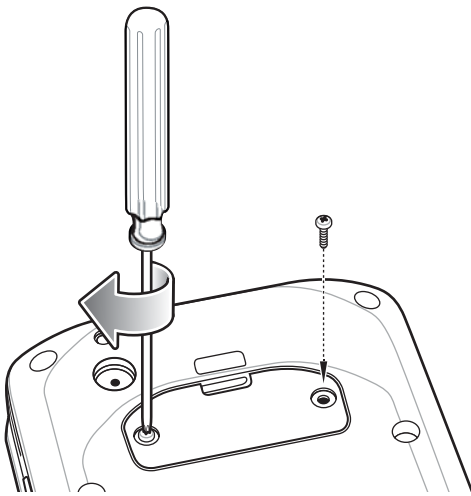
10. microSD カードを押して SD カード スロットに挿入します。

図18 microSD カードを押して SD カード スロットに挿入



11. アクセス ドアを元の位置に戻します。
12. 2 本のねじでアクセス ドアを固定します。

図19 アクセス ドアの固定



13. 必要に応じて、ハンド ストラップを交換します。
14. 電源ボタンを押し続けて、TC25 の電源をオンにします。

SIM カードの交換



注 nano SIM カードのみを使用してください。



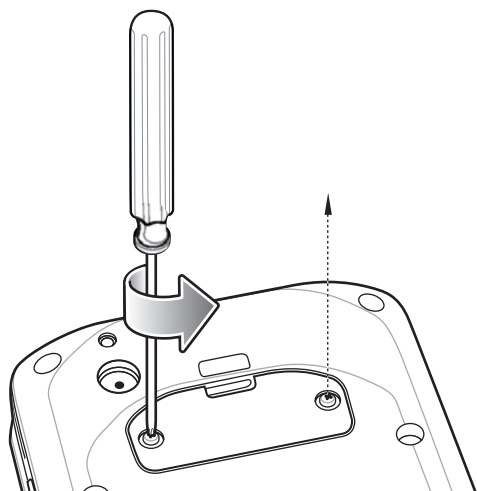
注意 適切なデバイスの密閉状態を確保するために、アクセス ドアは元の位置にしっかりと取り付ける必要があります。

SIM カードの交換時には、TC25 の電源をオフにする必要があります。

SIM カードを交換するには、次の手順に従います。

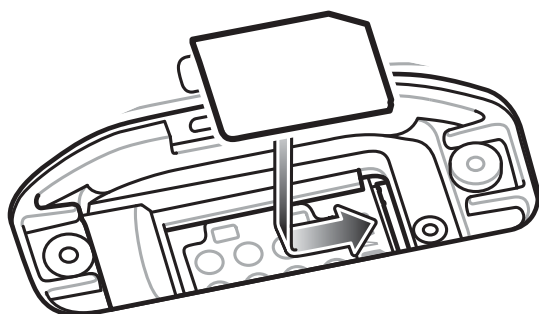
1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Power off] (電源オフ)** をタッチします。
3. **[OK]** をタッチします。
4. ハンド ストラップが取り付けられている場合は、ハンド ストラップ クリップを TC25 の上部にスライドさせ、持ち上げます。
5. 0 番のプラス ドライバを使用して、アクセス ドアを固定している 2 本のねじを取り外します。

図20 アクセスドアの取り外し



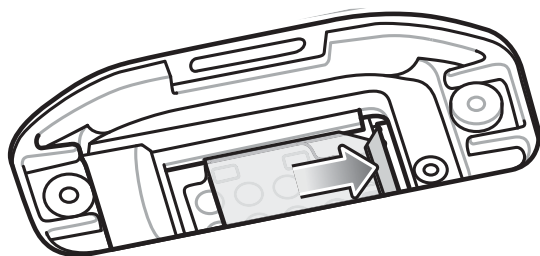
6. SIM カードを押して、カードを取り出します。
7. SIM カードをスロットから取り外します。
8. 接触面が下向きで切り欠きがデバイスの上方向くように、交換用 SIM カードと SIM カード スロットの位置を合わせます。

図21 SIM カードとスロットの位置合わせ



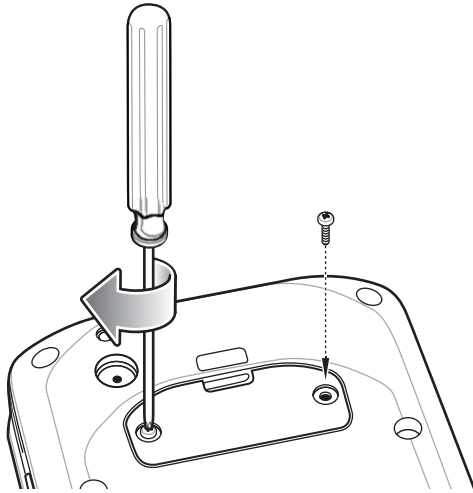
9. スロットにしっかりはまるまで SIM カードを押します。

図22 SIM カードをスロットに押し込む



10. アクセス ドアを再度取り付けます。

図23 アクセス ドアの取り付け



11. 必要に応じて、ハンドストラップを交換します。
12. 電源ボタンを押し続けて、TC25 の電源をオンにします。

デバイス設定へのアクセス

このガイド全体を通じて、次の方法でデバイス設定にアクセスできます。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. ホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

バッテリー管理



注 バッテリー充電レベルを確認する前に、すべての AC 電源 (クレードルまたはケーブル) から TC25 を取り外します。

メイン バッテリーの充電状態を確認するには、[Settings] (設定) を開いて、[About phone] (デバイス情報) () > [Battery Management] (バッテリー管理) をタッチします。

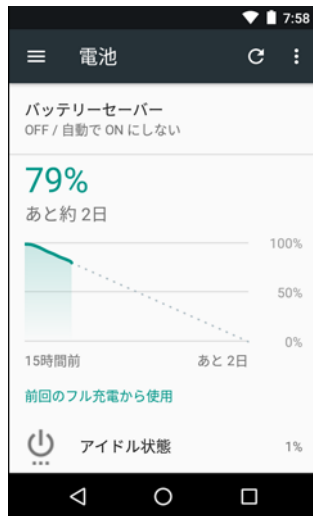
[Battery status] (バッテリー状態) にはバッテリーの放電状況が示され、[Battery level] (バッテリー レベル) にはバッテリー充電量 (フル充電と比較した割合) がリストされます。

バッテリー使用量の監視

[Battery] (バッテリー) 画面には、どのアプリケーションがバッテリー電力を最も消費しているかが一覧表示されます。またこの画面を使用して、ダウンロードしたアプリケーションの中で電力を消費しすぎているものをオフにすることもできます。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Battery] (バッテリー) をタッチします。

図24 [Battery] (バッテリー) 画面



[Battery] (バッテリー) 画面には、バッテリーを使用しているアプリケーションがリストされます。画面上部の放電状況グラフには、最後に充電されたときからのバッテリーの放電率と (充電器に接続された短期間は、図の下部に薄い緑色の線で示されます)、バッテリー電源で稼動している時間が表示されます。

[Battery] (バッテリー) 画面でアプリケーションにタッチすると、その電力消費についての詳細が表示されます。アプリケーションによって、表示される情報が異なります。一部のアプリケーションには、電源使用を調整する設定で画面を開くボタンが含まれます。

低バッテリー通知

バッテリー充電残量が 20% 未満になると、TC25 を電源に接続するように指示する通知が TC25 に表示されます。ユーザーは、充電アクセサリのいずれかを使用してバッテリーを充電する必要があります。

図25 低バッテリー通知



バッテリー充電残量が 10% 未満になると、TC25 を電源に接続するように指示する通知が TC25 に表示されます。ユーザーは、次の充電アクセサリのいずれかを使用してバッテリーを充電する必要があります。

バッテリー充電残量が 4% 未満になると、TC25 はオフになります。

ユーザーは充電アクセサリのいずれかを使用して TC25 を充電する必要があります。

バッテリー最適化

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- DataWedge 起動プログラムのプロファイルを無効にします。手順については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android 7.1.2』を参照してください。
- しばらく使用しなかったときに画面がオフになるように設定します。29 ページの「画面のタイムアウトの設定」を参照してください。
- 使用していないときはオフになるように、TC25 を設定します。54ページの「スケジュールされた電源オン/オフ」を参照してください。
- 画面の明るさを抑えます。29ページの「画面の輝度の設定」を参照してください。
- 使用していないときには、すべての無線機能をオフにします。
- 電子メール、カレンダー、連絡先、および他のアプリケーションの自動同期機能をオフにします。
- 音楽やビデオなどのアプリケーションを使用すると TC25 がサスペンド状態にならないため、これらのアプリケーションの使用は最小限に抑えてください。

無線通信をオフにする方法

すべての無線をオフにするには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. [Airplane mode] (機内モード) をタッチします。すべての無線がオフであることを示す飛行機のアイコン  がステータス バーに表示されます。

日時の設定

日付と時刻は、TC25 が携帯電話ネットワークに接続されると、NITZ サーバーを使用して自動的に同期されます。携帯電話ネットワークに接続されていない場合、または無線 LAN でネットワーク タイム プロトコル (NTP) がサポートされていない場合のみ、ユーザーはタイム ゾーンの設定または日時の設定を実行する必要があります。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Date & time] (日付/時刻) をタッチします。
3. [Automatic date & time] (自動日付と時刻) をタッチして、日付と時刻の自動同期を無効にします。
4. [Set date] (日付の設定) をタッチします。
5. カレンダーで、今日の日付を設定します。
6. [OK] をタッチします。
7. [Set time] (時間の設定) をタッチします。
8. 緑色の丸いアイコンをタッチし、現在の時間にドラッグして放します。
9. 緑色の丸いアイコンをタッチし、現在の分にドラッグして放します。
10. [AM] (午前) または [PM] (午後) をタッチします。
11. [OK] をタッチします。
12. [Automatic time zone] (自動タイム ゾーン) をタッチして、日付と時刻の自動同期を無効にします。
13. [Select time zone] (タイム ゾーンを選択) をタッチします。
14. リストから現在のタイム ゾーンを選択します。
15.  をタッチします。

ディスプレイの設定

ディスプレイの設定を使用して、画面の輝度の変更、背景画像の変更、画面の回転の有効化、スリープ時間の設定、およびフォント サイズの変更を行います。

画面の輝度の設定

手動で画面の輝度を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. アイコンをスライドさせて画面の輝度レベルを調整します。

図26 輝度スライダ



内蔵光センサで TC25 が自動的に画面の明るさを調整できるようにするには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Brightness Level] (輝度レベル) をタッチします。
4. 明るさを自動的に調整するには、[Adaptive brightness] (アダプティブ輝度) をタッチします。
5.  をタッチします。

画面回転の設定

デフォルトでは、画面回転は無効になっています。画面回転を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [When device is rotated] (デバイスの回転時) をタッチして、[Rotate to contents of the screen] (画面の内容に回転) を選択して、TC25 を回転させたときに TC25 が自動的に向きを切り替えるように設定します。
4.  をタッチします。

画面のタイムアウトの設定

画面のスリープ時間を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Sleep] (スリープ) をタッチします。
4. スリープ値を 1 つ選択します。
 - [15 seconds] (15 秒)
 - [30 seconds] (30 秒)
 - [1 minute] (1 分) (デフォルト)
 - [2 minutes] (2 分)

- [5 minutes] (5 分)
- [10 minutes] (10 分)
- [30 minutes] (30 分)

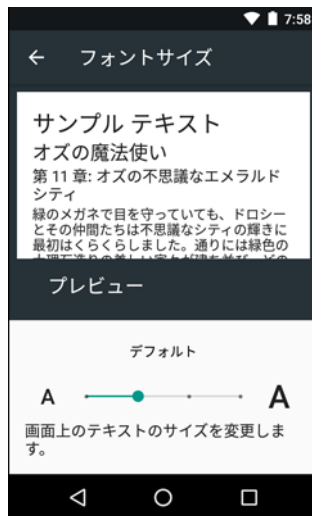
5.  をタッチします。

フォント サイズの設定

システム アプリケーションのフォント サイズを設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Font size] (フォント サイズ) をタッチします。

図27 フォント設定



4. フォント サイズ値を 1 つ選択します。
 - [Small] (小)
 - [Default] (デフォルト)
 - [Large] (大)
 - [Largest] (最大)
5.  をタッチします。

LED 充電の設定

デフォルトでは、デバイスが充電中で画面がオフのときは、充電 / 通知 LED は消灯します。画面がオフでデバイスが充電中のときに LED を点灯するには：

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Charging LED] (LED 充電) をタッチして、画面がオフのときに充電 / 通知 LED を有効にします。

LED 充電の設定

ユーザーは、充電/通知 LED を標準モード (デフォルト) またはクワイエット モードにすることができます。標準モードでは、充電/通知 LED がデバイスの充電中に点灯し、ディスプレイがオンまたはオフになります。クワイエット モードでは、画面がオンでデバイスが充電中のときは充電/通知 LED は消灯し、画面がオフでデバイス充電中のときは点灯します。

クワイエット モードを有効にするには:

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開き、 をタッチします。
2.  [Display] (ディスプレイ) をタッチします。
3. [Charging LED] (LED 充電) をタッチします。オプション スイッチが緑色に変わります。
4.  をタッチします。

一般的なサウンド設定

[Sounds] (サウンド) 設定を使用して、メディアおよびアラームの音量を設定します。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Sounds] (サウンド) をタッチします。

図28 サウンドと通知の画面



- [Media volume] (メディアの音量) - 音楽、ゲーム、メディアの音量を制御します。
- [Alarm volume] (アラームの音量) - アラーム時計の音量を制御します。
- [Ring volume] (着信音音量) - 着信音の音量を制御します。
- [Also vibrate for calls] (着信時に振動) - スイッチをオンにすると、電話を受けた時にデバイスが振動します (デフォルト - 無効)。
- [Do not disturb] (非通知) - TC25 をミュートして、不要なときに振動や音を出さないようにします。
 - [Priority only allows] (優先通知のみ許可) - 優先度を設定するために使用します。
 - [Alarms] (アラーム) - 無効です。
 - [Reminders] (リマインダ) - オンとオフを切り替えます。

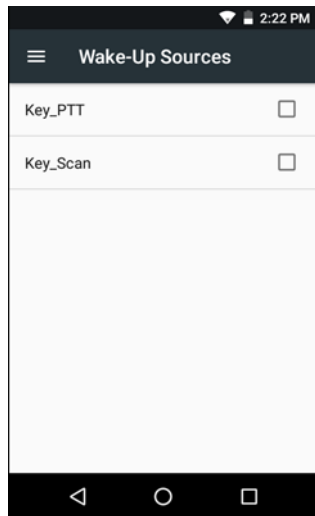
- **[Events] (イベント)** - オンとオフを切り替えます。
- **[Messages] (メッセージ)** - 全員許可、星付きの連絡先の許可、すべての連絡先の許可、許可しないのいずれかを選択します。連絡先に星を付けるには、連絡先アプリを使用します。
- **[Calls] (通話)** - 全員許可、星付きの連絡先の許可、すべての連絡先の許可、許可しないのいずれかを選択します。連絡先に星を付けるには、連絡先アプリを使用します。
- **[Repeat callers] (繰り返しの発信者)** - 同じ人から 15 分以内に再び着信があった場合に TC25 の着信音を再生するかどうかを選択します。
- **[Automatic rules] (自動ルール)** - 夜間や週末など、特定の時間帯に TC25 を自動的にミュートします。デフォルトのルール [Weekend] (週末) または [Weeknight] (平日の夜) をタッチします。また、独自のルールを作成するには、[Add rule] (ルールの追加)、[Time rule] (時間ルール) の順にタッチします。
- **通知表示のブロック**
 - **[Block when screen is on] (画面がオンのときにブロック)** - デバイスを使用しているときに受信した通知を制御します。[Do not Disturb] (非通知) が有効になっているときに、通知などのバナーを無効にする場合は、このオプションをオンにします。またこの設定により、通知ののぞき見も防止されます。
 - **[Block when screen is off] (画面がオフのときにブロック)** - ディスプレイがスリープになっている場合など、デバイスを使用していないときに受信した通知を制御します。新しい通知の受信時にディスプレイのスリープ解除を防止するには、このオプションをオンにします。この設定により、新しい通知の受信時に電話から送信される LED ライト アラートも無効になります。
- **[Phone ringtone] (着信音)** - タッチして、着信したときに鳴るサウンドを選択します。
- **[Default notification ringtone] (デフォルト通知着信音)** - タッチして、すべてのシステム通知に対して再生されるサウンドを選択します。
- **[Default alarm ringtone] (デフォルトのアラーム音)** - タッチして、アラーム受信時に再生されるサウンドを選択します。
- **[Emergency broadcasts] (緊急警報)** - タッチして、緊急警報の設定および通知を構成します。
- **その他のサウンド**
 - **[Dial pad tones] (ダイヤル パッド操作音)** - ダイヤル パッドのキーを押したときに音が鳴ります (デフォルト - 無効)。
 - **[Screen locking sounds] (画面ロックサウンド)** - 画面をロックまたはロック解除したときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
 - **[Charging sounds] (充電音)** - 使用できません。
 - **[Touch sounds] (タッチ サウンド)** - 画面上で選択を行ったときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
 - **[Vibrate on tap] (タップ時の振動)** - 画面上で選択を行ったときに、デバイスが振動します (デフォルト - 無効)。

ウェイクアップ ソース

デフォルトでは、TC25 は、ユーザーが電源ボタンを押すとサスペンド モードからウェイクアップします。デバイスの左側にある PTT ボタン、またはいずれかのスキャン ボタンを押した場合にスリープが解除されるように、TC25 を構成できます。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  **[Wake-Up Sources] (ウェイクアップ ソース)** をタッチします。
3. **[Keypad] (キーパッド)** チェックボックスをタッチします。チェックボックスに、チェックマークが表示されます。

図29 ウェイクアップ ソース



4. ○をタッチします。

TC25 の使用

ここでは、TC25 のボタン、ステータス アイコン、コントロールについて説明します。また、TC25 のリセット方法、データの入力など、TC25 の基本的な使用方法についても説明します。

Google モバイル サービス

GMS が搭載された TC25 には、TC25 に機能を追加するアプリケーションとサービスが含まれています。

GMS には次のコンポーネントが含まれています。

- アプリケーション - GSM は、Chrome、Gmail、ドライブ、マップなどのさまざまな Google アプリケーションおよび関連ウィジェットを追加します。
- サービス:
 - 音声入力 - 接続されたネットワークと切断されたネットワークの両方で多くの言語で自由な形式のテキストを音声入力できます。キーボードのマイクのアイコンをタッチして起動します。
 - TalkBack サービス - ユーザー インタフェースのさまざまな部分で音声によるフィードバックを提供します。有効にするには、**[Settings] (設定) > [Accessibility] (ユーザー補助)** を選択します。
 - ネットワーク位置情報プロバイダ - モバイル ネットワーク タワー情報および Wi-Fi アクセス ポイント情報を使用し、GPS を使用せずに位置情報を提供する位置情報プロバイダを追加します。有効にするには、**[Settings] (設定) > [Location] (位置情報)** を選択します。
 - Widevine DRM - 保護されたコンテンツの再生を可能にするデジタル著作権管理を有効にします。Play Store からの DRM 情報を使用して有効にします。
 - Google Cloud Messaging - サーバーから TC25 にデータを送信できるようにし、同時に同じ接続上でデバイスからメッセージを受信できるようにします。
 - バックアップと復元 - ユーザー設定とアプリケーションを Google サーバーにバックアップし、工場出荷時の設定にリセットした後でそのサーバーから設定を復元できます。
- Google アカウント - Google アカウントを作成し、そのアカウントを使用して、メール、ファイル、音楽、写真、連絡先、カレンダー イベントを同期できます。

ホーム画面

ホーム画面は、TC25 をオンにすると表示されます。設定によって、ホーム画面に表示される内容は異なります。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

サスペンドまたは画面タイムアウトの後、ホーム画面にはロック スライダが表示されます。画面にタッチし、上にスライドさせてロックを解除します。画面のロックの詳細については、[53ページの「画面のロック解除」](#)を参照してください。

図30 ホーム画面



表 5 ホーム画面の項目

バッテリー ラッチ	名称
1 - ステータス バー	時間、ステータス アイコン (右側)、および通知アイコン (左側) が表示されます。詳細については、 36ページの「ステータス バー」 および 39ページの「通知の管理」 を参照してください。
2 - ウィジェット	ホーム画面で実行するスタンドアロンのアプリケーションを起動します。詳細については、 42ページの「アプリケーション ショートカットとウィジェット」 を参照してください。
3 - 戻る	前の画面を表示します。
4 - ホーム	ホーム画面を表示します。
5 - 履歴ボタン	最近使用したアプリケーションを表示します。
6 - すべてのアプリ アイコン	アプリ ウィンドウを開きます。
7 - ショートカット アイコン	TC25 にインストールされているアプリケーションが開きます。詳細については、 42ページの「アプリケーション ショートカットとウィジェット」 を参照してください。
8 - フォルダ	アプリが入っています。

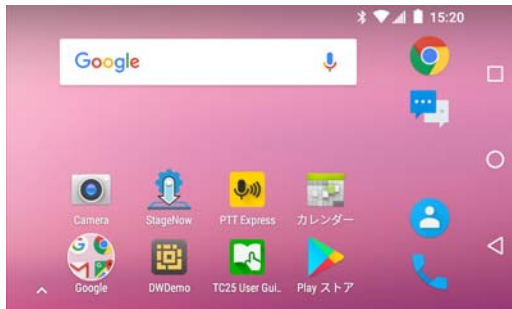
ホーム画面には、ウィジェットとショートカットの配置に関する 4 つの追加画面が表示されます。画面を左右にスワイプすると、追加画面が表示されます。

ホーム画面回転の設定

デフォルトでは、ホーム画面の回転は無効になっています。ホーム画面回転を設定するには、次の手順に従います。

1. オプションが表示されるまで、ホーム画面の任意の場所を長押しします。
2.  をタッチします。
3. [Allow rotation switch] (回転スイッチの許可) をタッチします。
4.  をタッチします。
5. デバイスを回転させます。

図31 ホーム画面の回転



ステータス バー

ステータス バーには、通知アイコン (左側)、時間、およびステータス アイコン (右側) が表示されます。



注： 表示するアイコンが多すぎる場合、一部のステータス アイコンがステータス バーに表示されないことがあります。

図32 通知アイコンおよびステータス アイコン



ステータス バーに表示可能な数より多くの通知がある場合は、他にも通知があることを示す  が表示されます。[Notifications] (通知) パネルを開き、すべての通知とステータスを表示します。

ステータス アイコン

表 6 ステータス アイコン

アイコン	名称
	アラームがアクティブであることを示します。
	メイン バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
	メイン バッテリーの一部が消耗された状態であることを示します。
	メイン バッテリーの充電が少ないことを示します。
	メイン バッテリーの充電が非常に少ないことを示します。
	メイン バッテリーが充電中であることを示します。
	メディアおよびアラーム以外のすべてのサウンドがミュートで振動モードがアクティブであることを示します。
	機内モードがアクティブであることを示します。すべての無線がオフになります。
	Bluetooth がオンになっていることを示します。
	TC25 が Bluetooth デバイスに接続されていることを示します。
	Wi-Fi ネットワークに接続されています。
	Wi-Fi ネットワークに接続されていないか、Wi-Fi 信号がありません。
	イーサネット ネットワークに接続されています。
	ポータブル Wi-Fi ホットスポットが有効です。
	モバイル ネットワーク信号の強度を示します。
	モバイル ネットワーク信号がないことを示します。
	4G LTE ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	DC -HSPA、HSDPA、HSPA+、HSUPA、LTE、または WCDMA ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	WCDMA ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	DC - HSPA、HSDPA、HSPA+、または HSUPA ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。

注 1: 表示される携帯電話ネットワーク アイコンは、携帯電話会社/ネットワークにより異なります。

表 6 ステータス アイコン (続き)

アイコン	名称
	EDGE ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	GPRS ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	GPRS ネットワークに接続されています (注 1 を参照)。
	ネットワークからローミングしていることを示します。
	SIM カードが取り付けられていないことを示します。
注 1: 表示される携帯電話ネットワーク アイコンは、携帯電話会社/ネットワークにより異なります。	

通知アイコン

表 7 通知アイコン

アイコン	名称
	メイン バッテリーの残量が少ないことを示します。
	より多くの通知を表示できることを示します。
	データが同期されていることを示します。
	次のイベントを示します。
	オープンな Wi-Fi ネットワークが利用できることを示します。
	曲が再生されていることを示します。
	サインインまたは同期に関する問題が生じたことを示します。
	TC25 がデータをアップロードしていることを示します。
	動画表示の場合は TC25 がデータのダウンロード中であることを示し、静止画表示の場合はダウンロードが完了したことを示します。
	USB テザリングが有効であることを示します。
	TC25 が仮想プライベート ネットワーク (VPN) を介して接続または切断されていることを示します。
	内部ストレージを準備しています。
	TC25 で USB デバッグが有効になっていることを示します。
	USB ヘッドセットがデバイスに接続されています。

表 7 通知アイコン (続き)

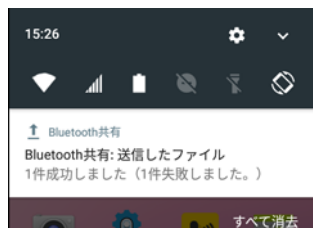
アイコン	名称
	PTT Express Voice クライアントのステータスを示します。PTT Express 通知アイコンの一覧については、「通知アイコン」を参照してください。
	RxLogger アプリケーションが実行中であることを示します。
	Bluetooth スキャナが TC25 に接続されていることを示します。

通知の管理

通知アイコンは、新しいメッセージの到着、カレンダー イベント、およびアラームに加えて、進行中のイベントも報告します。通知が行われると、簡単な説明とともにアイコンがステータス バーに表示されます。表示される可能性のある通知アイコンとその説明のリストについては、[38ページの「通知アイコン」](#)を参照してください。すべての通知のリストを表示するには、[Notifications] (通知) パネルを開きます。

[Notifications] (通知) パネルを開くには、画面の上部からステータス バーを下にドラッグします。

図33 [Notifications] (通知) パネル



通知に応答するには、[Notifications] (通知) パネルを開き、通知をタッチします。[Notifications] (通知) パネルが閉じて、次のアクティビティが通知によって決まります。

すべての通知をクリアするには、[通知] パネルを開き、**[CLEAR ALL] (すべてクリア)** をタッチします。イベントベースのすべての通知が削除されています。進行中の通知はそのままリストに残ります。

進行中の通知はそのままリストに残ります。

[Notifications] (通知) パネルを閉じるには、[Notifications] (通知) を上にスワイプします。

アプリケーション通知の設定

特定のアプリの通知設定を変更するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[Notifications] (通知)** をタッチします。
3. アプリを選択します。
4. 使用可能なオプションを選択します。
 - **Block all (すべてをブロック)**
 - **Show silently (無音で表示)**
 - **On the lock screen (ロック画面に表示)**
 - **Override Do Not Disturb (非通知を上書き)**



重要 通知の表示内で、通知をわずかに左または右にスライドして  にタッチします。

全アプリの通知設定の表示

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[Notifications] (通知)** をタッチします。
3. **[All apps] (すべてのアプリ)** の横にある下矢印をタッチします。
4. 特定の設定に現在設定されているアプリをすべて表示するには、その設定をタッチします。

ロック画面の通知の制御

ロック画面の通知コンテンツを制御するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[Notifications] (通知)** >  をタッチします。
3. **[On the lock screen] (ロック画面に表示)** をタッチします。
4. **[Show all notification content] (すべての通知コンテンツを表示)** を選択するか、**[Don't show notifications at all] (通知を表示しない)** を選択します。

クイック設定

クイック設定を使用して、[Airplane Mode] (機内モード) をオンにするなど、使用頻度の高い設定を行います。クイック設定バーを開くには、画面の上から下に 2 本の指でスワイプするか 1 本の指で 2 回スワイプします。

図34 クイック設定バー



完全な [Quick Settings] (クイック設定) パネルを表示するには、次の手順に従います。

- TC25 がロックされている場合は、1 回下にスワイプします。
- TC25 がロック解除されている場合は、2 本の指で 1 回、または 1 本の指で 2 回下にスワイプします。
- クイック設定バーが開いている場合は、下矢印をタッチします。

図35 完全なクイック設定



使用可能な設定タイル:

- ディスプレイの輝度: スライドして画面の輝度を下げる、または上げることができます。
- Wi-Fi ネットワーク: Wi-Fi をオンまたはオフにします。Wi-Fi 設定を開くには、Wi-Fi ネットワーク名をタッチします。
- Bluetooth の設定: Bluetooth をオンまたはオフにします。Bluetooth の設定を開くには、[Bluetooth] をタッチします。
- 非通知: 通知を受信する方法とタイミングを制御します。
- 携帯電話ネットワーク: 携帯電話会社の名前と信号に関する情報が表示されます。[No SIM card] (SIM カードなし) と表示される場合は、SIM カードが取り付けられていないか、有効になっていません。
- 機内モード: 機内モードをオンまたはオフにします。機内モードは、デバイスが Wi-Fi または Bluetooth に接続しないことを意味します。
- 自動回転: デバイスの向きをポートレートまたはランドスケープ モードでロックするか、自動的に回転するように設定します。
- フラッシュライト: カメラのフラッシュをオンまたはオフにします。
- 位置情報: 位置情報機能を有効または無効にします。
- [Hotspot] (ホットスポット) - モバイル ホットスポットをオンまたはオフにします。
- [Invert colors] (色を反転) - 表示色を反転します。
- [Data Saver] (データ セーバー) - 一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を防止するには、このオプションをオンにします。
- [Night Light] (ナイト ライト) - 照度の低い場所でも画面を見やすくするために、画面を暖色系の色合いに切り替えます。日没から夜明けまで、または他の時間帯に、自動的にオンになるように [Night Light] (ナイト ライト) を設定します。
- [Nearby] (周辺情報) - デバイスの近くのサービスや他のデバイスを見つけて操作します。

クイック設定のアイコンの編集

最初のいくつかの設定タイルが、クイック設定バーになります。

設定タイルを移動するには、次の手順に従います。

1. 設定タイルをタッチして別の場所にドラッグします。
2. タイルを放します。
3.  をタッチしてタイルを保存し、クイック設定に戻ります。

設定タイルを追加するには、次の手順に従います。

1. [Quick Settings] (クイック設定) を開きます。
2.  をタッチします。
3. [Quick Settings] (クイック設定) パネルを上スライドして、その他のタイルを表示します。
4. 設定タイルをタッチして、[Drag to add tiles] (ドラッグしてタイルを追加) 領域からメインの領域にタイルをドラッグします。
5. タイルを放します。
6.  をタッチしてタイルを保存し、クイック設定に戻ります。

設定タイルを削除するには、次の手順に従います。

1. [Quick Settings] (クイック設定) を開きます。
2.  をタッチします。
3. 設定タイルをタッチして、[Drag here to remove] (ここまでドラッグして削除) 領域にタイルをドラッグします。
4. タイルを放します。
5.  をタッチしてタイルを保存し、クイック設定に戻ります。

アプリケーション ショートカットとウィジェット

アプリケーション ショートカットはホーム画面に置かれており、アプリケーションにすばやく簡単にアクセスできます。アプリケーション ウィジェットとはホーム画面に置かれた内蔵型のアプリケーションであり、これを使用して、頻繁に使用する機能にアクセスできます。

アプリケーションをホーム画面に追加する

1. ホーム画面に移動します。
2. 画面の一番下から上にスワイプします。
3. リストをスクロールして、アプリケーション アイコンを見つけます。
4. ホーム画面が表示されるまで、アイコンをタッチしてその状態を維持します。
5. アイコンを画面に配置したら、指を放します。

ホーム画面にウィジェットを追加する

ホーム画面にウィジェットを追加するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面に移動します。
2. メニューが表示されるまで長押しします。
3. [WIDGETS] (ウィジェット) をタッチします。
4. リストをスクロールして、ウィジェットを見つけます。
5. ホーム画面が表示されるまで、ウィジェットをタッチしてその状態を維持します。
6. ウィジェットを画面に配置したら、指を放します。

ホーム画面での項目の移動

1. 画面でフローティングするまで項目をタッチし続けます。
2. 項目を新しい場所にドラッグします。画面の端で一時停止し、隣接するホーム画面まで項目をドラッグします。
3. 指を持ち上げ、項目をホーム画面に配置します。

アプリケーション ショートカットまたはウィジェットをホーム画面から削除する

1. ホーム画面に移動します。
2. アプリケーションのショートカット アイコンまたはウィジェット アイコンを、画面でフローティングするまでタッチし続けます。
3. 画面上部の  削除までアイコンをドラッグして放します。

フォルダ

フォルダを使用して、同様のアプリケーションを整理します。フォルダをタップして、フォルダ内の項目を開き、表示します。

フォルダの作成

フォルダを作成するには、ホーム画面に 2 つ以上のアプリのアイコンが必要です。

1. ホーム画面に移動します。
2. 1 つのアプリケーション アイコンをタッチし、その状態を維持します。
3. アイコンをドラッグし、別のアイコン上に重ねます。
4. 指を放します。

フォルダの名前付け

フォルダに名前を付けるには、次の手順に従います。

1. フォルダをタッチします。

図36 フォルダ名を開く



2. タイトル領域をタッチし、キーボードを使用してフォルダ名を入力します。
3. キーボードの  をタッチします。
4. 名前が変更されたフォルダフォルダの下にフォルダ名が表示されます。

図37 名前が変更されたフォルダ



フォルダの削除

フォルダを削除するには、次の手順に従います。

1. 拡大表示されるまでフォルダ アイコンをタッチして、その状態を維持します。
2. フォルダを  削除までドラッグして放します。

ホーム画面の壁紙

ホーム画面の壁紙を変更するには、次の手順に従います。

1. メニューが表示されるまで、画面をタッチしてその状態を維持します。
2. [WALLPAPERS] (壁紙) をタッチします。
3. [My photos] (マイ フォト) をタッチして、ギャラリーから写真を選択するか、プレインストールされている写真のいずれかを選択します。
4. [Save wallpaper] (壁紙の保存) をタッチします。

タッチスクリーンの使用方法

高感度のマルチタップ スクリーンを使用して、デバイス进行操作します。

- **タップ** - タップして次を行います。
 - 画面上の項目を選択します。
 - 画面キーボードを使用して、文字や記号を入力します。
 - 画面ボタンを押します。
- **タップしてその状態を維持** - 次の項目をタップして維持し、以下の操作を行います。
 - ホーム画面の項目をタッチして、それを新しい場所かゴミ箱に移動します。
 - [Apps] (アプリ) の項目をタッチして、ホーム画面にショートカットを作成します。
 - ホーム画面をタッチして、ホーム画面をカスタマイズするためのメニューを開きます。
 - ホーム画面の何も表示されていないエリアをタッチし続けると、メニューが表示されます。
- **ドラッグ** - 項目をタップしてしばらくの間その状態を維持した後、画面上の新しい位置まで指を移動します。
- **スワイプ** - 画面上で上下または左右に指を移動して、次を行います。
 - 画面のロックを解除します
 - 別のホーム画面を表示します
 - [Launcher] (起動プログラム) ウィンドウに追加のアプリケーション アイコンを表示します
 - アプリケーションの画面についての詳細情報を表示します
- **ダブルタップ** - Web ページ、マップ、または他の画面を 2 回タップして、ズームインやズームアウトを行います。
- **ピンチ** - 一部のアプリケーションでは、画面上に指を 2 本置いて指の間隔を狭めたり (ズームアウト)、離したり (ズームイン) して、ズームインとズームアウトを行うことができます。

画面キーボード

テキスト フィールドにテキストを入力するには、画面キーボードを使用します。

テキストの編集

入力したテキストを編集して、メニュー コマンドを使用し、アプリケーション内または複数のアプリケーション間でテキストの切り取り、コピー、および貼り付けを行います。アプリケーションの中には、表示しているテキストの一部またはすべての編集をサポートしていないものや、テキストの選択に独自の方法を提供しているものもあります。

数字、記号、および特殊文字の入力

数字および記号を入力するには、次の手順に従います。

- メニューが表示されるまで最上部の行にあるキーの 1 つをタッチして、数字を選択します。キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。
- Shift キーを 1 本の指でタッチしてその状態を維持しながら、1 つまたは複数の大文字または記号をタッチして入力し、両方の指を放して小文字のキーボードに戻ります。
-  にタッチすると、数字と記号のキーボードに切り替わります。
- 数字と記号のキーボードで  キーにタッチすると、別の記号が表示されます。

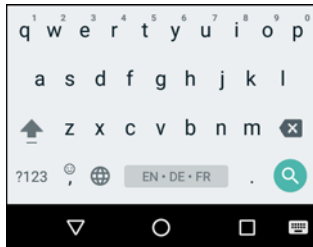
特殊文字を入力するには、数字または記号のキーをタッチして、その他の記号のメニューが開くまでその状態を維持します。

- キーボードの上に、より大きいバージョンのキーが短時間表示されます。
- キーに代替文字が設定されている場合、文字の下に省略文字 (...) が表示されます。

言語キーボードの切り替え

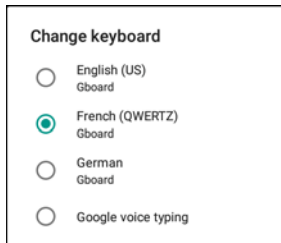
ユーザーは複数言語のキーボードを有効にすることができます。使用可能な言語コードがスペース バーに表示されます。

図38 複数言語のキーボード



言語キーボードを切り替えるには、画面の右下隅にある  をタッチします。

図39 キーボード変更オプション



キーボード言語の 1 つを選択します。キーボードが選択した言語に自動的に切り替わります。

キーボードの構成

キーボードを設定するには、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1.2』のキーボードの設定のセクションを参照してください。

GMS キーボード

キーボードの設定を行うには、 (カンマ) >  をタッチしてその状態を維持してから、[Gboard Keyboard settings] (Gboard キーボード設定) を選択します。

非通知機能

このモードは、TC25 をミュートして音や振動を出さないようにします。

たとえば、以下のような設定のために [Do Not Disturb] (非通知) を選択します。

- 夜間やイベント中に音を自動的に制限する
- アラーム以外の通知をミュートする
- 通知をお気に入りの連絡先からのメッセージに限定する

音と振動の制限

TC25 を完全にミュートするか、重要なアラームまたは重要な着信は通知させます。

完全非通知

TC25 を完全にミュートして音や振動が出ないようにするには、**[Total Silence]** (完全非通知) を選択します。

完全非通知モードの場合:

- アラームの受信時に音が出ません。
- メッセージまたは通知の受信時でも、TC25 は振動または音を出しません。
- 音楽、ビデオ、ゲーム、その他のメディアのサウンドはミュートされます。



完全非通知モードでは、アラームが聞こえることはありません。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. **[Do not disturb]** (非通知) > **[Total silence]** (完全非通知) をタッチします。
3. **[Until you turn it off]** (オフにするまで) を選択するか、一定の期間を選択します。
4. **[Done]** (完了) をタッチします。

[Total Silence] (完全非通知) がオンの場合、クイック アクセス パネルとステータス バーに  が表示されます。

[Total Silence] (完全非通知) をオフにするには、クイック アクセス パネルを開き、**[Total Silence]** (完全非通知) をタッチします。

アラームのみ

TC25 のミュート時でもアラームは再生されるように設定するには、**[Alarms Only]** (アラームのみ) を選択します。このオプションは、音楽、ビデオ、ゲーム、その他のメディアからのサウンドをミュートしません。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. **[Do not disturb]** (非通知) > **[Alarms only]** (アラームのみ) をタッチします。
3. **[Until you turn it off]** (オフにするまで) を選択するか、一定の期間を選択します。
4. **[Done]** (完了) をタップします。

[Alarms Only] (アラームのみ) がオンの場合、クイック アクセス パネルとステータス バーに  が表示されます。

[Alarms Only] (アラームのみ) をオフにするには、クイック アクセス パネルを開き、**[Alarms Only]** (アラームのみ) をタッチします。



注： すばやく **[Alarms Only]** (アラームのみ) をオンにするには、画面が表示されている状態で、音量が最小になるまで音量下ボタンを長押しします。音量が最小の状態、音量下ボタンをもう一度押すと、**[Alarms Only]** (アラームのみ) がオンになります。

[Alarms Only] (アラームのみ) をオフにするには、音量上ボタンまたは音量下ボタンを押し、アラートメッセージ内の **[END NOW]** (今すぐ終了) をタッチします。この時点で **[Alarms Only]** (アラームのみ) をオンにするには、音量上ボタンをもう一度押します。

優先通知のみ

重要な通知のみを出力させるには、[Priority Only] (優先通知のみ) を選択します。このオプションは、音楽、ビデオ、ゲーム、その他のメディアからのサウンドをミュートしません。

[Priority Only] (優先通知のみ) モードをオンにする場合は、事前に通知の優先度を設定しておいてください。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Sounds] (サウンド) > [Do not disturb] (非通知) > [Priority only allows] (優先通知のみ許可) をタッチします。
3. 優先度を設定します。
 - [Alarms] (アラーム): デフォルトで表示されます。
 - [Reminders] (リマインダ) と [Events] (イベント): オンとオフを切り替えます。
 - [Messages] (メッセージ): [From anyone] (全員を許可)、[From contacts only] (連絡先のみを許可)、[From starred contacts only] (星付きの連絡先のみを許可)、または [none] (許可しない) を選択します。連絡先に星を付けるには、連絡先アプリを使用します。
 - [Calls] (通話): [From anyone] (全員を許可)、[From contacts only] (連絡先のみを許可)、[From starred contacts only] (星付きの連絡先のみを許可)、または [none] (許可しない) を選択します。連絡先に星を付けるには、連絡先アプリを使用します。
 - [Repeat callers] (繰り返しの発信者): 同じ人から 15 分以内に再び着信があった場合に TC25 の着信音を再生するかどうかを選択します。

通知に優先度を設定したら、[Priority only] (優先通知のみ) モードをオンにして通知を制限します。優先通知では、現在の着信音の音量に基づいて音または振動の大きさが決定されますが、その他の通知はミュートになります。

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. [Do not disturb] (非通知) > [Priority only] (優先通知のみ) をタッチします。
3. [Until you turn it off] (オフにするまで) を選択するか、一定の期間を選択します。
4. [Done] (完了) をタップします。

[Priority Only] (優先通知のみ) がオンの場合、クイック アクセス パネルとステータス バーに  が表示されます。

[Priority Only] (優先通知のみ) をオフにするには、クイック アクセス パネルを開き、[Priority Only] (優先通知のみ) をタッチします。

音と振動の自動的なブロック

一定時間での音のミュート

夜間や週末など、特定の時間帯に TC25 を自動的にミュートするには、時間帯のルールを設定します。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Sound] (サウンド) > [Do not disturb] (非通知) > [Automatic rules] (自動ルール) をタッチします。
3. デフォルトの [Weekend] (週末) または [Weeknight] (平日の夜) をタッチします。または、新しいルールを作成するには、[Add rule] (ルールの追加)、[Time rule] (時間ルール) の順にタッチします。

- 新しいルールを編集するには、次の手順に従います。
 - [Rule name]** (ルール名): ルールに名前を付けます。
 - [Days]** (日数)、**[Start time]** (開始時刻)、**[End time]** (終了時刻): ルールのスケジュールを設定します。
 - [Do not disturb]** (非通知): ルールで **[Alarms only]** (アラームのみ)、**[Priority only]** (優先通知のみ)、**[Total silence]** (完全非通知) のいずれを使用するかを選択します。
- [On/Off]** (オン/オフ) テキストまたは上部のスイッチをタッチしてルールをオンにします。

イベントおよび会議でのミュート

イベントまたは会議中に TC25 を自動的にミュートするには、イベント ルールを設定します。

- ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
-  **[Sound]** (サウンド) > **[Do not disturb]** (非通知) > **[Automatic rules]** (自動ルール) をタッチします。
- デフォルトのルールを編集するには、**[Event]** (イベント) をタッチします。また、新しいルールを作成するには、**[Add rule]** (ルールの追加) > **[Event rule]** (イベント ルール) をタッチします。
- ルール設定を編集します。
 - [During events for]** (次のイベント中): ルールで使用する Google カレンダーのイベントを選択します。
 - [Where reply is]** (返信の必要性): 以下のオプションを選択できます。**[Yes, Maybe, or Not replied]** (必要、不明、または不要)、**[Yes or Maybe]** (必要または不明)、または **[Yes]** (必要)。
 - [Do not disturb]** (非通知): ルールで **[Priority only]** (優先通知のみ)、**[Alarms only]** (アラームのみ)、**[Total silence]** (完全非通知) のいずれを使用するかを選択します。
- 上部の **[On/Off]** (オン/オフ) スwitchをタッチしてルールをオンにします。

サウンドをオンに戻す

TC25 が **[Do not Disturb]** (非通知) モードになっている場合、**[Alarms only]** (アラームのみ)/**[Priority only]** (優先通知のみ)、 または **[Total silence]** (完全非通知)  が表示されます。

[Do not Disturb] (非通知) をオフにするには、次のどちらかの手順に従います。

- クイック アクセス パネルで、**[Alarms only]** (アラームのみ)、**[Priority only]** (優先通知のみ)、または **[Total silence]** (完全非通知) をタッチします。
- 音量下ボタンを押して、**[End Now]** (今すぐ終了) をタッチします。

特定アプリの非通知の上書き

特定のアプリの通知を表示するには、次の手順に従います。

- [Settings]** (設定) > **[Notifications]** (通知) を開きます。
- アプリをタッチします。
- [Override Do Not Disturb]** (非通知を上書き) をタッチします。

アプリケーション

[APPS] (アプリ) 画面には、インストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示されます。次の表は、TC25 にインストールされているアプリケーションの一覧です。アプリケーションのインストールおよびアンインストールの詳細については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1』を参照してください。

表 8 アプリケーション

アイコン	名称
	[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) - バーコードをスキャンして、Bluetooth イメージを TC25 とペアリングするために使用します。
	[Calculator] (電卓) - 基本演算機能および科学演算機能を備えています。
	[Camera] (カメラ) - 写真を撮ったり、ビデオを録画したりします。詳細については、 74ページ の「カメラ」を参照してください。
	[Chrome] - インターネットまたはイントラネットにアクセスするために使用します。
	[Clock] (時計) - 予定のアラームをスケジュール設定するために使用したり、目覚ましとして使用したりします。
	[Contacts] (連絡先) - 連絡先の情報を管理するために使用します。詳細については、 73ページ の「連絡先」を参照してください。
	[DataWedge] - イメージを使用したデータ収集を有効にします。
	[Diagnostic Tool] (診断ツール) - TC25 の診断に使用します。詳細については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。
	[Downloads] (ダウンロード) - すべてのダウンロード ファイルをリストします。
	[Drive] (ドライブ) - 写真、ビデオ、ドキュメント、およびその他のファイルを個人用ストレージ サイトにアップロードします。
	[Duo] (デュオ) - 1 対 1 のビデオ通話アプリケーション。

表 8 アプリケーション (続き)

アイコン	名称
	[DWDemo] - イメージャを使用したデータ収集機能をデモンストレーションする手段を提供します。詳細については、 84ページの「DataWedge のデモンストレーション」 を参照してください。
	[File Browser] (ファイル ブラウザ) - TC25 上のファイルを整理および管理します。詳細については、 69ページの「ファイル ブラウザ」 を参照してください。
	[Gmail] - Google 電子メール アカウントを使用して電子メールを送受信するために使用します。
	[Google] - Google 検索アプリケーションを起動します。
	[ATL のインストール] - Zebra サポート サイトから Asset Tracker Lite アプリケーションをダウンロードしてインストールします。(BSP 04-14xx 以降のみ)。 Asset Tracker Lite アプリケーションの詳細については、『Asset Tracker Lite User Guide』を参照してください。
	[Maps] (マップ) - 地図上で自分がいる場所を表示するために使用します (公共の乗り継ぎ、交通、または衛星オーバーレイを使用します)。目的の会社や場所を検索します。車、自転車、徒歩、公共の交通機関で移動するユーザーのために、音声ガイド付きのナビゲーションを提供し、渋滞回避情報や迂回ルートも表示します。
	[Messaging] (メッセージング) - SMS および MMS メッセージを送信します。詳細については、 71ページの「メッセージング」 を参照してください。
	[Notes] (メモ) - メモを取って保存するために使用します。
	[Phone] (電話) - 一部の Voice Over IP (VoIP) クライアントとの使用時に、携帯電話で電話をかける、または電話番号をダイヤルするために使用します。
	[Photos] (写真) - 写真を Google アカウントと同期するために使用します。
	[Play Movies & TV] (Play ムービー & TV) - デバイスでムービーとビデオを表示します。
	[Play Music] (Play ミュージック) - 音楽を聴くために使用します。
	[Play Store] (Play ストア) - 音楽、ムービー、書籍、Android アプリ、ゲームを Google Play™ ストアからダウンロードします。

表 8 アプリケーション (続き)

アイコン	名称
	[PTT Express] - VoIP 通信のための PTT Express クライアントを起動するのに使用します。
	[RxLogger] - デバイスおよびアプリケーション問題を診断するために使用します。詳細については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。
	[RxLogger Utility] (RxLogger ユーティリティ) - デバイスおよびアプリケーションの問題を診断するために使用します。詳細については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。
	[Settings] (設定) - TC25 を設定するために使用します。
	[Sound Recorder] (サウンド レコーダ) - 音声を録音するために使用します。
	[StageNow] - 設定、ファームウェア、およびソフトウェアの導入を開始することで、初期使用に向けて TC25 がデバイスをステージングできるようにします。
	[TC25 User Guide] (TC25 ユーザー ガイド) - TC25 のオンデバイス ユーザー ガイドを表示します。
	[Voice Search] (音声検索) - 質問することで検索を実行するために使用します。
	[YouTube™] - YouTube Web サイトでビデオを見るために使用します。

アプリケーションへのアクセス

デバイスにインストールされたすべてのアプリケーションには、[APPS] (アプリ) ウィンドウを使用してアクセスできます。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプします。

図40 アプリ ウィンドウの例



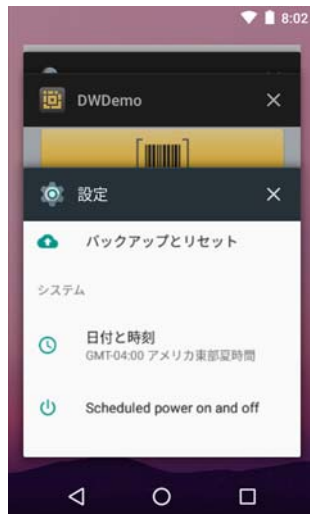
2. **[APPS]** (アプリ)ウィンドウを左右にスライドすると、その他のアプリケーション アイコンが表示されます。アプリケーションを開くには、アイコンをタッチします。

ホーム画面にショートカットを作成する方法の詳細については、[42ページ](#)の「[アプリケーション ショートカットとウィジェット](#)」を参照してください。

現在使用されているアプリケーションの切り替え

1. をタッチします。最近使用したアプリケーションのアイコンが表示されたウィンドウが画面に表示されます。

図41 最近使用したアプリケーション



2. ウィンドウを上下にスライドすると、最近使用したすべてのアプリケーションを表示できます。
3. 左右にスワイプしてリストからアプリケーションを削除し、強制的にアプリケーションを終了します。
4. アイコンをタッチして開くか、をタッチして現在の画面に戻ります。

画面のロック解除

[Lock] (ロック) 画面を使用して、TC25 上のデータへのアクセスを保護します。電子メール アカウントによっては、画面をロックする必要があります。ロック機能の設定の詳細については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

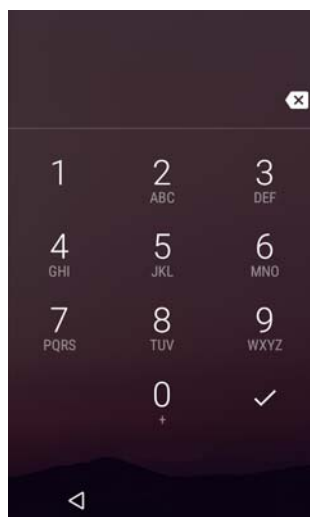
画面がロックされた場合にデバイスのロックを解除するには、パターン、PIN、またはパスワードが必要です。電源ボタンを押して、画面をロックします。定義済みのタイムアウト時間が経過した場合もデバイスはロックされます。

デバイスをウェイクアップするには、電源ボタンを押して放します。[Lock] (ロック) 画面が表示されます。画面を上から下にスワイプしてロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。[PIN] または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能が有効な場合は、画面をロック解除した後に、PIN またはパスワードを入力します。

図42 ロック画面



図43 PIN画面の例



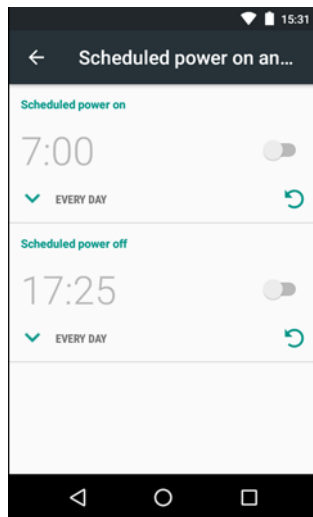
スケジュールされた電源オン/オフ

特定の時刻に電源をオン/オフするように TC25 を設定できます。この設定により、TC25 を使用していないときはバッテリーの電力を節約できます。

電源のオン/オフ スケジュールを設定するには、次の手順に従います。

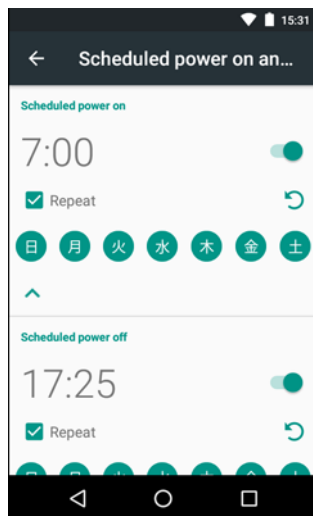
1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  **[Scheduled power on and off]** (スケジュールされた電源オン/オフ) をタッチします。

図44 [Scheduled power on and off] (スケジュールされた電源オン/オフ)



3. **[Scheduled power on]** (スケジュールされた電源オン) セクションで、オン/オフ スイッチをタッチします。

図45 電源スケジュールの設定

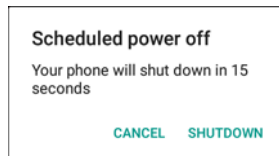


4. 時刻をタッチします。
5. 時計のダイアログ ボックスを使用して電源オンの時刻を設定し、**[Done]** (完了) をタッチします。デフォルトでは、毎日、電源オンの時刻が適用されます。
6. 曜日の丸いアイコンをタッチすると、特定の曜日の電源オンが無効になります。

7. **[Repeat]** (繰り返し) チェックボックスをオフにすると、毎日の繰り返しが無効になり、次の設定時刻に TC25 の電源がオンになります。
8. スケジュールされた電源オフ設定について繰り返します。
9.  をタッチします。

TC25 が自動電源オフを開始すると、ダイアログ ボックスが表示されます。

図46 電源オフ



[Shutdown] (シャットダウン) をタッチすると、電源がオフになります。**[Cancel]** (キャンセル) をタッチすると、電源がオフにならないが、20 秒後にデバイスの電源が自動的にオフになります。

デバイスのリセット

ソフト リセットとハード リセットという 2 つのリセット機能があります。

ソフト リセットの実行

アプリケーションが応答を停止した場合は、ソフト リセットを実行します。

1. メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. **[Reset]** (リセット) をタッチします。
3. デバイスが再起動します。

ハード リセットの実行



注意 TC25 に microSD カードが取り付けられている状態でハード リセットを実行すると、microSD カードの損傷やデータ破損が発生する可能性があります。

TC25 が応答を停止した場合は、ハード リセットを実行します。

1. 電源ボタン、および音量上げボタンを 5 秒以上同時に押します。
2. 画面がオフになったら、ボタンを放します。
3. TC25 が再起動します。

サスペンド モード

ユーザーが電源ボタンを押したときや、([Display settings] (ディスプレイの設定) ウィンドウで設定した) 一定の期間にわたって非アクティブな状態が続いた場合に、TC25 はサスペンド モードになります。

TC25 をサスペンド モードからウェイクアップするには、電源ボタンを押します。[Lock] (ロック) 画面が表示されます。画面を上から下にスワイプしてロックを解除します。[Pattern] (パターン) 画面のロック解除機能が有効な場合は、[Lock] (ロック) 画面ではなく、[Pattern] (パターン) 画面が表示されます。[PIN] または [Password] (パスワード) 画面のロック解除機能が有効な場合は、画面をロック解除した後に、PIN またはパスワードを入力します。



注： 正しくない PIN、パスワードまたはパターンを 5 回入力すると、再試行するまで 30 秒待たなければならなくなります。

PIN、パスワードまたはパターンを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。

USB を使用してホスト コンピュータにファイルを転送する

TC25 とホスト コンピュータの間でファイルを転送するには、USB 充電ケーブルまたは 1 スロット USB クレードルを使用して TC25 をホスト コンピュータに接続します。詳細については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。

TC25 をホスト コンピュータに接続する場合は、ホスト コンピュータの USB デバイスの接続と切断の指示に従って、ファイルの損傷や破損を防ぎます。

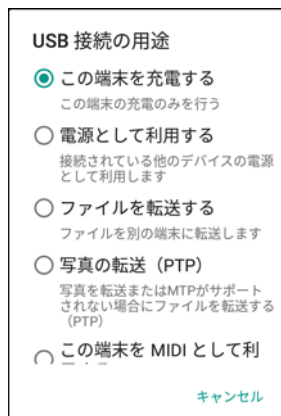
メディア転送プロトコルを使用してファイルを転送する



注： メディア転送プロトコル (MTP) を使用して、TC25 (内部メモリまたは microSD カード) とホスト コンピュータ間でファイルをコピーします。

1. 高耐久性充電/USB ケーブルを TC25 に接続するか、または TC25 を 1 スロット USB/充電専用クレードルに入れます。セットアップ情報については、「[アクセサリ](#)」を参照してください。
2. [Notifications] (通知) パネルを表示して、[USB charging this device] (このデバイスを充電中の USB) をタッチします。

図47 USB ダイアログ ボックスの使用



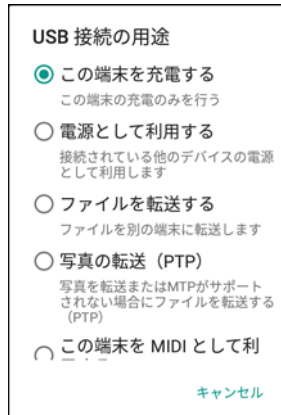
3. [Transfer files] (ファイルの転送) をタッチします。
4. ホスト コンピュータ上で、ファイル エクスプローラ アプリケーションを開きます。
5. ポータブル デバイスとしての TC25 を見つけます。
6. SD カードまたは内部ストレージ フォルダを開きます。
7. 必要に応じて、TC25 との間でファイルをコピーしたり、ファイルを削除したりします。

写真転送プロトコルを使用してファイルを転送する

✓ 注： 写真転送プロトコル (PTP) を使用して、microSD カード または内部メモリからホスト コンピュータに写真をコピーします。

1. USB ケーブルを TC25 に接続するか、または TC25 を 1 スロット イーサネット クレードルに入れます。セットアップ情報については、「[「アクセサリ」](#)」を参照してください。
2. [Notifications] (通知) パネルを表示して、[USB charging this device] (このデバイスを充電中の USB) をタッチします。

図48 USB ダイアログ ボックスの使用



3. [Transfer photos (PTP)] (写真の転送 (PTP)) をタッチします。
4. ホスト コンピュータ上で、ファイル エクスプローラ アプリケーションを開きます。
5. SD カードまたは内部ストレージ フォルダを開きます。
6. 必要に応じて、写真をコピーまたは削除します。

ホスト コンピュータから切断する



注意 ホスト コンピュータの指示に従って、microSD カードのマウントを慎重に解除し、USB デバイスを正しく切断して情報の損失を防ぎます。

1. ホスト コンピュータで、デバイスをマウント解除します。
2. USB 充電ケーブルをデバイスから取り外すか、デバイスをクレードルから取り外します。

通話

[Phone] (電話) アプリケーション、[Contacts] (連絡先) アプリケーションまたはその他のアプリケーション、あるいは連絡先情報を表示するウィジェットから電話をかけます。

緊急通話

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (110 や 119 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされている場合や SIM カードが装着されていない場合、電話が有効でない場合でも電話をかけることができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードにプログラムすることができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、デバイスに SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。



注： 緊急番号は、国によって異なります。一部の地域で電話機にあらかじめ設定されている緊急番号が使用できないことがあります。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えないこともあります。

音声モード

デバイスは、3 つの通話音声モードを備えています。

- **ハンドセット モード:** デバイスの前面上部にあるレシーバから音声が出力され、デバイスをハンドセットとして使用できます。これがデフォルトのモードです。
- **スピーカ モード:** デバイスをスピーカ フォンのように使用できます。
- **ヘッドセット モード:** 耳装着型の Bluetooth ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットをデバイスに接続する方法については、[114 ページの「Bluetooth」](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、音量を適切に設定してください。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカ フォンはミュートになります。

音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、音量ボタンを使用します。



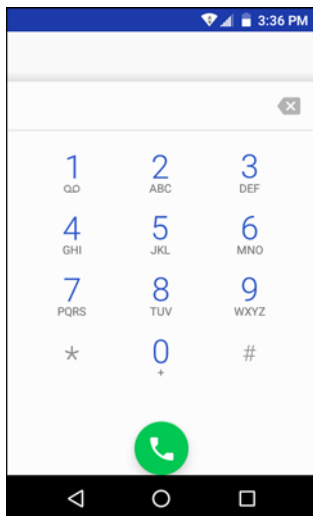
注： 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。

ダイヤラを使用して電話をかける

ダイヤラ タブを使用して電話番号をダイヤルします。

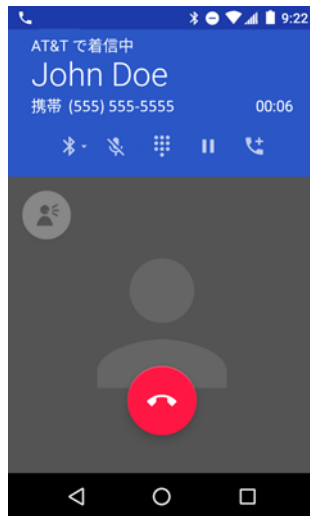
1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  をタッチします。

図49 ダイヤラ画面



3. キーをタッチし、電話番号を入力します。
4. ダイヤラの下にある  をタッチし、通話を開始します。

図50 通話中

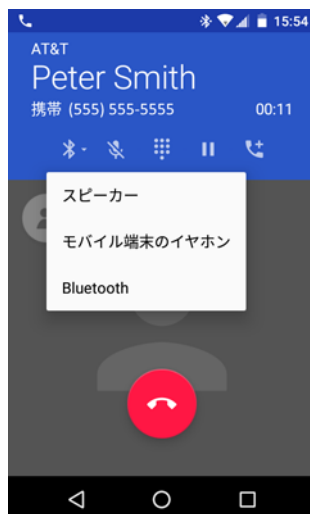


- - タッチして、スピーカ フォンに音声を送ります。
- - タッチして、通話をミュートします。
- - タッチして、ダイヤル パッドを表示します。
- - タッチして、通話を保留にします (一部のサービスでは利用できません)。
- - タッチして、会議通話を作成します。
- - タッチして、音量アップをオンまたはオフにします。

5. 通話を終了するには、 をタッチします。

Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、追加の音声オプションを利用できます。音声アイコンをタッチして、音声メニューを開きます。

図51 Bluetooth 音声オプション



- - 音声 が Bluetooth ヘッドセットにルーティングされていることを示します。
- - 音声 がスピーカ フォンにルーティングされていることを示します。
- - 音声 がイヤホンにルーティングされていることを示します。

ダイヤラのダイヤル オプション

ダイヤラでは、ダイヤルした連絡先番号を保存するオプション、ダイヤル文字列に一時停止と待機を挿入するオプション、また通話設定を行うオプションを利用できます。これらのオプションにアクセスするには、少なくとも 1 桁を入力します。以下のオプションにアクセスするには、 をタッチします。

- **[Add 2-sec pause] (2 秒間の一時停止を追加)** - 2 秒間一時停止してから次の数字をダイヤルします。連続して複数の一時停止を追加できます。
- **[Add wait] (待機を追加)** - 残りの桁の送信の確認を待機します。

連絡先を使用して電話をかける

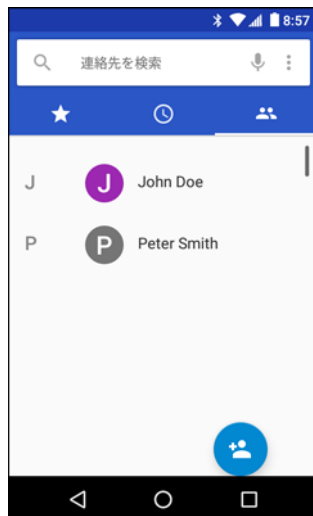
連絡先を使用して電話をかける方法は 2 つあります。

- ダイヤラの使用
- 連絡先アプリケーションの使用

ダイヤラの使用

1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  タブをタッチします。

図52 [Dialer Contacts] (ダイヤラの連絡先) タブ



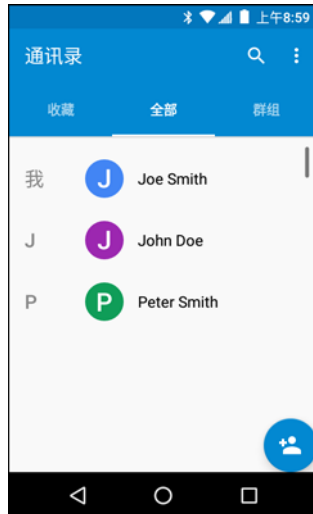
3. 連絡先をタッチします。
4. 通話を開始するには、 をタッチします。
5. 通話を終了するには、 をタッチします。

連絡先アプリケーションの使用

連絡先アプリケーションを使用して電話をかけるには、以下の手順に従います。

1.  をタッチします。

図53 連絡先アプリケーション



2. 連絡先の名前をタッチします。
3. タッチして通話を開始します。

通話履歴を使用して電話をかける

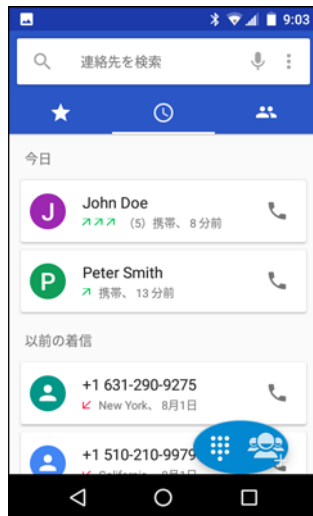
通話履歴は、発信、着信、または不在着信したすべての通話のリストです。通話履歴は、番号のリダイヤル、電話の折り返し、または連絡先に番号を追加するのに便利です。

通話の横にある矢印アイコンが通話のタイプを示します。複数の矢印は複数の通話を示しています。

-  - 不在着信
-  - 受信した着信
-  - 発信。

1. ホーム画面で  をタッチします。
2.  タブをタッチします。

図54 [Call History] (通話履歴) タブ



3. 連絡先の横にある  をタッチして、通話を開始します。
4. 連絡先をタッチして、他の機能を実行します。
5. 通話を終了するには、 をタッチします。

会議通話セッションの確立

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

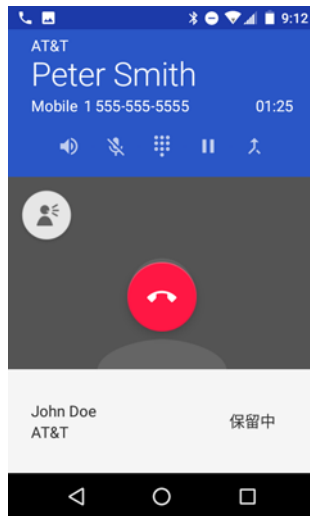


注： 一部のサービスでは、会議通話機能を使用できないことがあります。また、会議通話の数が異なることがあります。会議通話機能を使用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

ホーム画面で  をタッチします。

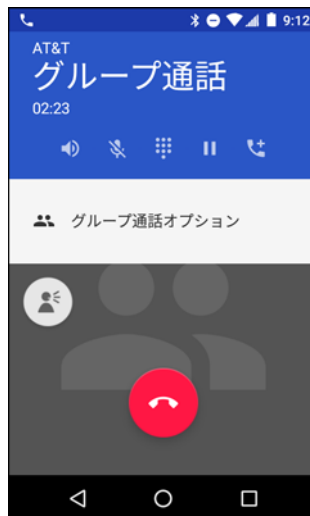
1.  をタッチします。
2. キーをタッチし、電話番号を入力します。
3. ダイアログの下にある  をタッチし、通話を開始します。
4. 電話が接続された時点で、 をタッチします。
5. 連絡先を選択するか、または  をタッチして、2 番目の電話番号を入力します。
6. ダイアログの下にある  をタッチし、通話を開始します。最初の通話が保留になります。
7. 電話がつながると、最初の通話が保留になり、2 番目の通話が有効になります。

図55 2つの通話



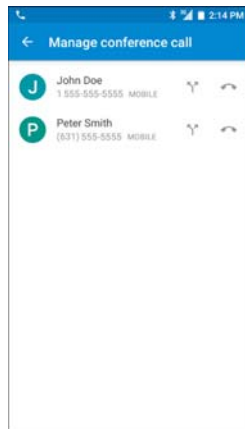
8. 人アイコンをタッチし、3者による会議通話を作成します。

図56 通話の結合



9. 別の通話を追加するには、人をタッチします。
会議が保留になります。
10. キーをタッチし、別の電話番号を入力します。
11. ダイヤラの下にある 電話 をタッチし、通話を開始します。
12. 3番目の通話を会議に追加するには、人をタッチします。
13. [Manage Conference call] (会議通話の管理) をタッチし、すべての通話者を表示します。

図57 通話の結合解除



14. 会議から 1 人の通話者を除外するには、その通話者の隣にある  をタッチします。

会議通話で 1 人の相手と 2 人だけで話すには、 をタッチします。すべての通話先相手を再度参加させるには、 をタッチします。

Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかける

Bluetooth ヘッドセットを使用して電話をかけるには、以下の手順に従います。

1. Bluetooth ヘッドセットをデバイスとペアリングします。
2. Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。
3. 「電話をかける」と言ってから、番号または連絡先の名前を言います。
4. 通話を終了するには、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

通話への応答

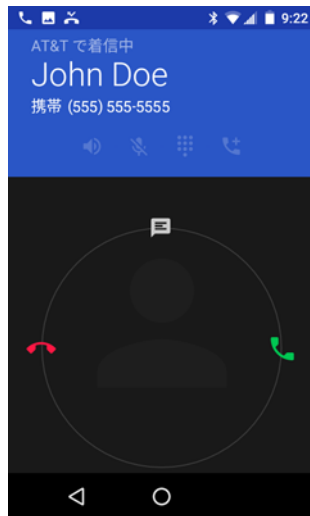
電話がかかってきたとき、[Incoming Call] (着信) 画面が開き、発信者 ID と [Contacts] (連絡先) アプリケーション内にある発信者に関する追加情報が表示されます。

図58 [Incoming Call] (着信) 画面



[Answer] (応答) をタッチして応答するか、[Dismiss] (終了) をタッチして通話者に音声メールを送信します。画面ロックが有効な場合、デバイスをロック解除せずに通話に応答できます。

図59 着信ロック画面



着信したときは、白い電話アイコンをタッチし、次のいずれかのアイコンまでスライドします。

-  [Answer call] (通話に応答) - 発信者との通話を開始します。
-  [Send to voice mail] (音声メールに転送) - 音声メール メッセージを残すように発信者に依頼します。
-  [Send a message] (メッセージを送信) - クイック テキスト応答のリストを開きます。いずれかをタッチし、発信者に直ちに送信します。

通話が終了したとき、デバイスはロックされたままです。

Bluetooth ヘッドセットを使用している場合、着信したときは、Bluetooth ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押して応答します。通話を終了するには、ヘッドセットの [Call] (通話) ボタンを押します。

すべての着信は、[Phone] (電話) アプリケーションの [Call log] (コール ログ) タブで記録されます。電話に出られない場合、通知を受信します。電話に応答する前に着信音を無音にするには、デバイスの横にある音量を下げるボタンを押します。

通話設定



重要: すべての構成ですべてのオプションが使用できるわけではありません。

[Call Settings] (通話設定) を使用して、通話機能に関連したオプションを変更します。

[Call Settings] (通話設定) を使用して、通話機能に関連したオプションを変更します。[Call] (通話) ホーム画面で、 > [Settings] (設定) の順にタッチします。

[Display Options] (表示オプション)

- **[Sort by] (並び替え)** - オプション: [First name] (名) または [Last name] (姓) 順に並び替えます。
- **[Name format] (名前の形式)** - オプション: [First name first] (名姓順) または [Last name first] (姓名順) の形式にします。

[Sounds and Vibrations] (着信音とバイブレーション)

- **[Phone ringtone]** (着信音) - タッチして、着信したときに鳴る着信音を選択します。
- **[Also vibrate for calls]** (着信時にバイブ) - チェックして、着信時にデバイスが振動するようにします (デフォルト - 無効)。
- **[Dialpad tones]** (ダイヤルパッド操作音) - オンにすると、電話キーにタッチしたときに音が鳴ります (デフォルト - 有効)。
- **[Dialpad tone length]** (ダイヤルパッド操作音の長さ) - ダイヤルパッド操作音の長さを選択します。以下のオプションを選択できます。**[Normal]** (普通) または **[Long]** (長い)。

[Quick Responses] (クイック レスポンス)

タッチして、通話に応答する代わりに使用するクイック レスポンスを編集します。

[Speed Dial Settings] (短縮ダイヤルの設定)

連絡先へのショートカットとなる短縮ダイヤルを設定します。

通話

- **通話アカウント**
 - **[SIP Accounts]** (SIP アカウント) - デバイスに追加されたアカウントのインターネット通話を受信する、SIP アカウントを表示または変更する、またはインターネット通話アカウントを追加する場合に選択します。
 - **[Use SIP calling]** (SIP 通話の使用) - オプション: **[For all calls]** (すべての通話) または **[Only for SIP calls]** (SIP 通話のみ) です (デフォルト)。
 - **[Receive incoming calls]** (着信を受信) - 有効にすると、着信を許可します (デフォルト - 無効)。
- **[Voicemail]** (ボイスメール) - タッチして、ボイスメール設定を行います。
 - **[Service]** (サービス) - ボイスメール サービスにサービス プロバイダまたはその他のプロバイダを設定します。
 - **[Setup]** (設定) - タッチして、ボイスメールにアクセスするために使用する電話番号を更新します。
 - **[Sound]** (サウンド) - タッチして、ボイスメールの受信時に再生されるサウンドを選択します。
 - **[Vibrate]** (振動) - 振動オプションを設定します。(デフォルト - 無効)。
- **[Fixed Dialing Numbers]** (発信先固定) - **[Fixed Dialing]** (発信先固定) では、**[Fixed Dialing]** (発信先固定) リストに指定された電話番号または市外局番以外をダイヤルできないようにデバイスを制限できます。
- **[Wi-Fi Calling]** (Wi-Fi 通話) - 設定と信号強度に応じて、TC25 が Wi-Fi ネットワーク経由またはキャリアのモバイル ネットワーク経由で通話をルーティングできるようにします。初めに、使用しているキャリアを確認してください。
- **GSM 通話設定**
 - **[Call forwarding]** (自動転送) - 自動転送を使用して、着信を別の電話番号に転送します。



重要: 自動転送 は、すべてのネットワークで利用できるわけではありません。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダに確認してください。

- 追加設定
- **[Caller ID]** (発信者 ID) - 発信者 ID により発信しているのが誰なのかを特定できます。以下のオプションを選択できます。**[Network default]** (ネットワークのデフォルト) (デフォルト)、**[Hide number]** (番号を非表示にする)、**[Show number]** (番号の表示)。
- **[Call waiting]** (割込通話) - 設定して、通話中に着信を通知します。
- **[Call barring]** (発着信制限) - 発着信制限を使用して、特定のタイプの着信および発信をブロックします。ブロックする着信および発信のタイプを選択します。

[Call Blocking] (通話のブロック)

特定の電話番号からの通話を受信したくない場合は、それをブロックできます。その番号が通話を試みると、電話が自動的にその通話を拒否します。

ブロックする電話番号を追加するには、**[ADD NUMBER]** (番号の追加) をタッチします。

ユーザー補助

- **[TTY mode]** (TTY モード) - タッチして、TTY 設定を行います。TC25 に付属するオプションのテレタイププライタ (TTY) デバイスを使用して、通話の送受信を行います。TTY デバイスをアダプタと TC25 USB C ポートに接続して、TC25 がいずれかの TTY モードで動作するように設定します。



重要: TSB-121 準拠ケーブル (TTY メーカー製) を使用して、TTY デバイスを TC25 に接続します。

正しく動作させるためには、TC25 の音量を中間レベルに設定します。誤った文字の数が多い場合は、エラー率を最小限にするために音量を必要に応じて調整してください。

最適なパフォーマンスを得るためには、TC25 は TTY デバイスから 30cm (12 インチ) 以上離れている必要があります。TC25 と TTY デバイスの距離が近すぎると、エラー率が高くなる場合があります。

- **[TTY off]** (TTY オフ) - TTY をオフにします (デフォルト)。
- **[TTY Full]** (TTY フル) - TTY 文字を送受信します。
- **[TTY HCO]** - TTY 文字を送信しますが、受信はイヤホンで聞くことによって行います。
- **[TTY VCO]** - TTY 文字を受信しますが、送信はマイクで話すことによって行います。
- **[Hearing aids]** (補聴器) - 補聴器との互換性をオンまたはオフにします。

アプリケーション

このセクションでは、デバイスにインストールされているアプリケーションについて説明します。

ファイル ブラウザ

ファイル ブラウザ アプリケーションを使用して、デバイス上のファイルを表示および管理します。

ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図60 アドレス バー (1) に、現在のフォルダのパスが表示されます。



アドレス バーに、現在のフォルダのパスが表示されます。内部ストレージのルート フォルダを表示するには、(3) を使用します。

複数のファイル/フォルダを選択するには、 を使用します。

デバイスのルート フォルダを表示するには、 を使用します。

内部ストレージ フォルダを表示するには、 を使用します。

前のフォルダを表示するか、アプリケーションを終了するには、 を使用します。

操作を実行するには、その項目をタッチし続けます。[File Operations] (ファイル操作) メニューからいずれかのオプションを選択します。

- **[Information]** (情報) - ファイルまたはフォルダについての詳細情報を表示します。
- **[Move]** (移動) - ファイルまたはフォルダを新しい場所に移動します。
- **[Copy]** (コピー) - 選択したファイルをコピーします。
- **[Delete]** (削除) - 選択したファイルを削除します。
- **[Rename]** (名前変更) - 選択したファイルを名前変更します。
- **[Open as]** (ファイルを指定して開く) - 選択したファイルを特定のファイル タイプとして開きます。
- **[Share]** (共有) - ファイルを他のデバイスと共有します。

 をタッチすると、次のメニュー オプションが表示されます。

- **[New Folder]** (新しいフォルダ) - 新しいフォルダを作成します。
- **[Search]** (検索) - デバイス上の特定のファイルを検索します。
- **[Sort]** (並べ替え) - 名前、タイプ、サイズ、または日付でファイルを並べ替える場合の順序を選択します。
- **[Refresh]** (リフレッシュ) - 現在のフォルダをリフレッシュします。
- **[List View]** (リスト ビュー) - フォルダの表示形式をリストに変更します。グリッド ビューでのみ表示されます。
- **[Grid View]** (グリッド ビュー) - フォルダの表示形式をグリッドに変更します。リスト ビューでのみ表示されます。
- **[Change Size]** (サイズの変更) - アイコンのサイズを変更します。
- **[About File Browser]** (ファイル ブラウザのバージョン情報) - アプリのバージョンを表示します。

メッセージング

SMS と MMS の各メッセージを送受信するには、[Messaging] (メッセージング) を使用します。ホーム画面または [All Apps] (すべてのアプリケーション) 画面で、 をタッチします。

テキスト メッセージの送信

1. メインの [Messaging] (メッセージング) 画面で、 をタッチします。

図61 [New Text Message] (新しいテキスト メッセージ) 画面



2. [To] (宛先) フィールドに、名前または携帯電話番号を入力します。
3. [Send message] (メッセージを送信) フィールドにテキスト メッセージを入力します。
160 文字制限カウンタに残りの文字数が表示されます。その制限を超えると、新しいメッセージが作成されます。このメッセージは、受信側で前のメッセージと結合されます。
メッセージの作成中に [Back] (戻る) ボタンを押すと、メッセージが下書きとして [Messaging] (メッセージング) 画面に保存されます。メッセージの作成を再開するには、会話をタッチします。
4.  をタッチして、メッセージを送信します。

マルチメディア メッセージの送信

1. メインの [Messaging] (メッセージング) 画面で、 をタッチします。
2. [To] (宛先) フィールドに、名前または携帯電話番号を入力します。
3.  をタッチして、選択したメディア ファイルを添付します。

図62 [New Multimedia Message] (新しいマルチメディア メッセージ) 画面



- **[Subject] (件名)** - メッセージの件名を追加します。
 - **[Pictures] (画像)** - 添付する画像を選択します。
 - **[Capture picture] (写真撮影)** - カメラが起動し、写真を撮影して添付します。
 - **[Videos] (動画)** - 添付する動画を選択します。
 - **[Capture video] (ムービー撮影)** - ビデオカメラが起動し、ビデオを録画して、メッセージに添付します。
 - **[Audio] (オーディオ)** - 添付するサウンド ファイルを選択します。
 - **[Record audio] (オーディオの録音)** - サウンド レコーダが起動し、話したメッセージを録音して、メッセージに添付します。
 - **[Slideshow] (スライドショー)** - テキスト、画像、ビデオ、および音声録音を最大 10 枚のスライドのスライドショーにまとめる画面が開き、メッセージに添付します。
 - **[Insert contact info] (連絡先情報の挿入)** - 連絡先の電話の情報をテキストとして送信します。
 - **[Contact vCard] (連絡先 vCard)** - 連絡先の情報を vCard として送信します。
 - **[Import Template] (テンプレートのインポート)** - 事前に登録されたメッセージを送信します。
 - **[Calendar] (カレンダー)** - カレンダーのイベントを送信します。
4. ➡ をタッチして、メッセージを送信します。

連絡先

連絡先アプリケーションを使用して、連絡先を管理します。

ホーム画面または [Apps] (アプリ) 画面で、 をタッチします。[People] (連絡先一覧) が開き、連絡先のメイン リストが表示されます。連絡先は、画面の上部で、次の 3 つの方法で表示できます。[Groups] (グループ)、[All contacts] (すべての連絡先)、[Favorites] (お気に入り)。タブをタッチすると、連絡先の表示方法が変化します。上下にスワイプして、リストをスクロールします。

図63 [Contacts] (連絡先) 画面



連絡先の追加

1. 連絡先アプリケーションで、 をタッチします。
2. 複数の連絡先をもつ複数のアカウントがある場合は、使用するアカウントをタッチします。
3. 連絡先の名前とその他の情報を入力します。フィールドをタッチして入力を開始し、下にスワイプしてすべてのカテゴリを表示します。
4. 電子メール アドレスの [Home] (ホーム) または [Work] (仕事) など、事前に設定されたラベルが付けられたメニューを開くには、連絡先情報の項目の右にあるラベルをタッチします。または、独自のラベルを作成するには、メニューで [Custom] (カスタム) をタッチします。
5. ✓ をタッチします。

連絡先の編集

1. 連絡先アプリケーションで、編集する連絡先の名前をタッチします。
2.  をタッチします。
3. 連絡先情報を編集します。
4. ✓ をタッチします。

連絡先の削除

1. 連絡先アプリケーションで、削除する連絡先の名前をタッチします。
2.  をタッチします。
3. [Delete] (削除) をタッチします。
4. [Delete] (削除) をタッチして確定します。

カメラ



重要 カメラ アプリケーションは、カメラを搭載したデバイスのみで使用できます。

このセクションでは、内蔵デジタル カメラを使用した写真の撮影とビデオの録画について説明します。



注 microSD カードが取り付けられている場合、TC25 では、microSD カードに写真とビデオが保存されます。microSD カードが取り付けられていない場合、TC25 では、内部ストレージに写真とビデオが保存されます。

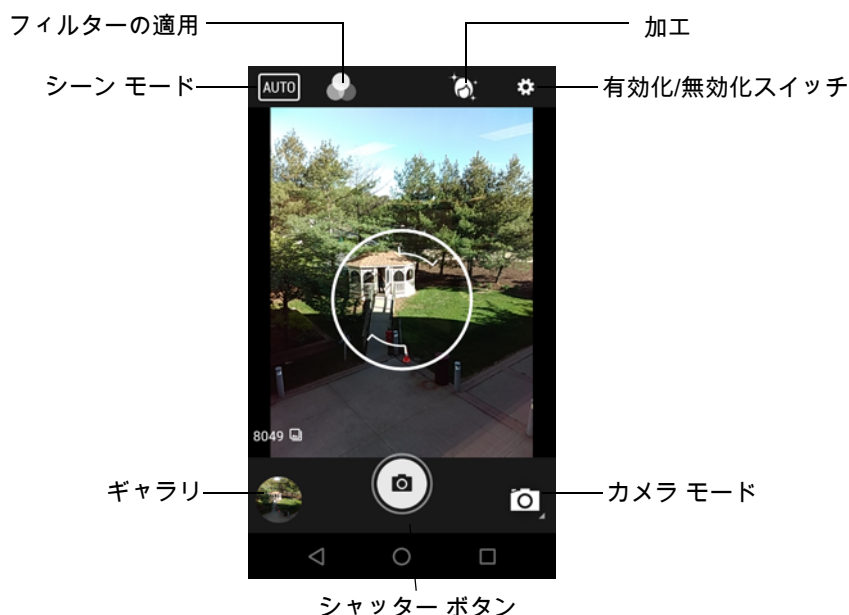
写真の撮影



注 カメラ設定の説明については、76ページの「写真設定」を参照してください。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図64 カメラ モード



2. 必要に応じて、[Camera Mode] (カメラ モード) アイコンをタッチして、 をタッチします。
3. 被写体を画面のフレームに合わせます。
4. ズームインまたはズームアウトを行うには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。ズームを操作するオプションが画面に表示されます。
5. フォーカスする画面の領域をタッチします。フォーカス用の円が画面に表示されます。ピントが合うと、2本のバーが緑色に変わります。
6.  をタッチします。
カメラで写真が撮影され、シャッター音が鳴ります。
撮影した写真は短時間、サムネイルとして左下隅に表示されます。

パノラマ写真の撮影

パノラマ モードでは、被写体全体をゆっくりパンすることにより、1つの幅広い画像を撮影できます。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. [Camera Mode] (カメラ モード) をタッチして、 をタッチします。

図65 パノラマ モード



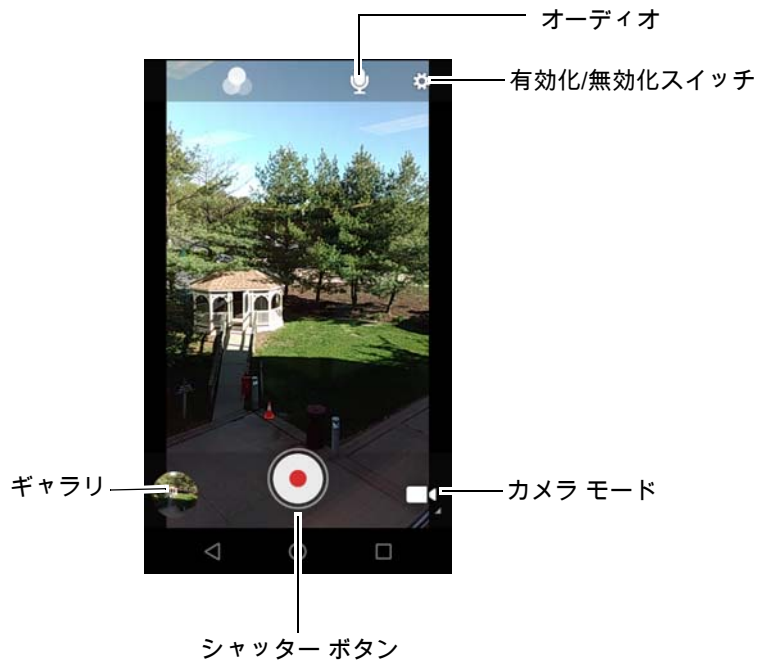
3. シーンの片側をフレームに合わせて撮影します。
4.  をタッチして、撮影する領域全体をゆっくりパンします。撮影中は、小さな白い正方形がボタン内に表示されます。
パンが速すぎる場合は、「Too fast」(速すぎます) というメッセージが表示されます。
5.  をタッチして撮影を終了します。パノラマがすぐに表示され、画像を保存している間に進捗インジケータが表示されます。

ビデオの録画

ビデオを録画するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. [Camera Mode] (カメラ モード) をタッチして、 をタッチします。

図66 ビデオ モード



3. カメラの向きを合わせてシーンをフレームに合わせます。
4. ズームインまたはズームアウトを行うには、2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、離したりします。ズームを操作するオプションが画面に表示されます。
5.  をタッチして、録画を開始します。
デバイスでビデオの録画が開始します。をタッチして、録画を終了します。
6.  をタッチして、録画を終了します。
撮影したビデオは短時間、サムネイルとして左下隅に表示されます。

写真設定

写真モードの場合は、写真設定が画面に表示されます。 をタッチして、写真設定のオプションを表示します。

- **[Flash] (フラッシュ)** - タッチして、カメラが露出計を使用してフラッシュが必要かどうかを判別するか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
 -  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします。
 -  **[Auto] (自動)** - 露出計に従って、カメラが自動的にフラッシュを調整します (デフォルト)。
 -  **[On] (オン)** - 写真を撮影するときにフラッシュが有効になります。
- **[Picture size] (写真サイズ)** - タッチして、写真のサイズ (ピクセル単位) を設定します。以下のオプションを選択できます。[8M pixels] (8M ピクセル) (デフォルト)、[5M pixels] (5M ピクセル)、[4M pixels (16:9)] (4M ピクセル (16:9))、[3M pixels] (3M ピクセル)、[HD 1080]、[2M pixels] (2M ピクセル)、[1.5M pixels] (1.5M ピクセル)、[1.3M pixels] (1.3M ピクセル)、[WXGA]、[HD 720]、[1M pixels] (1M ピクセル)、[SVGA]、[WVGA]、[720 x 480]、[VGA]、[CIF]、または [QVGA]。
- **[Picture quality] (画質)** - タッチして、写真画質の設定を選択します。以下のオプションを選択できます。[Low] (低)、[Standard] (標準) (デフォルト) または [High] (高)。
- **[Countdown timer] (カウントダウン タイマ)** - カメラ ボタンを押した後に実際に写真を撮るまでの待ち時間を選択します。以下のオプションを選択できます。[Off] (オフ) (デフォルト)、[2 seconds] (2 秒)、[5 seconds] (5 秒) または [10 seconds] (10 秒)。

- **[Storage] (ストレージ)** - タッチして写真を保存する場所を選択します。以下のオプションを選択できます。**[Phone] (電話)** (デフォルト) または **[SD Card] (SD カード)**。
- **[Continuous Shot] (連写)** - 撮影ボタンを押した状態で複数枚の写真をすばやく撮影する場合に選択します。以下のオプションを選択できます。**[Off] (オフ)** (デフォルト) または **[On] (オン)**。
- **[Face Detection] (顔検出)** - 選択すると、顔検出が有効になります。以下のオプションを選択できます。**[Off] (オフ)** (デフォルト) または **[On] (オン)**。
- **[ZSL]** - ボタンが押されたときに、カメラがただちに写真を撮影するように設定します (デフォルトでは有効)。
- **[Focus mode] (フォーカス モード)** - 無効になっています。
- **[Anti Banding] (アンチ バンディング)** - テレビ画面やモニタ画面の映像を写真として撮影する場合に、縦線や横線 (バンディング) の発生を防止するために選択します。以下のオプションを選択できます。**[Off] (オフ)** (デフォルト)、**[50Hz]**、**[60Hz]**、または **[オート] (Auto)**。
- **[ISO]** - カメラの感光性を設定します。以下のオプションを選択できます。**[Auto] (自動)** (デフォルト)、**[ISO Auto (HJR)] (ISO 自動 (HJR))**、**[ISO100]**、**[ISO200]**、**[ISO400]**、**[ISO800]** または **[ISO1600]**。
- **[Exposure] (露出)** - タッチして、露出設定を調整します。以下のオプションを選択できます。**[+2]**、**[+1]**、**[0]** (デフォルト)、**[-1]** または **[-2]**。
- **[White balance] (ホワイト バランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 -  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Auto] (自動)** - ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
- **[Chroma Flash] (クロマ フラッシュ)** - フラッシュ点灯前と点灯時の 2 パターンで同じ被写体をほぼ同時に撮影し、この 2 つの画像を組み合わせることでフラッシュ撮影の品質を向上させる場合に選択します。以下のオプションを選択できます。**[Off] (オフ)** (デフォルト) または **[On] (オン)**。
- **[Redeye Reduction] (赤目軽減)** - フラッシュ使用時の赤目現象を軽減する場合に選択します。以下のオプションを選択できます。**[Disable] (無効化)** (デフォルト) または **[Enable] (有効化)**。**[Chroma Flash] (クロマ フラッシュ)** が有効な場合は無効になります。
- **[Shutter Sound] (シャッター音)** - 撮影時のシャッター音を鳴らす場合は選択します。以下のオプションを選択できます。**[Disable] (無効化)** (デフォルト) または **[Enable] (有効化)**。

ビデオの設定

ビデオ モードの場合は、ビデオ設定が画面に表示されます。 をタッチして、ビデオ設定のオプションを表示します。

- **[Flash] (フラッシュ)** - タッチして、背面カメラが露出計を使用してフラッシュが必要かどうかを判別するか、すべての撮影でフラッシュをオンまたはオフにするかを設定します。
 -  **[Off] (オフ)** - フラッシュを無効にします (デフォルト)。
 -  **[On] (オン)** - フラッシュが有効になります。
- **[Video quality] (ビデオ画質)** - タッチして、ビデオ画質を選択します。以下のオプションを選択できます。**[HD 1080p]** (デフォルト)、**[HD 720p]**、**[SD 480p]**、**[VGA]**、**[CIF]**、または **[QVGA]**。

- **[GPS location] (GPS 位置情報)** - デバイスのグローバル ポジショニング システム (GPS) を使用して、各写真に位置情報を組み込みます。以下のオプションを選択できます。**[On] (オン)** (デフォルト) または **[Off] (オフ)**。
- **[Video duration] (ビデオ持続時間)** - 以下のオプションを選択できます。**[30 seconds (MMS)] (30 秒 (MMS))**、**[10 minutes] (10 分)** (デフォルト)、**[30 minutes] (30 分)** または **[no limit] (制限なし)**。
- **[Storage] (ストレージ)** - タッチして写真を保存する場所を選択します。以下のオプションを選択できます。**[Phone] (電話)** (デフォルト) または **[SD Card] (SD カード)**。
- **[White balance] (ホワイト バランス)** - タッチして、最も自然な色調になるように、光の加減に合わせてどのように色を調整するかを選択します。
 -  **[Incandescent] (白熱灯)** - 白熱灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Fluorescent] (蛍光灯)** - 蛍光灯に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Auto] (自動)** - ホワイト バランスを自動的に調整します (デフォルト)。
 -  **[Daylight] (昼光)** - 昼光に適するようにホワイト バランスを調整します。
 -  **[Cloudy] (曇り)** - 曇天の環境に適するようにホワイト バランスを調整します。
- **[Video High FrameRate] (ビデオ高フレーム レート)** - 動きをより鮮明に撮影する場合は、ビデオの高フレーム レートを選択します。以下のオプションを選択できます。**[Off] (オフ)** (デフォルト)、**[HFR 60]**、**[HFR 90]**、**[HFR 120]**、**[HSR 60]**、**[HSR 90]**、または **[HSR 120]**。
- **[Image Stabilization] (画像の安定化)** - ビデオの撮影中にズームを安定させるために選択します。以下のオプションを選択できます。**[Off] (オフ)** (デフォルト)、または **[On] (オン)**。

写真

[Photos] (写真) では、次の操作を実行できます。

- 写真を表示する
- ビデオを再生する
- 写真の基本編集を行う
- 壁紙として写真を設定する
- 連絡先用の写真として写真を設定する
- 写真やビデオを共有する

[Photos] (写真) には、microSD カードおよび内部メモリに保存されたすべての写真とビデオが表示されます。

写真アプリケーションを開くには、ホーム画面の一番下から上にスワイプして、 をタッチします。

デフォルトでは、写真は [Photos] (写真) ビューで開きます。

図67 [Photos] (写真) ビュー



[Albums] (アルバム) をタッチすると、アルバムで並べ替えられた写真が表示されます。

図68 [Albums] (アルバム) ビュー



- アルバムをタッチして開き、その内容を表示します。アルバム内の写真とビデオは時系列で表示されます。
- アルバム内の写真またはビデオをタッチして表示します。
- ←をタッチすると、メイン画面に戻ります。

アルバムの処理

アルバムには、画像やビデオがフォルダに分類されています。アルバムにタッチして、開きます。写真やビデオは時系列のグリッド表示でリストされます。アルバムの名前は画面の上部に表示されます。

図69 アルバム内の写真



上にスワイプすると、画面上で画像をスクロールできます。

アルバムの削除

アルバムとその内容を削除するには、次の手順を実行します。

1. アルバムにタッチして、開きます。
2.  > **[Delete device folder]** (デバイス フォルダの削除) をタッチします。
3. **[delete folder]** (フォルダの削除) ダイアログ ボックスで、**[Delete]** (削除) をタッチします。

写真の処理

[Photos] (写真) を使用して、内部メモリと microSD カードの写真を表示します。

写真の表示およびブラウズ

写真を表示するには、次の手順に従います。

1. アルバムにタッチして、開きます。
2. 写真をタッチします。

図70 デバイスを回転させると、写真が縦向き (ポートレート) または横向き (風景) で表示されます。



3. 左右にスワイプして、アルバム内の次の写真または前の写真を表示します。
4. デバイスを回転させて、写真を縦向き (ポートレート) または横向き (ランドスケープ) に表示します。新しい向きで写真が表示されます (ただし、保存はされません)。
5. 写真をタッチすると、コントロールが表示されます。
6. 2本の指を画面に置いて指の間隔を狭めたり、広げたりして、ズーム インまたはズーム アウトします。
7. 写真の見えない部分を表示するには、写真をドラッグします。

写真のトリミング

1. 写真をタッチして、コントロールを表示します。
2.  の順にタッチします。トリミング ツールが表示されます。

図71 元のバージョンは保持されます。



3. トリミング ツールを使用して、写真をトリミングする部分を選択します。
 - トリミング ツールの内側からドラッグすると、トリミング部分が移動します。
 - トリミング ツールの縁をドラッグすると、トリミング部分が任意の比率でサイズ変更されます。
4. **[DONE] (完了)** をタッチします。
5. **[SAVE] (保存)** をタッチして、トリミングした写真のコピーを保存します。元のバージョンは保持されます。

連絡先アイコンとしての写真の設定

1. 写真にタッチして、開きます。
2.  をタッチします。
3. **[Use as] (用途)** をタッチします。
4. **[Contact photo] (連絡先用の写真)** をタッチします。
5. 連絡先アプリケーションで、連絡先をタッチします。
6. 白色のボックスをタッチし、写真を適切にトリミングします。
7. **[Done] (完了)** をタッチします。

写真の共有

1. アルバムにタッチして、開きます。
2. 写真にタッチして、開きます。
3.  をタッチします。
4. 必要に応じて、追加の写真を選択します。
5. 選択した写真を共有するために使用する連絡先またはアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージに写真が添付されます。

写真の削除

1. 写真にタッチして、開きます。
2.  をタッチします。
3. [Move to Trash] (ゴミ箱に移動) をタッチして、写真を削除します。

ビデオの処理

[Photos] (写真) を使用して、ビデオの表示と共有を行います。

ビデオの再生

1. アルバムにタッチして、開きます。
2. ビデオにタッチします。ビデオの再生が自動的に開始されます。
3. 画面をタッチすると、再生コントロールが表示されます。

ビデオの共有

1. アルバムにタッチして、開きます。
2. ビデオにタッチして、開きます。
3.  をタッチします。[Share] (共有) メニューが表示されます。
4. 選択したビデオを共有するために使用するアプリケーションをタッチします。選択したアプリケーションが開き、新しいメッセージにビデオが添付されます。

ビデオの削除

1. アルバムにタッチして、開きます。
2. ビデオにタッチして、開きます。
3.  をタッチします。
4. [Move to trash] (ゴミ箱に移動) をタッチします。

DataWedge のデモンストレーション



注 DataWedge の設定の詳細については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

データ収集機能のデモンストレーションを実行するには、[DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) を使用します。

図72 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) ウィンドウ

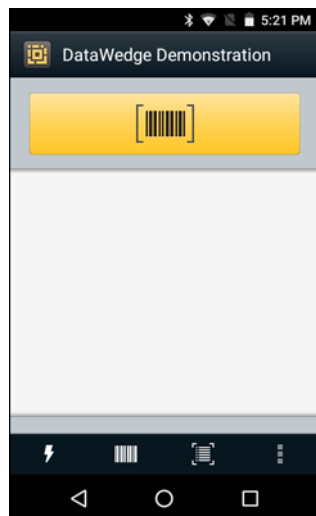
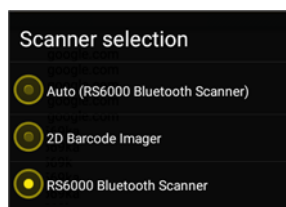


表 9 [DataWedge Demonstration] (DataWedge デモンストレーション) のアイコン

機能	アイコン	名称
照明		イメージャの照明がオフになっていることを示します。タッチして照明をオンにします。
		イメージャの照明がオンになっていることを示します。タッチして照明をオフにします。
データ収集		データ読み取り機能が内部イメージャを通じて行われていることを示します。
		Bluetooth イメージャが TC25 に接続されていないことを示します。
		Bluetooth イメージャが TC25 に接続されていることを示します。
スキャン モード		イメージャがピックリスト モードになっていることを示します。タッチすると、通常のスキャン モードに切り替わります。
		イメージャが通常のスキャン モードになっていることを示します。タッチすると、ピックリスト モードに切り替わります。
メニュー		アプリケーション情報を表示するため、アプリケーションの DataWedge プロファイルを設定するためのメニューを開きます。

データ収集モードを選択するには、[Data Capture] (データ収集) アイコンをタッチします。

図73 [Data Capture Options] (データ収集オプション) メニュー



使用するスキャナを選択します。スキャナ オプションの構成については、「[データ収集](#)」を参照してください。

データ読み取りを有効にするには、プログラム可能ボタンを押すか、黄色のスキャン ボタンをタッチします。収集したデータは、黄色のボタンの下にあるテキスト フィールドに表示されます。

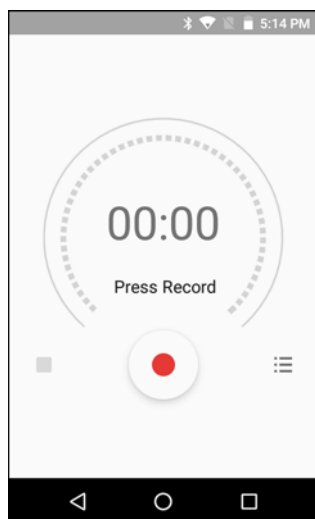
サウンド レコーダ

サウンド レコーダ を使用して、音声メッセージを録音します。

サウンド レコーダ アプリケーションを開くには、ホーム画面の一番下から上にスワイプして、 をタッチします。

録音は microSD カード (取り付けられている場合) または内蔵ストレージに保存され、Music (音楽) アプリケーション内の「Audio Recordings (オーディオ録音)」というタイトルの再生リストで使用できます。

図74 サウンド レコーダ アプリケーション



PTT Express Voice Client



注 PTT Express Voice Client には、個別のエンタープライズ デバイス間でプッシュトゥトーク (PTT) 通信を行う機能があります。PTT Express は、既存の無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN) インフラストラクチャを利用して、音声通信サーバーなしでシンプルな PTT 通信機能を提供します。

- **グループ通話:** 他の音声クライアント ユーザーとの通信を開始するには、PTT ボタンを押してホールドします。
- **プライベート応答:** 直前のブロードキャストの発信元に応答したり、プライベート応答を行ったりするには、PTT ボタンを 2 回押します。

PTT 音声通知

音声クライアントを使用するときに、以下の通知音が役立ちます。

- **トーク トーン:** 2 回鳴ります。送信ボタンを押すと再生されます。これは、通話の開始をユーザーに要求します。
- **アクセス トーン:** 1 回のビーブ音。別のユーザーがブロードキャストまたは応答を終了したときに再生されます。これで、ユーザーはグループ ブロードキャストまたはプライベート応答を開始できるようになります。
- **ビジー トーン:** 連続トーン。送信ボタンを押すと再生され、同じトーク グループで別のユーザーがすでに通信を開始しています。許容される最大送信時間 (60 秒) の経過後に再生されます。
- **ネットワーク トーン:**
 - 徐々に高くなるビーブ音が 3 回鳴ります。PTT Express が WLAN 接続を取得し、サービスが有効になると、再生されます。
 - 徐々に低くなるビーブ音が 3 回鳴ります。PTT Express の WLAN 接続が切断されるか、サービスが無効になると、再生されます。

図75 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明



表 10 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

項目	説明
サービス状態の表示	PTT Express クライアントの現在のステータスを示します。
サービスのステータス	トーク グループ以下のオプションを選択できます。[Service Enabled] (サービスが有効)、[Service Disabled] (サービスが無効) または [Service Unavailable] (サービスが利用不可)。
設定	PTT 通信で利用可能な 32 のすべてのトーク グループが一覧表示されます。
有効化/無効化スイッチ	PTT Express の [Settings] (設定) 画面を開きます。
通知アイコン	PTT Express Voice クライアントの現在の状態を示します。

通知アイコン

ステータス アイコン

表 11 PTT Express のデフォルト ユーザー インタフェースの説明

ステータス アイコン	名称
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループと通信を行っていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、ミュートになっていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループをリスンしていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、アイコンの隣にある番号によって示されるトーク グループと通信を行っていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、WLAN に接続されており、プライベート応答を行っていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効で、ミュートになっていることを示します。
	PTT Express Voice クライアントが有効であるが、VoIP テレフォニー コールが進行中であるために通信できないことを示します。

PTT 通信の有効化

- ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
- 有効化/無効化スイッチを [ON] (オン) の位置にスライドします。ボタンが [ON] (オン) ボタンに変わります。

トーク グループの選択

PTT Express ユーザーは、32 のトーク グループの 1 つを選択できます。ただし、デバイスで一度に有効にできるのは、1 つのトーク グループのみです。32 のトーク グループのいずれか 1 つをタッチします。選択したトーク グループが強調表示されます。

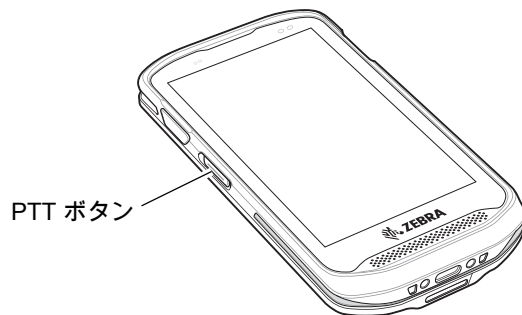
PTT 通信



注 このセクションでは、デフォルトの PTT Express クライアント設定について説明します。クライアントの使用に関する詳細については、『PTT Express V1.2 User Guide』を参照してください。

PTT 通信は、グループ通話として確立されます。PTT Express が有効になると、デバイスの左側の PTT ボタンが PTT 通信に割り当てられます。

図76 PTT ボタン



グループ通話の作成

1. PTT ボタンを押したままにすると、トーク トーンが再生されます。
ビジー トーンが再生される場合は、ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
2. トーク トーンが再生されたら、通話を開始します。



注 ボタンを 60 秒 (デフォルト) 以上押し続けると、通話が終了して、他のユーザーがグループ通話を開始できるようになります。通話が終わったら、ユーザーはボタンを放して他のユーザーが通話を開始できるようにする必要があります。

3. 通話が終わったら、ボタンを放します。

プライベート応答での応答

プライベート応答を開始できるのは、グループ通話が確立されてからです。最初のプライベート応答は、グループ通話の発信元に対して実行されます。

1. アクセス トーンが鳴るまで待ちます。
2. 10 秒以内に PTT ボタンを 2 回押して、トーク トーンを聞きます。
3. ビジー トーンが再生される場合は、ボタンを放して、次の動作までしばらく待ちます。PTT Express と WLAN が有効であることを確認します。
4. ビジー トーンが再生されたら、通話を開始します。
5. 通話が終わったら、ボタンを放します。

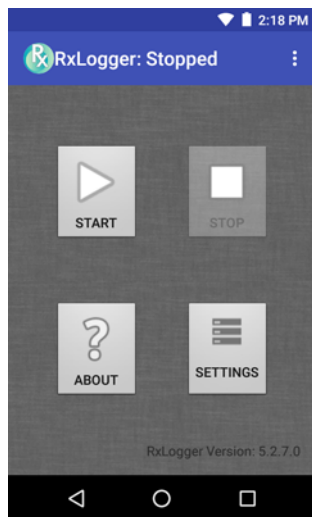
PTT Express Voice Client 通信の無効化

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. 有効化/無効化スイッチを [OFF] (オフ) の位置にスライドします。ボタンが [OFF] (オフ) に変わります。
3. ○をタッチします。

RxLogger[RxLogger]

RxLogger は総合的な診断ツールであり、アプリケーションとシステムの測定値を示します。このツールを使用してカスタム プラグインを作成し、シームレスに作業を進めることができます。RxLogger はデバイスやアプリケーションの問題の診断に使用されます。情報追跡には、CPU 負荷、メモリ負荷、メモリのスナップショット、バッテリー消費、電源の状態、無線ロギング、セルラ ロギング、TCP ダンプ、Bluetooth ロギング、GPS ロギング、LogCat、FTP プッシュ/プル、ANR ダンプなどが含まれます。作成されたログやファイルはすべて、デバイスのフラッシュ ストレージ (内部または外部) に保存されます。

図77 RxLogger[RxLogger]



ログの有効化

RxLogger を有効にするには、次の手順に従います。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. [START] (スタート) をタッチします。RxLogger は、データの収集を開始します。
3. ○をタッチします。

ログの無効化

RxLogger を無効にするには、次の手順に従います。

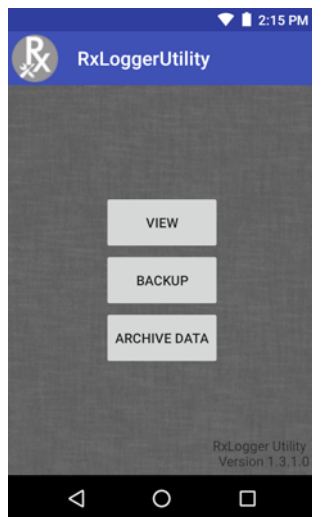
1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2. [STOP] (停止) をタッチします。RxLogger は、データの収集を停止します。
3. ○をタッチします。

RxLogger ユーティリティ

RxLogger ユーティリティは、RxLogger の実行時に TC25 のログを表示するデータ監視アプリケーションです。アプリ ビューまたはオーバーレイ ビューで、ログと RxLogger ユーティリティの機能にアクセスできます。

RxLogger ユーティリティでは、アプリ ビューでログを表示します。

図78 RxLogger ユーティリティのアプリ ビュー



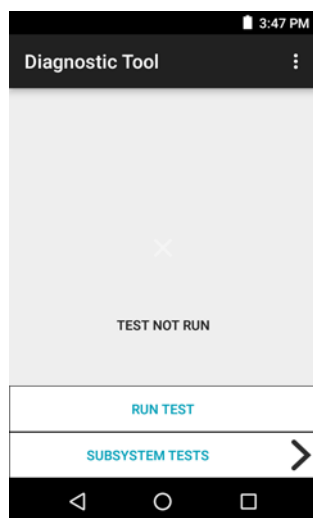
RxLogger ユーティリティの使い方については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide』を参照してください。

診断ツール

診断ツールは、TC25 の健全性を判断するユーティリティです。デバイスのトラブルシューティングと問題の特定には、診断ツールを使用します。

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図79 診断ツール



2. **[Run Test]** (テストの実行) をタッチします。このアプリは、すべての有効なサブシステムをテストします (デフォルトでは、バッテリー テストとシステム テストのみが有効になっています)。サブシステム テストの有効化については、[93ページの「設定」](#)を参照してください。

図80 テスト合格 (不具合がなかった場合) の画面

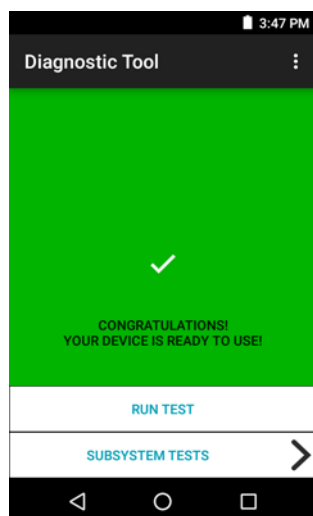
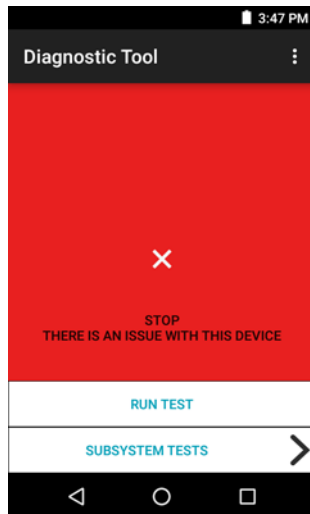


図81 テスト不合格 (不具合があった場合) の画面



3. サブシステム テストを個別に表示するには、[Subsystem Tests] (サブシステム テスト) をタッチします。

図82 [Subsystem] (サブシステム) 画面

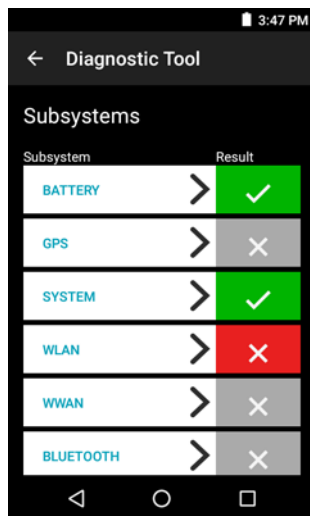
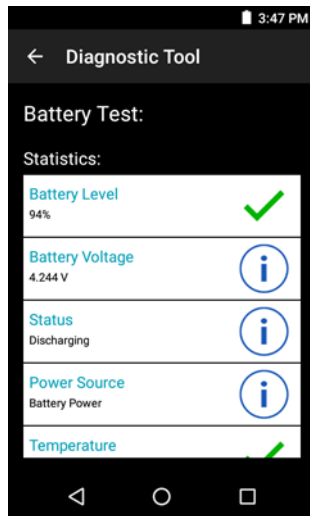


表 12 サブシステム テストの結果を表すアイコン

ステータス アイコン	名称
	テストで不具合が見つからなかったことを示します。
	テストで不具合が見つかったことを示します。
	テストがサポートされていないか、有効になっていないことを示します。

4. サブシステムのいずれかをタッチすると、詳細が表示されます。

図83 バッテリー サブシステムの詳細情報



設定

デフォルトでは、バッテリー テストとシステム テストのみが有効になっています。その他のテストを有効にするには、次の手順に従います。

1. > [Settings] (設定) をタッチします。
2. テスト名の左側をタッチします。チェックマークが付いた緑色のボックスが表示されます。
3. [SAVE] (保存) をタッチします。
4. [Yes] (はい) をタッチして確定します。
5. をタッチします。

バッテリー テストの情報

[Battery Test] (バッテリー テスト) では、次の情報が表示されます。

- [Battery Level] (バッテリー レベル) - 現在のバッテリー充電レベルを示します。
- [Battery Voltage] (バッテリー電圧) - 現在のバッテリー電圧を示します。
- [Status] (ステータス) - バッテリーが充電中 (AC 電源の使用時) であるか、放電中 (バッテリー電源の使用時) であるかを示します。
- [Power Source] (電源) - バッテリーと外部電源のどちらからデバイスに電力が供給されているかを示します。
- [Temperature] (温度) - 現在のバッテリー温度を示します。
- [Charge Cycles] (充電サイクル) - 現在、使用できません。
- [Backup Battery Voltage] (バックアップ バッテリー電圧) - バックアップ バッテリー電圧を示します。
- [Manufacture Date] (製造日) - バッテリーの製造日を表示します。

GPS テスト情報

GPS テストでは、次の情報が取得されます。

- [GPS Provider Enabled] (GPS プロバイダの有効化) - GPS が有効 (true) か無効 (false) かを示します。
- [Latitude] (緯度) - 現在位置の緯度を示します。
- [Longitude] (経度) - 現在位置の経度を示します。

- **[Altitude]** (標高) - 現在の標高をメートル単位で示します。
- **[Bearing]** (方位) - 現在の方位を示します。
- **[Speed]** (速度) - 速度を秒速 (m/秒) で示します。
- **[Accuracy]** (精度) - GPS の精度をメートル単位で示します。

システム テストの情報

システム テストでは、CPU またはメモリの負荷が高すぎるかどうか、デバイスで実行中のプロセスが多すぎるかどうか、デバイスのストレージが満杯に近いかどうかを判断します。システム テストでは、次の情報が取得されます。

- **[CPU Load]** (CPU 負荷) - 使用している CPU の量を示します。
- **[Free Physical Memory]** (空き物理メモリ) - 使用可能な RAM の量を示します。
- **[Free Storage]** (空きストレージ) - 使用可能な内部フラッシュ メモリの量を示します。
- **[Process Count]** (プロセス カウント) - 現在実行中のプロセスの数を示します。

WLAN テストの情報

WiFi 無線がない場合、または無効である場合、テストがスキップされる可能性があります。この情報に基づいて、デバイスの WLAN 設定が正しいかどうか、また、アクセス ポイント/ネットワークとの接続があるかどうかを判断します。WLAN テストでは、次の情報が取得されます。

- **[WLAN Enabled]** (WLAN 有効) - WLAN 無線が有効と無効のどちらであることを示します。
- **[WLAN Status]** (WLAN ステータス) - アクセス ポイントとの現在の接続ステータスを示します。
- **[ESSID]** - ワイヤレス ネットワークの名前を表示します。
- **[BSSID]** - 接続されているアクセス ポイントの MAC アドレスを表示します。
- **[MAC Address]** (MAC アドレス) - デバイスの MAC アドレスが表示されます。
- **[Signal]** (信号) - Wi-Fi 信号の強度 (単位は dBm) を示します。
- **[IP Address]** (IP アドレス) - デバイスの IP アドレスを表示します。

WWAN テストの情報

WWAN テストでは、次の情報が取得されます。

- **[SIM State]** (SIM の状態) - SIM カードの現在の状態を表示します。
- **[WAN Type]** (WAN タイプ) - データ接続タイプを表示します。
- **[Signal Strength]** (信号強度) - 現在のセルラ信号強度を表示します。
- **[Phone Number]** (電話番号) - デバイスに割り当てられた電話番号を表示します。
- **[Device ID]** (デバイス ID) - デバイス ID 番号を表示します。

Bluetooth テストの情報

Bluetooth テストでは、次の情報が取得されます。

- **[Enabled]** (有効) - Bluetooth 無線が有効と無効のどちらであることを示します。
- **[Status]** (ステータス) - デバイスが別の Bluetooth デバイスにペアリングされていることを示します。
- **[Connectable/Discoverable]** (接続可能/検出可能) - デバイスが検出可能であるか、接続可能であるかを示します。
- **[Address]** (アドレス) - Bluetooth 無線の MAC アドレスを表示します。
- **[Name]** (名前) - デバイスの Bluetooth 名を表示します。

データ収集

TC25 は以下を使用するデータ収集をサポートしています。

- 内蔵イメージャ
 - SE4710 スキャン エンジン
 - SE2100 スキャン エンジン
- RS507 ハンズフリー イメージャ
- RS6000 Bluetooth リング スキャナ



重要 デバイスに搭載された統合スキャン エンジンを確認するには、[Settings] (設定) > [About phone] (デバイス情報) > [Hardware components] (ハードウェア コンポーネント) > [Scanner] (スキャナ) の順に選択します。

イメージング

2D イメージャ搭載の TC25 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボル体系の無指向読み取り。
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能。
- (十字およびドット照準) 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能半導体レーザー照準機能。

イメージャは、イメージングの技術を使用してバーコードの画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からバーコード データを抽出します。

動作モード

イメージャ搭載の TC25 は、次の 2 つの動作モードをサポートしています。各モードは、スキャン ボタンを押して有効にします。

- **読み取りモード:** このモードでは TC25 は、読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャはこのモードのままになります。



注 ピック リスト モードを有効にするには、DataWedge で構成するか、または API コマンドを使用してアプリケーション内で設定します。

- **ピック リスト モード:** このモードでは、TC25 の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取れます。これを実施するには、十字線またはドットの照準を必要なバーコードの上に移動します。この機能は、複数のバーコードが含まれているピック リストや、複数のタイプ (1D または 2D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。



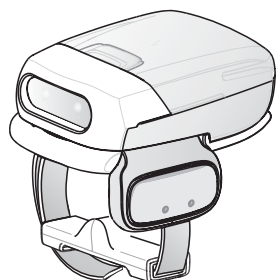
注 基本マルチバーコード モードを有効にするには、DataWedge で設定するか、API コマンドを使ってアプリケーション内で設定します。

- **基本マルチバーコード モード:** このモードでは TC25 は、読み取り幅内にある固有の バーコードの特定数を見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはすべてのバーコードを読み取るまで、TC25はこのモードのままになります。統合 SE2100 または SE4710 イメージャでのみ使用可能です。
 - TC25 は、プログラムされた数の固有のバーコードをスキャンしようとします (2 から 10 まで)。
 - 重複バーコード (同じシンボル体系のタイプとデータ) がある場合、重複バーコードの1つだけが読み取られ、残りは無視されます。ラベルに 2 つの重複バーコードと別の 2 つの異なるバーコードがある場合、そのラベルから最大 3 つのバーコードが読み取られます。1 つは重複として無視されます。
 - バーコードは複数のシンボル体系のタイプで、一緒に取得できます。たとえば、基本マルチバーコード スキャンの指定数量が 4 の場合、2 つのバーコードはシンボル体系のタイプ Code 128 になり、他の 2 つはシンボル体系のタイプ Code 39 になります。
 - 固有のバーコードの指定数が TC25 の最初に表示されていない場合、TC25 は、デバイスを近づけて追加のバーコードを収集するか、またはタイムアウトが発生するまで、データを読み取りません。TC25 の読み取り幅内に、指定された数量よりも多くのバーコードが含まれている場合、固有のバーコードの指定数に達するまで TC25 はバーコードをランダムに読み取ります。たとえば、数が 2 に設定されていて、8 つのバーコードが表示されている場合、TC25 は最初に見た 2 つの固有のバーコードを読み取り、データをランダムな順番で返します。
- 基本マルチバーコード モードでは、連結バーコードはサポートされていません。

RS507 ハンズフリー イメージャ

RS507 ハンズフリー イメージャは、一次元と二次元のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。

図84 RS507 ハンズフリー イメージャ

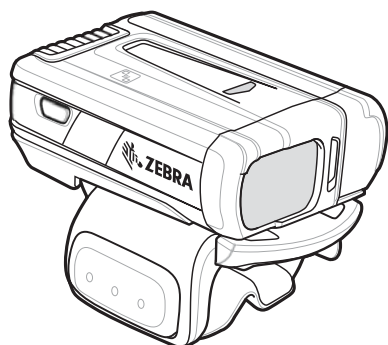


詳細については、『RS507 Hands-free Imager Product Reference Guide』を参照してください。

RS6000 Bluetooth リング スキャナ

RS6000 Bluetooth リング スキャナは、一次元と二次元のバーコード シンボル体系のウェアラブル バーコード スキャン ソリューションです。

図85 RS6000 Bluetooth リング スキャナ



詳細については、『RS6000 Bluetooth Ring Scanner Product Reference Guide』を参照してください。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- **範囲:** スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。
- **角度:** スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザー光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためにスキャナは散乱した反射光線を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。
- 大きなシンボルの場合は、TC25 を離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、TC25 を近づけてください。



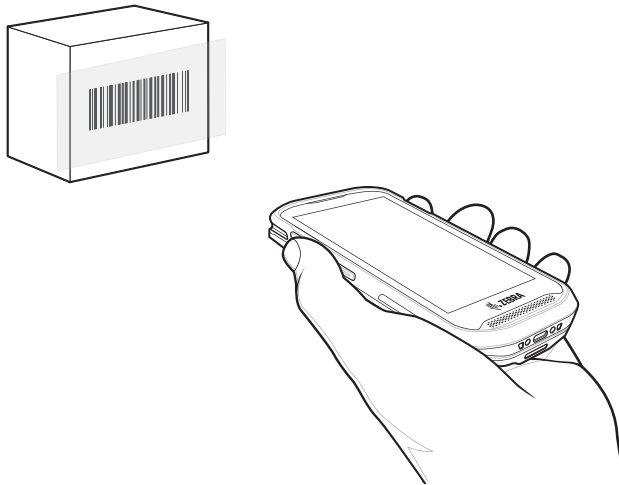
注 スキャン手順は、アプリケーションと TC25 の構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

内部 SE2100 イメージャを使用したバーコードのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC25 には、ユーザーがイメージャでバーコード データを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションがあります。

1. アプリケーションが TC25 で開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. TC25 の上部にある出力ウィンドウをバーコードに向けます。

図86 SE2100 イメージャでのスキャン



3. スキャン ボタンを押し続けます。
照準を合わせるための白い照準パターンがオンになります。
4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。

図87 SE2100 の照準パターン



5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャン ボタンを放します。



注 イメージャの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、TC25 がデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

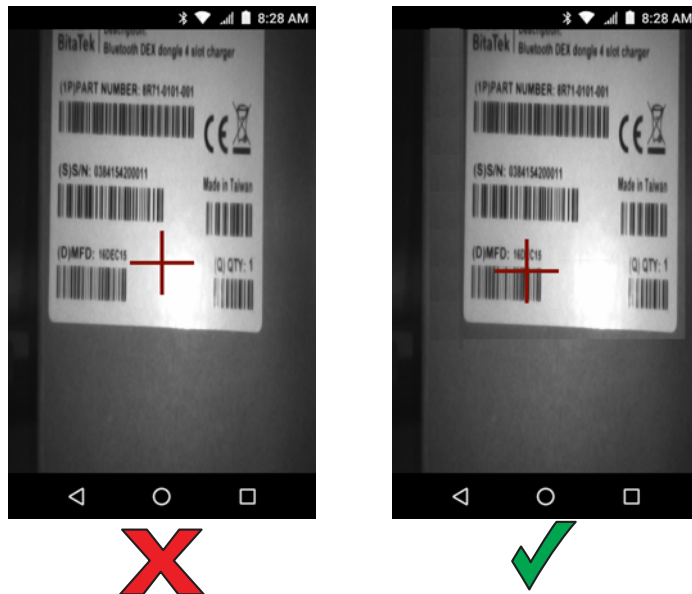
7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

SE2100 ピックリスト モード

ピックリスト モードを有効にすると、バーコードと赤い十字線の画像が画面に表示されます。ピックリスト モードの設定の詳細については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

TC25 がピックリスト モードの場合、十字線がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

図88 SE2100 ピックリスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



SE2100 基本マルチバーコード モード

複数バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC25 には、ユーザーがイメージでバーコード データを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションがあります。

1. アプリケーションが TC25 で開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. TC25 の上部にあるスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。
3. スキャン ボタンを押したままにします。
照準を合わせるための白い照準パターンがオンになります。
4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。

図89 複数のバーコードがある SE2100 照準パターン



5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。すべてのバーコードから収集されたデータは、単一文字列として送られます。
6. スキャン ボタンを放します。



注 イメージの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、TC25 がデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

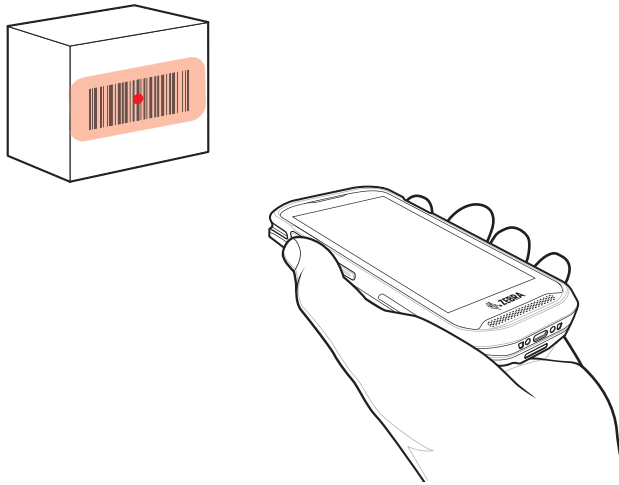
7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

内部 SE4710 イメージャを使用したバーコードのスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC25 には、ユーザーがイメージャでバーコード データを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションがあります。

1. アプリケーションが TC25 で開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. TC25 の上部にある出力ウィンドウをバーコードに向けます。

図90 SE4710 イメージャでのスキャン



3. スキャン ボタンを押し続けます。
照準を合わせるための赤色の LED 照準パターンがオンになります。



TC25 がピックリスト モードの場合、ドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明条件で見やすくするようにドットの照準が使用されます。

図91 SE4710 の照準パターン

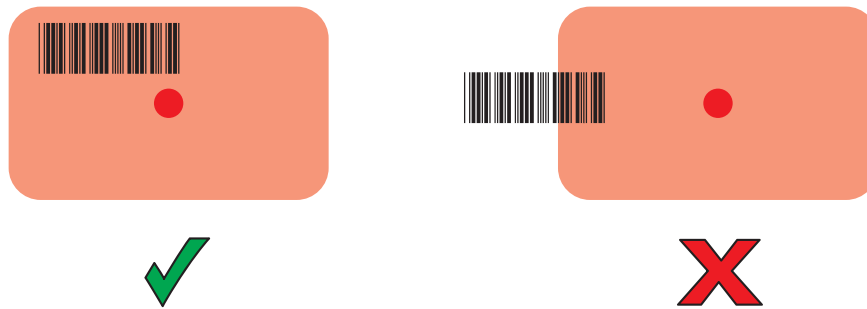
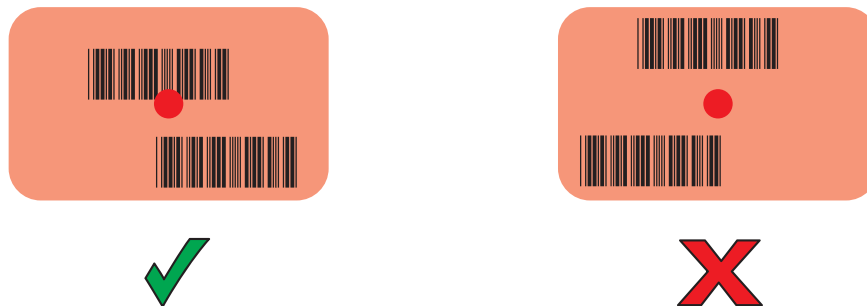


図92 SE4710 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャン ボタンを放します。



注 イメージャの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、TC25 がデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

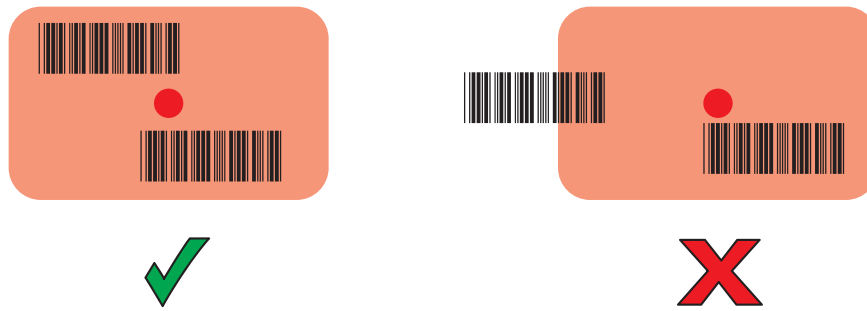
7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

SE4710 基本マルチバーコード モード

複数バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC25 には、ユーザーがイメージャでバーコード データを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、DataWedge アプリケーションがあります。

1. アプリケーションが TC25 で開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキストカーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. TC25 の上部にあるスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。
3. スキャン ボタンを押したままにします。
照準を合わせるための赤色の LED 照準パターンがオンになります。
4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。

図93 複数のバーコードがある SE4710 照準パターン



5. デフォルト設定の場合、データ収集 LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。すべてのバーコードから収集されたデータは、単一文字列として送られます。
6. スキャン ボタンを放します。



注 イメージャの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、TC25 がデジタル写真 (画像) を撮影する手順を繰り返します。

7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

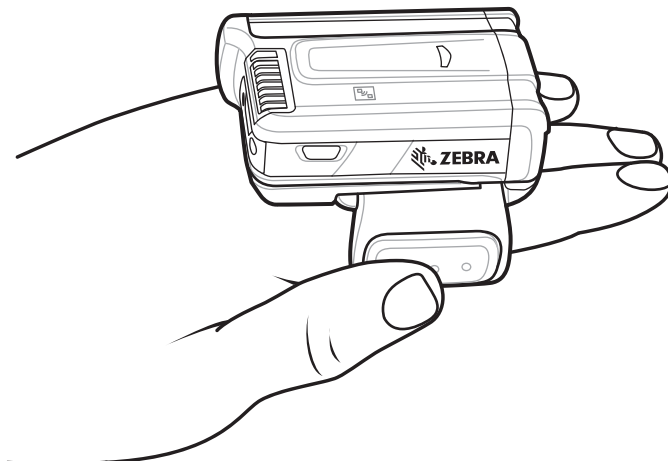
RS6000 Bluetooth リング スキャナを使用したバーコード データの収集

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。TC25 には、ユーザーがスキャナでバーコード データを読み取ったり、バーコード コンテンツを表示したりできる、**DataWedge** アプリケーションがあります。DataWedge の起動方法の詳細については、[84ページの「DataWedge のデモンストレーション」](#)を参照してください。

RS6000 を TC25 とペアリングします。詳細については、[105ページの「Simple Serial Interface を使用してペアリングする」](#)または[105ページの「Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする」](#)を参照してください。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. RS6000 をバーコードに向けます。

図94 RS6000 を使用したバーコードのスキャン



3. 照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。

照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明条件で見やすくするようにドットの照準が使用されます。

RS6000 LED が緑色に点灯してビープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。RS6000 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS6000 はバーコードを読み取りません。

図95 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

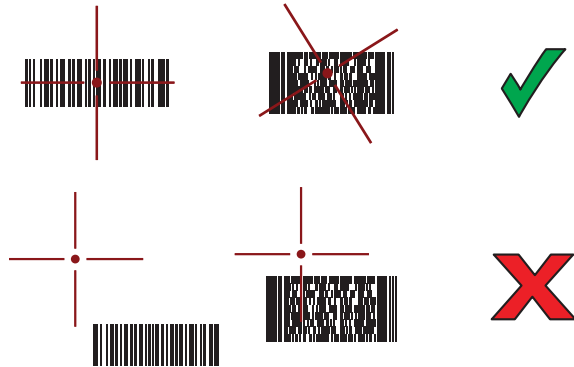


図96 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



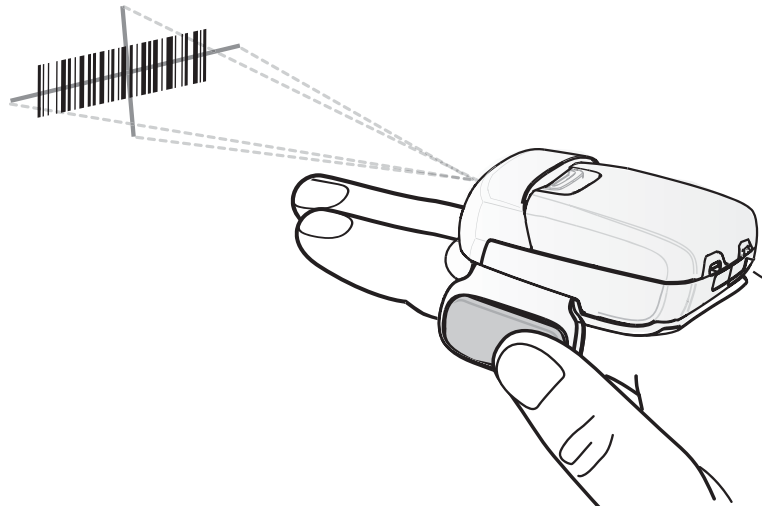
4. 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

RS507 ハンズフリー イメージャによるバーコードの読み取り

RS507 を TC25 とペアリングします。詳細については、105ページの「Bluetooth イメージャのペアリング」を参照してください。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. RS507 をバーコードに向けます。

図97 RS507 を使用したバーコードのスキャン



3. 照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。

照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明条件で見やすくするようにドットの照準が使用されます。

RS507 LED が緑色に点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。RS507 がピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまで RS507 はバーコードを読み取りません。

図98 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合

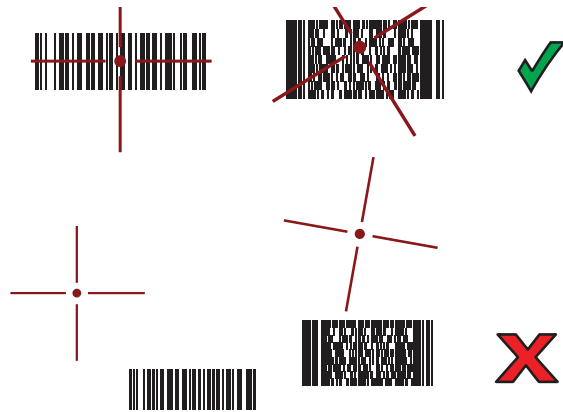


図99 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合



4. 収集されたデータがテキスト フィールドに表示されます。

Bluetooth イメージャのペアリング

以下のいずれかの方法により、RS507/RS6000 イメージャを TC25 に接続します。

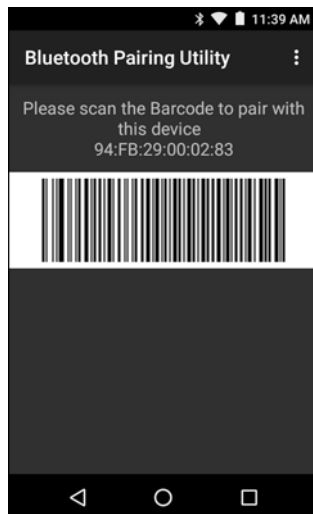
- Simple Serial Interface (SSI)
- Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイス (HID) モード

Simple Serial Interface を使用してペアリングする

SSI を使用して RS507/RS6000 を TC25 とペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
2. RS507/RS6000 にバッテリーを取り付けます。
3. TC25 のホーム画面で、画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。

図100 [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)



4. RS507/RS6000 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。
RS507/RS6000 で、高いビーブ音と低いビーブ音が交互に鳴ります。スキャン LED が緑色に点滅し、RS507/RS6000 が TC25 との接続を確立しようとしていることを示します。接続が確立されると、スキャン LED が消灯し、RS507/RS6000 で、低いビーブ音と高いビーブ音が続けて鳴ります。
5. TC25 で、 をタッチします。

Bluetooth ヒューマン インタフェース デバイスを使用してペアリングする

HID を使用して RS507/RS6000 を TC25 とペアリングするには、以下の手順を実行します。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. RS507/RS6000 をヒューマン インタフェース デバイス (HID) モードに設定します。RS507/RS6000 がすでに HID モードである場合は、手順 5 に進みます。
 - a. バッテリーを RS507/RS6000 から取り出します。
 - b. 復元キーを押し続けます。

- c. バッテリーを RS507/RS6000 に取り付けます。
- d. チャージ音が鳴り、スキャン LED が緑色に点滅するまで、復元キーを約 5 秒間押し続けます。
- e. 以下のバーコードをスキャンして、RS507/RS6000 を HID モードに設定します。

図101 Bluetooth HID バーコード



5. バッテリーを RS507/RS6000 から取り出します。
6. バッテリーを RS507/RS6000 に再度取り付けます。
7. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
8.  [Bluetooth] をタッチします。
9. [SCAN FOR DEVICES] (デバイスのスキャン) をタッチします。エリア内で検出できる Bluetooth デバイスの検索が開始され、[AVAILABLE DEVICES] (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
10. リストをスクロールし、RS507/RS6000 を選択します。

デバイスは RS507/RS6000 に接続し、デバイス名の下に [Connected] (接続済み) と表示されます。Bluetooth デバイスが [Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

DataWedge

DataWedge は、コードを作成せずに、アプリケーションに高度なバーコード スキャン機能を追加するユーティリティです。これはバックグラウンドで実行され、組み込み型のバーコード スキャナへのインタフェースを処理します。収集されたバーコード データはキーストロークに変換され、キーパッドで入力したかのように、目的のアプリケーションに送信されます。

DataWedge の設定を行うには、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 6.0.1』を参照してください。

DataWedge の有効化

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2.  をタッチします。
3. [Settings] (設定) をタッチします。
4. [DataWedge enabled] (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。青色のチェックマークがチェックボックスに表示されます。これは、DataWedge が有効になったことを示します。
5.  をタッチします。

DataWedge の無効化

1. ホーム画面の一番下から上にスワイプし、 をタッチします。
2.  をタッチします。
3. [Settings] (設定) をタッチします。
4. [DataWedge enabled] (DataWedge の有効化) チェックボックスをタッチします。チェックボックスから青色のチェックマークが消えます。これは、DataWedge が無効になったことを示します。
5.  をタッチします。

無線

このセクションでは、次の無線機能について説明します。

- 無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN)
- 無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN)
- Bluetooth

無線ワイド エリア ネットワーク



注 インドネシアの構成では、LTE をサポートしていません。

携帯電話ネットワーク経由でデータにアクセスするには、無線ワイド エリア ネットワーク (WWAN) を使用します。このセクションでは、次について説明します。

- データ接続の共有
- 携帯電話ネットワーク設定の変更
- SIM カードのロック
- データ使用量の監視

モバイル データ接続の共有

[Tethering & portable hotspot] (テザリングとポータブル ホットスポット) 設定を使用すると、データ接続を共有できます。TC25 のモバイル データ接続を USB のテザリングまたは Bluetooth のテザリング経由で 1 台のコンピュータと共有できます。ポータブル Wi-Fi ホットスポットにすることにより、最大 8 台のデバイスと同時にデータ接続を共有できます。TC25 がデータ接続を共有している間、画面の上部にアイコンが表示され、通知リストに関連メッセージが表示されます。

USB テザリング



注 USB テザリングは、Mac OS を実行するコンピュータではサポートされていません。使用中のコンピュータで Windows 7 または最近のバージョンの Linux (Ubuntu など) を実行している場合は、特別な準備は必要なく、次の手順に従ってください。Windows 7 より前のバージョンの Windows や、他のオペレーティングシステムを使用している場合は、USB 経由でネットワーク接続を確立できるようにコンピュータを準備する必要があります。

1. USB ケーブルを使用し、TC25 をホスト コンピュータに接続します。
画面上部に Android N アイコンが表示され、さらに画面上部に通知 **[USB charging this device]** (このデバイスを充電中の USB) が表示されます。
2. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
3. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
4. **[Tethering & portable hotspot]** (テザリングとポータブル ホットスポット) をタッチします。
5. **[USB tethering]** (USB テザリング) スイッチをタッチして有効にします。

これで、ホスト コンピュータは TC25 のデータ接続を共有するようになりました。

データ接続の共有を停止するには、**[USB tethering]** (USB テザリング) スイッチをもう一度タッチするか、USB ケーブルを取り外します。

Bluetooth テザリング

Bluetooth テザリングを使用して、ホスト コンピュータとデータ接続を共有します。

Bluetooth を使用してネットワーク接続を取得するようにホスト コンピュータを設定します。詳細については、ホスト コンピュータのマニュアルを参照してください。

1. TC25 をホスト コンピュータとペアリングします。
2. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
3. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
4. **[Tethering & portable hotspot]** (テザリングとポータブル ホットスポット) をタッチします。
5. **[Bluetooth tethering]** (Bluetooth テザリング) スイッチをタッチして有効にします。

これで、ホスト コンピュータは TC25 のデータ接続を共有するようになりました。

データ接続の共有を停止するには、**[Bluetooth tethering]** (Bluetooth テザリング) スイッチをもう一度タッチします。

ポータブル Wi-Fi ホットスポット

Wi-Fi ホットスポットを設定します。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
3. **[Tethering & portable hotspot]** (テザリングとポータブル ホットスポット) をタッチします。
4. **[Portable Wi-Fi hotspot]** (ポータブル Wi-Fi ホットスポット) スイッチをタッチして有効にします。

しばらくすると、TC25 が Wi-Fi ネットワーク名 (SSID) のブロードキャストを開始し、最大 8 台のコンピュータまたはその他のデバイスに接続できます。**[Hotspot]** (ホットスポット) () アイコンがステータス バーに表示されます。

データ接続の共有を停止するには、**[Portable Wi-Fi hotspot]** (ポータブル Wi-Fi ホットスポット) スイッチをもう一度タッチします。

Wi-Fi ホットスポットの設定

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
3. **[Tethering & portable hotspot]** (テザリングとポータブル ホットスポット) をタッチします。
4. **[Set up Wi-Fi hotspot]** (Wi-Fi ホットスポットの設定) をタッチします。

図102 Wi-Fi ホットスポットの設定ダイアログ ボックス



Wi-Fiアクセスポイントをセットアップ

ネットワーク名
AndroidAP

Channel
Channel 1

セキュリティ
WPA2 PSK

パスワード

パスワードを8文字以上入力してください

キャンセル 保存

5. **[Network name] (ネットワーク名)** テキスト フィールドで、ホットスポットの名前を編集します。
6. **[Channel] (チャネル)** オプションをタッチして、ドロップダウン リストからチャネル番号を選択します。
7. **[Security] (セキュリティ)** オプションをタッチして、ドロップダウン リストからセキュリティの方法を選択します。
 - **None**
 - **[WPA2 PSK] (WPA2 PSK)**
8. **[Password] (パスワード)** テキスト フィールドに、パスワードを入力します。



注 **[Security] (セキュリティ)** オプションで **[None] (なし)** を選択した場合、パスワードは要求されません。

9. **[Save] (保存)** をタッチします。

携帯電話ネットワークの設定

ローミング中のデータの無効化

キャリアのネットワークがカバーするエリアを離れたとき、デバイスが他のキャリアのモバイル ネットワーク経由でデータを転送しないようにするには、次の手順に従います。サービス プランにデータ ローミングが含まれていない場合に経費を制御するのに役立ちます。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[More ...] (詳細)** をタッチします。
3. **[Cellular networks] (携帯電話ネットワーク)** をタッチします。
4. **[Data roaming] (データ ローミング)** スイッチをオンの位置にスライドさせます。 **[Allow data roaming?] (データ ローミングを許可)** ダイアログ ボックスが表示されます。
5. **[OK]** をタッチします。

強化された 4G LTE モード



注 インドネシアの構成では、LTE をサポートしていません。

音声通信または他の通信の性能を向上させるには、LTE サービスを使用します。(デフォルト - 有効)。

マイクロセルの検索

マイクロセルは、建物や住宅内で小さな携帯電話基地局のように動作し、既存のブロードバンド インターネット サービスに接続します。マイクロセルを使用すると、音声通話、テキスト、携帯電話のデータアプリケーション (画像メッセージ、Web サーフィンなど) 使用時の携帯電話信号のパフォーマンスが向上します。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
3. **[Cellular Networks]** (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
4. **[Search for MicroCell]** (マイクロセルの検索) をタッチします。

アクセス ポイント名の編集



注 多数のサービス プロバイダのアクセス ポイント名 (APN) データが事前にデバイスで設定されています。その他すべてのサービス プロバイダの APN 情報は、ワイヤレス サービス プロバイダから取得する必要があります。

ネットワークでデータを使用するには、APN 情報を設定する必要があります。

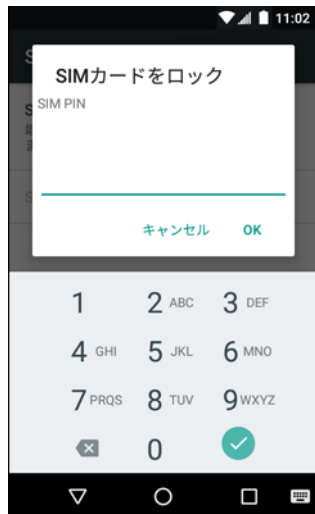
1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[More ...]** (詳細) をタッチします。
3. **[Cellular networks]** (携帯電話ネットワーク) をタッチします。
4. **[Access Point Names]** (アクセス ポイント名) をタッチします。
5. リストの APN 名をタッチして既存の APN を編集するか、 をタッチして新しい APN を作成します。
6. 各 APN 設定をタッチして、ワイヤレス サービス プロバイダから取得した適切な情報を入力します。
7. 完了したら、 をタッチします。
8. **[Save]** (保存) をタッチします。
9. APN 名の横にあるラジオ ボタンをタッチすると、その名前の使用を開始することができます。
10.  をタッチします。

SIM カードのロック

SIM カードをロックすると、デバイスの電源をオンにするたびに PIN の入力が必要になります。正しい PIN が入力されない場合は、かけられるのは緊急電話のみになります。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[Security]** (セキュリティ) () をタッチします。
3. **[Set up SIM/RUIM card lock]** (SIM/RUIM カードのロックの設定) をタッチします。
4. **[Lock SIM card]** (SIM カードのロック) をタッチします。

図103 SIM カードをロックする PIN の入力



5. カードと関連付けられている PIN (4 ~ 8 桁) を入力します。[OK] をタッチします。
6. デバイスをリセットします。

データ使用量

データ使用量とは、所定の期間内に TC25 によってアップロードまたはダウンロードされたデータの量を指します。無線通信のプランに応じて、データ使用量がプランの制限を超えると、追加料金が請求される場合があります。データ使用量を監視するには、ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。



注意 データ使用量設定画面に表示される使用量は、ご使用のデバイスにより測定されたものです。ご使用のキャリアのデータ使用量のアカウントリングは異なる場合があります。使用量がキャリアのプランのデータ制限を超えた場合、大幅に料金が超過する可能性があります。ここで説明する機能は、使用量の追跡には役立ちますが、追加料金が発生しないことを保証するものではありません。

データ使用量設定では、以下のことが可能です。

- データ使用量のレベルを設定する。
- データ使用量の制限を設定する。
- アプリごとにデータ使用量を表示または制限する。

デフォルトでは、データ使用量の設定画面にはモバイル データ用の設定が表示されます。

図104 データ使用量画面



データ使用量の警告の設定

デバイスが一定量のモバイル データを使用したときの警告を設定するには、次の手順を実行します。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[Data usage]** (データ使用量) をタッチします。
3. **[Cellular data usage]** (携帯電話のデータ使用量) >  > **[Data warning]** (データの警告) をタッチします。
4. 数値を入力します。メガバイト (MB) とギガバイト (GB) を切り替えるには、下矢印をタッチします。
5. **[Set]** (設定) をタッチします。

使用量が設定レベルに達した場合は、通知が表示されます。

データ制限の設定

データ使用量の制限を設定するには、次の手順を実行します。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[Data usage]** (データ使用量) をタッチします。
3. **[Cellular data usage]** (携帯電話のデータ使用量) >  > **[Set data limit]** (データ制限の設定) をタッチします。
4. **[OK]** をタッチします。
5. **[Data limit]** (データ制限) をタッチします。
6. 数値を入力します。メガバイト (MB) とギガバイト (GB) を切り替えるには、下矢印をタッチします。
7. **[Set]** (設定) をタッチします。

制限に達すると、データは自動的にオフになり通知が表示されます。

無線ローカル エリア ネットワーク

無線ローカル エリア ネットワーク (WLAN) を使用すると、TC25 で屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で TC25 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれる) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと TC25 を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

選択した WLAN セキュリティ方式を適用するようにインフラストラクチャを設定したら、**[Wireless & networks]** (無線とネットワーク) 設定を使用して、そのセキュリティ方式に適合するように TC25 を設定してください。

TC25 は、次の WLAN セキュリティ オプションをサポートします。

- Open
- Wireless Equivalent Privacy (WEP)
- Wi-Fi Protected Access (WPA)/WPA2 Personal (PSK)
- Extensible Authentication Protocol (EAP)

ステータス バーには、Wi-Fi ネットワークが利用できるかどうかを示すアイコンと、Wi-Fi の状態を示すアイコンが表示されます。詳細については、「ステータス バー」を参照してください。



注 Wi-Fi を使用しないときはオフにすると、バッテリーの消耗を避けられます。

Wi-Fi ネットワークのスキャンと接続

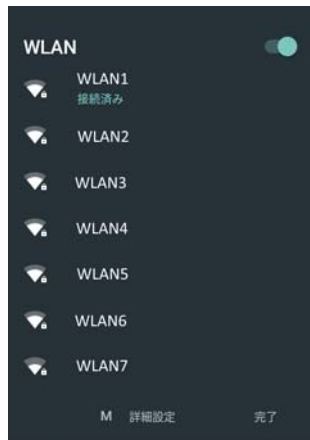
1. ステータス バーから下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。

図105 クイック アクセス パネル



2. **[WLAN]** にタッチして、**[WLAN]** 画面を開きます。TC25 はエリア内の WLAN を検索して一覧表示します。

図106 WLAN 画面



3. リストをスクロールし、使用する WLAN ネットワークを選択します。
4. オープン ネットワークの場合は、プロファイルを一度タッチするか、または押し続けてから **[Connect to network]** (ネットワークに接続) を選択します。また、セキュア ネットワークの場合は、要求されるパスワードまたはその他の資格情報を入力してから、**[Connect]** (接続) をタッチします。詳細については、システム管理者に問い合わせてください。

TC25 は、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) プロトコルを使用してネットワークからネットワーク アドレスなどの必要な情報を取得します。固定インターネット プロトコル (IP) アドレスを使用するように TC25 を設定する方法については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1』を参照してください。

5. Wi-Fi の設定フィールドに、**[Connected]** (接続済み) が表示され、TC25 が WLAN に接続されていることが示されます。

Wi-Fi ネットワークの削除

認識または接続されているネットワークを削除するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  **[Wi-Fi]** をタッチします。
3. **[Wi-Fi]** リストで、ネットワークの名前をタッチし、その状態を維持します。
4. メニューで、**[Forget network]** (ネットワークの削除) をタッチします。
5.  をタッチします。

Bluetooth

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS) 無線周波数 (RF) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 機能を搭載したデバイスは、プリンタ、アクセス ポイント、その他のモバイル デバイスといった Bluetooth 対応デバイスと、情報 (ファイル、予定、タスクなど) を交換することができます。

TC25 では、Bluetooth Low Energy がサポートされています。Bluetooth Low Energy は、ヘルスケア、フィットネス、セキュリティおよびホーム エンタテインメント業界のアプリケーションを対象としています。Bluetooth の標準の範囲を確保しつつ、電力消費とコストの削減を可能にします。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続の確立や検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップシーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、エンタープライズ デバイスはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

デバイスの Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想伝送距離は 10m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖されたオフィス空間) によって左右されるため、パワー クラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。



注 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化キーを作成することで行われます。ペアリングしようとするデバイスの共通個人識別番号 (PIN) を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビット キーの作成に使用した PIN またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用できます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の 1 つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。および PIN コードをデバイスに保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Bluetooth プロファイル

デバイスでは、次の Bluetooth サービスがサポートされます。

- シリアル ポート プロファイル (SPP) - 2 台の Bluetooth ピア デバイス間のシリアル ケーブル接続をエミュレートする、RFCOMM プロトコルを使用できるようにします。たとえば、デバイスをプリンタに接続します。
- オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP) - デバイスとプッシュ サーバーの間で、オブジェクトのプッシュとプルを可能にします。
- 高品質オーディオ配信プロファイル (A2DP) - デバイスがステレオ品質のオーディオ ストリームを無線ヘッドセットまたは無線ステレオ スピーカに配信できるようにします。
- Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP) - デバイスでユーザーがアクセスできる A/V 機器を制御できるようにします。A2DP とあわせて使用する場合があります。
- パーソナル エリア ネットワーク (PAN) - Bluetooth リンク経由でレイヤ 3 ネットワーク機能を実現する、Bluetooth ネットワーク カプセル化プロトコルを使用できるようにします。PANU ロールのみがサポートされます。
- ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル (HID) - Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーム デバイス、およびリモート監視デバイスをデバイスに接続します。
- ヘッドセット プロファイル (HSP) - Bluetooth ヘッドセットのようなハンズフリー デバイスを使用して、デバイスで発信と着信を行えるようにします。
- ハンズフリー プロファイル (HFP) - カー ハンズフリー キットと車内のデバイスの間の通信を可能にします。
- Phone Book Access Profile (PBAP) - 車載キットとモバイル デバイスの間で Phone Book オブジェクトを交換できるようにし、その結果、車載キットで、着信通話の発信者の名前を表示し、Phone Book をダウンロードしてユーザーが車載ディスプレイから通話を開始できるようにします。
- Symbol Serial Interface (SSI) - Bluetooth イメージャとの通信を可能にします。
- ファイル転送プロファイル (FTP) - 別のシステムのファイル システムでも、ファイルの閲覧、操作、転送を実行できるようにします。GOEP を基盤として使用します。
- 一般属性プロファイル (GATT) - Bluetooth Low Energy プロトコル用にプロファイルの検出と説明のサービスを提供します。サービスを形成するセットに属性をグループ化する方法を定義します。
- HID Over GATT プロファイル (HOGP) - GATT を使用する Bluetooth 省電力 HID デバイス、および GATT を使用する Bluetooth HID ホストを対象として、その手順と機能を定義します。
- スキャン パラメータ プロファイル (ScPP) - 電力消費および/または再接続待ち時間の最適化のために、接続アイドル タイムアウト パラメータとアダプタイズ パラメータの管理に役立つ情報をデバイスに提供します。
- SIM アクセス プロファイル (SAP) - GSM トランシーバ搭載の車載電話などのデバイスが、Bluetooth が有効なデバイス内の SIM カードに接続できるようにします。
- メッセージ アクセス プロファイル (MAP) - メッセージ オブジェクトを交換するデバイスによって使用される機能と手順を定義します。

Bluetooth の電源の状態

Bluetooth 無線はデフォルトではオフになっています。

- [Suspend] (サスペンド) - TC25 がサスペンド モードに移行すると、Bluetooth 無線はオンのままとなります。
- [Airplane Mode] (機内モード) - TC25 を [Airplane Mode] (機内モード) に設定すると、Bluetooth 無線がオフになります。機内モードが無効になっている場合、Bluetooth 無線は前の状態に戻ります。機内モードのとき、必要に応じて Bluetooth 無線を元の状態に戻すことができます。

Bluetooth 無線の電源

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域 (航空機内など) に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスはデバイスを検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。



注 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. ✖️ をタッチして、Bluetooth をオンにします。
3. [Done] (完了) をタッチします。
4. ○ をタッチします。

Bluetooth の無効化

1. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
2. ✖️ をタッチします。
3. スライド スイッチをタッチして、Bluetooth をオフにします。
4. ○ をタッチします。

Bluetooth デバイスを検出する

TC25 は、検出されたデバイスとペアリングされていなくても、そのデバイスから情報を受信できます。ただし、ペアリングしておく、Bluetooth 無線をオンにした時点で、TC25 とペアリングされたデバイスは自動的に情報を交換します。通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. ステータス バーから 2 本の指で下にスワイプして、クイック アクセス パネルを開きます。
5. [Bluetooth] をタッチします。
6. [More Settings] (その他の設定) をタッチします。[Bluetooth] 画面が表示されます。
7. エリア内で検出できる Bluetooth デバイスの検索が開始され、[Available Devices] (使用可能なデバイス) にデバイスのリストが表示されます。
8. リストをスクロールし、デバイスを選択します。[Bluetooth pairing request] (Bluetooth ペアリングの依頼) ダイアログ ボックスが表示されます。
9. テキスト ボックスに PIN を入力し、[OK] をタッチします。他のデバイスで同じ PIN を入力します。
10. シンプル ペアリングの場合は、両方のデバイスで [Pair] (ペア) をタッチします。
11. Bluetooth デバイスが [Bluetooth devices] (Bluetooth デバイス) リストに追加され、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

Bluetooth の名前の変更

TC25 ではデフォルトで汎用の Bluetooth 名が使用され、他のデバイスに接続されるとそのデバイスに表示されます。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Bluetooth] をタッチします。
3. Bluetooth がオンになっていない場合は、スイッチをタッチし Bluetooth をオンにします。
4.  をタッチします。
5. [Rename this device] (このデバイスの名前変更) をタッチします。
6. 名前を入力して、[Rename] (名前変更) をタッチします。
7.  をタッチします。

Bluetooth デバイスへの接続

ペアリングが完了したら、Bluetooth デバイスに接続します。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. [Bluetooth] をタッチします。
3. リストで、未接続の Bluetooth デバイスにタッチします。
4. 接続すると、デバイス名の下に [Connected] (接続済み) と表示されます。

Bluetooth デバイスでのプロファイルの選択

一部の Bluetooth デバイスには複数のプロファイルが含まれています。プロファイルを選択するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Bluetooth] をタッチします。
3. [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
4. [PROFILES] (プロファイル) の下で、プロファイルをオンまたはオフにして、デバイスがプロファイルを使用できるようにします。
5.  をタッチします。

Bluetooth デバイスのペアリング解除

Bluetooth デバイスのペアリングを解除してすべてのペアリング情報を消去するには、次の手順に従います。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2.  [Bluetooth] をタッチします。
3. [PAIRED DEVICES] (ペアリング済みデバイス) リストで、デバイス名の隣にある  をタッチします。
4. [Forget] (消去) をタッチします。
5.  をタッチします。

アクセサリ

この章では、デバイスのアクセサリの使用方法について説明します。

アクセサリ

次の表に、TC25 で使用できるアクセサリを示します。

表 13 TC25 のアクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
1 スロット ベース充電専用 クレードル	CRD-TC2X-BS1CO-01	デバイスと Extended Power Pack を充電します。電源 (PWR-WUA5V12W0xx) と USB-C ケーブルが必要です。
1 スロット イーサネット クレードル	CRD-TC2X-SE1ET-01	デバイスの充電と通信、および Extended Power Pack の充電を行います。電源 (PWR-BGA12V50W0WW)、DC ライン コード (CBL-DC-388A1-01)、および国別の AC ライン コードが必要です。
5 スロット 充電専用 クレードル	CRD-TC2X-SE5CO-01	最大 5 台のデバイスを充電します。電源 (PWR-BGA12V108W0WW)、DC ライン コード (CBL-DC-382A1-01)、および国別の AC ライン コードが必要です。
クレードル マウント	BRKT-SCRD-SMRK-01	5 スロット 充電専用クレードルを壁またはラックに取り付けます。
バッテリーと充電器		
Extended Power Pack	BTRY-TC2X-PRPK1-01	追加的に電力を供給し、シフト時間を延長するために TC25 の内蔵バッテリーを充電します。
車載用ソリューション		
シガレット ライト アダプタ車用充電ケーブル	CHG-AUTO-USB1-01	シガレット ライト ソケットからデバイスに電力を供給します。

表 13 TC25 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
その他		
トリガ ハンドル	TRG-TC2X-SNP1-01	使いやすく生産性の高いスキャン操作を可能にするスキャナトリガを備えたガン タイプのハンドルを取り付けます。
スクリーン保護シート	KT-TC20-SCRNP1-01	画面保護を強化します。
SmartDEX ソリューション	DX30	TC25 に無線 DEX 通信機能を提供します。
イーサネット ブラケット	BRKT-TC51-ENET1-01	USB/イーサネット アダプタを 1 スロット イーサネット クレードルに接続するために使用します。
USB/イーサネット モジュール	MOD-MT2-EU1-01	イーサネット接続を提供するには、1 スロット イーサネット クレードルで使用してください。
クレードル結合アダプタ	KIT-TC2X-BS1FT-05	オプションの結合アダプタを使用すると、2 台以上のクレードルを結合できます。その場合、それぞれのクレードルに電源アダプタが必要です (5 パック)。
携帯用ソリューション		
TC2X ソフト ホルスタ	SG-TC2X-HLSTR1-01	デバイスをしっかりと持つために使用します。トリガ ハンドル付きの TC25 デバイスに対応します。
TC2X ハンド ストラップ	SG-TC2X-HSTRP1-01	交換用ハンド ストラップ (3 パック)。
リスト/アーム マウント	SG-TC2X-ARMNT-01	TC25 を前腕部に取り付けるために使用します。
スモール リスト マウント ストラップ	SG-WT4023221-03R	交換用の短いリスト マウント ストラップ
ラージ リスト マウント ストラップ	SG-WT4023221-04R	交換用の長いリスト マウント ストラップ。
電源		
電源	PWR-BGA12V50W0WW	1 スロット イーサネット クレードルに電力を供給します。p/n CBL-DC-388A1-01 の DC 電源コードと、国別のアース付き AC 電源コード (3 ワイヤ) が必要です (別売)。
電源	PWR-BGA12V108W0WW	5 スロット充電専用クレードルに電力を供給します。p/n CBL-DC-382A1-01 の DC 電源コードと、国別のアース付き AC 電源コード (3 ワイヤ) が必要です (別売)。
電源	PWR-WUA5V12W0US	USB-C ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。米国で使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0GB	USB-C ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。欧州連合で使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0EU	USB-C ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。英国で使用するためのプラグ アダプタが含まれます。

表 13 TC25 のアクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
電源	PWR-WUA5V12W0AU	USB-C ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。オーストラリアで使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0CN	USB-C ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。中国で使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0BR	USB-C ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。ブラジルで使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0KR	USB-C ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。韓国で使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
電源	PWR-WUA5V12W0IN	USB-C ケーブルに 5VDC、2.5A の電力を供給します。インドで使用するためのプラグ アダプタが含まれます。
DC 電源コード	CBL-DC-382A1-01	電源 (PWR-BGA12V108W0WW) から 5 スロット充電専用クレードルに電力を供給します。
DC 電源コード	CBL-DC-388A1-01	電源 (PWR-BGA12V50W0WW) から 1 スロット イーサネット クレードルに電力を供給します。
2 股 DC 電源コード	CBL-DC-377A1-01	2 個の 5 スロット充電専用クレードルを 1 つの電源で充電するために使用します。
2 股 DC 電源コード	CBL-DC-379A1-01	1 個の 1 スロット イーサネット クレードルと 1 個の 5 スロット充電専用クレードルを 1 つの電源で充電するために使用します。
4 股 DC 電源コード	CBL-DC-380A1-01	4 個の 1 スロット イーサネット クレードルを 1 つの電源で充電するために使用します。
US AC 電源コード	23844-00-00R	アース付き 228.6cm (7.5 フィート) 電源コード 3 本。
USB-C ケーブル	CBL-TC2X-USBC-01	PC を 1 スロット USB クレードルに接続するための USB ケーブル。

1 スロット ベース充電専用クレードル

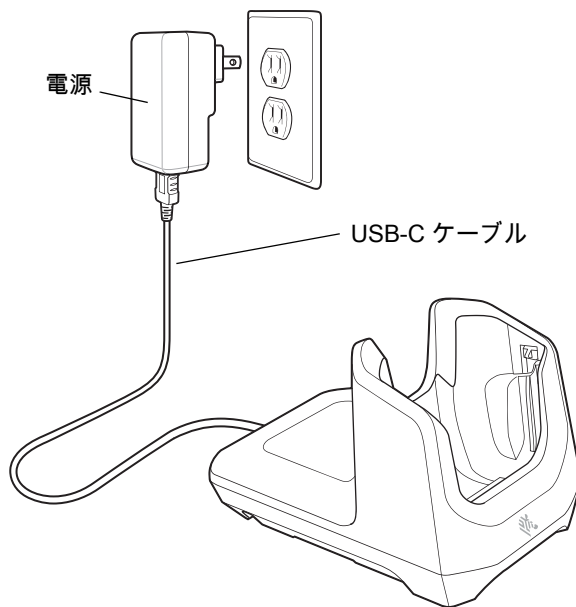
1 スロット ベース充電専用クレードルは充電用に 5VDC を供給します。

- TC25
- Extended Power Pack
- TC25 と Extended Power Pack
- トリガ ハンドルを付けた TC25



重要 充電には Zebra USB-C ケーブルのみを使用してください。

図107 1 スロット ベース充電専用クレードル

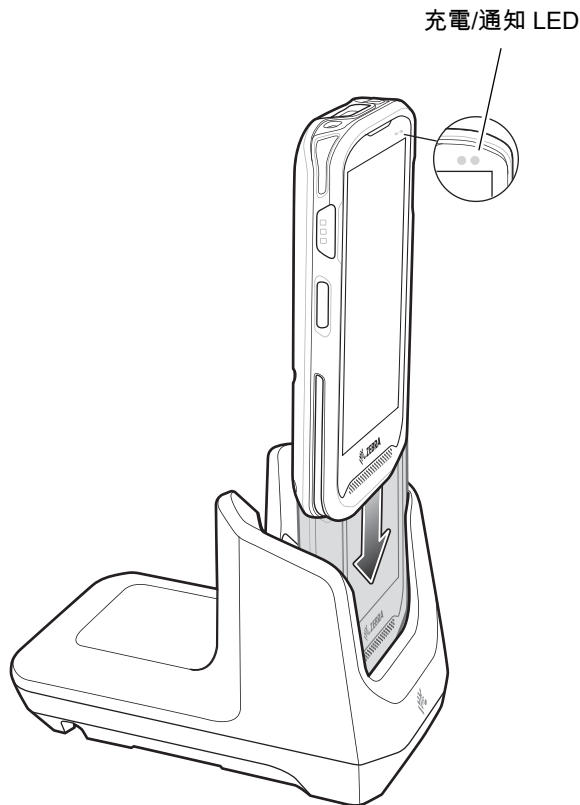


デバイスの充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電が開始します。

図108 TC25 の充電



2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、[21ページの表 4](#) を参照してください。内蔵バッテリーが完全に空になっている場合は約 4 時間で 90% まで、約 5 時間で 100% まで充電されます。



注 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 10 時間連続で使用できます。

Zebra の充電アクセサリとバッテリーのみを使用してください。TC25 をスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温 (たとえば、約 +37°C (+98°F)) の場所では、デバイスまたはクレードルはバッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つことができます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスやクレードルの LED にエラーが表示されます。

1 スロット イーサネット充電クレードル

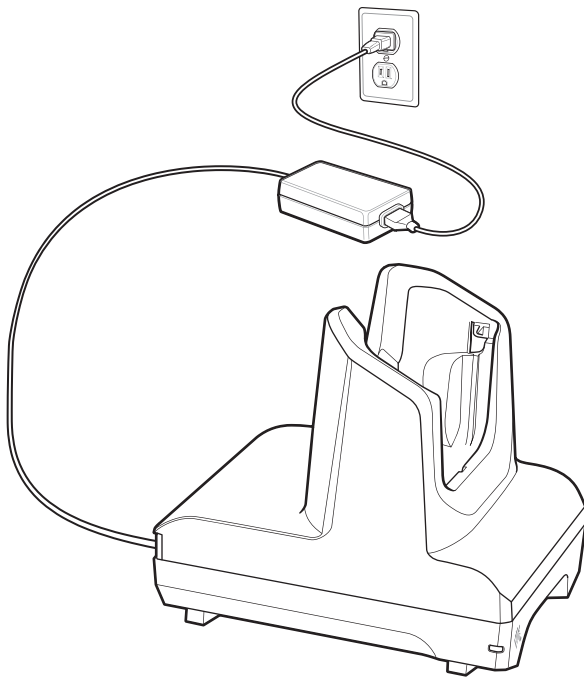
1 スロット イーサネット クレードルには、次の用途で使します。

- 次の部品に充電用に 5VDC を供給します。
 - TC25
 - Power Pack
 - TC25 および Power Pack
 - トリガ ハンドルを付けた TC25
- USB 通信に使します。
- USB/イーサネット モジュールを使用したイーサネットとUSBの通信に使します。



重要 Extended Power Pack が接続された TC25 がクレードル内にある場合、USB またはイーサネット通信は無効になります。

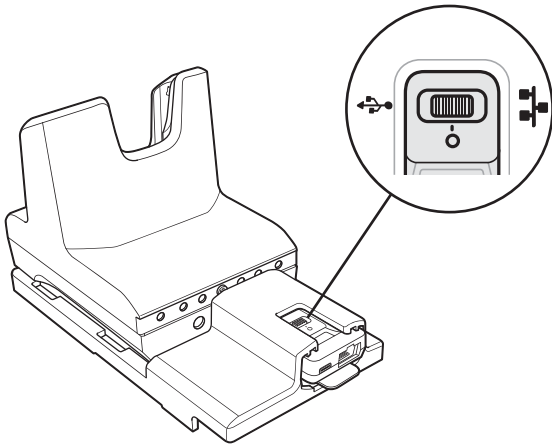
図109 1 スロット イーサネット クレードル



USB/イーサネット通信

1 スロット イーサネット クレードル、イーサネット ブラケット、および USB/イーサネット モジュールは、ネットワークとのイーサネット通信およびホスト コンピュータとの USB 通信の両方を提供します。イーサネット通信用または USB 通信用のクレードルを使用する前に、USB/イーサネット モジュールのスイッチが正しく設定されていることを確認してください。イーサネット ブラケットおよび USB/イーサネット モジュールを設定する方法の詳細については、『TC25 Rugged Smartphone Integrator Guide for Android Version 7.1.2』を参照してください。

図110 1スロット イーサネット クレードル モジュール スイッチ



イーサネット通信では、スイッチを ➡ の位置にスライドさせます。

USB 通信では、スイッチを ⇄ の位置にスライドさせます。

スイッチを中央位置の ○ に設定すると、通信が無効になります。

イーサネット LED インジケータ

USB/イーサネット モジュール RJ-45 コネクタには、2 つの LED が搭載されています。LED が緑色に点灯している場合は、転送速度が 100Mbps であることを示しています。LED が点灯していない場合は、転送速度が 10Mbps であることを示します。LED が黄色で点滅している場合は、リンク確立中であることを示し、点灯している場合は、リンクが確立されたことを示します。消灯している場合は、リンクがないことを示します。

図111 LED インジケータ

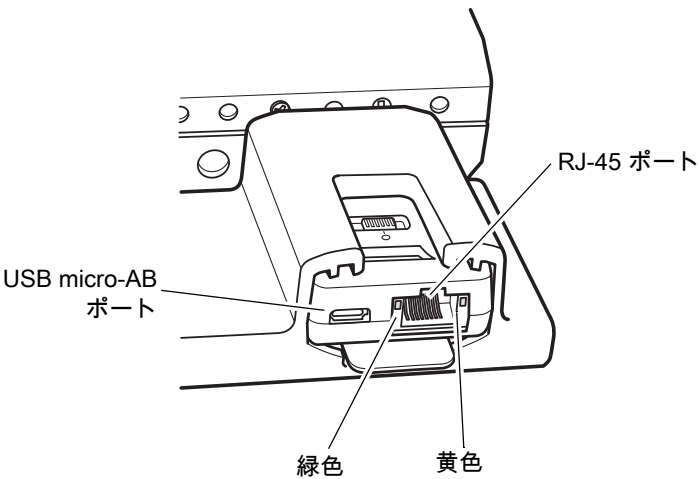


表 14 USB/イーサネット モジュール LED データ速度インジケータ

データ速度	黄色 の LED	緑色の LED
100Mbps	オン/点滅	オン
10Mbps	オン/点滅	消灯

イーサネット接続の確立



注 イーサネット設定を構成する方法の詳細については、『TC25 Integrator Guide for Android Version 7.1』を参照してください。

1. ステータス バーから下にスワイプして、 をタッチします。
2. **[Ethernet]** (イーサネット) をタッチします。
3. イーサネット スイッチを **[ON]** (オン) の位置にスライドします。
4. デバイスをスロットに挿入します。

↔アイコンがステータス バーに表示されます。

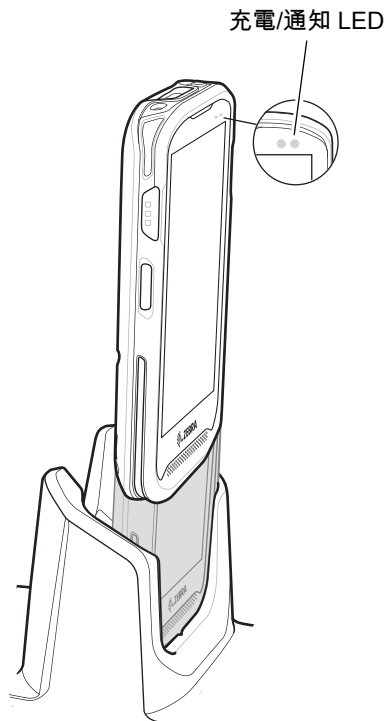
5. **[Eth0]** をタッチし、イーサネット接続の詳細を表示します。

デバイスの充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。

1. スロットにデバイスを挿入すると充電が開始します。

図112 バッテリーの充電



2. デバイスが正しくセットされていることを確認してください。

バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、[21ページの表 4](#) を参照してください。バッテリーが完全に空になっている場合は約 4 時間で 90% まで、約 5 時間で 100% まで充電されます。



注 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 10 時間連続で使用できます。

Zebra の充電アクセサリとバッテリーのみを使用してください。TC25 をスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

充電温度

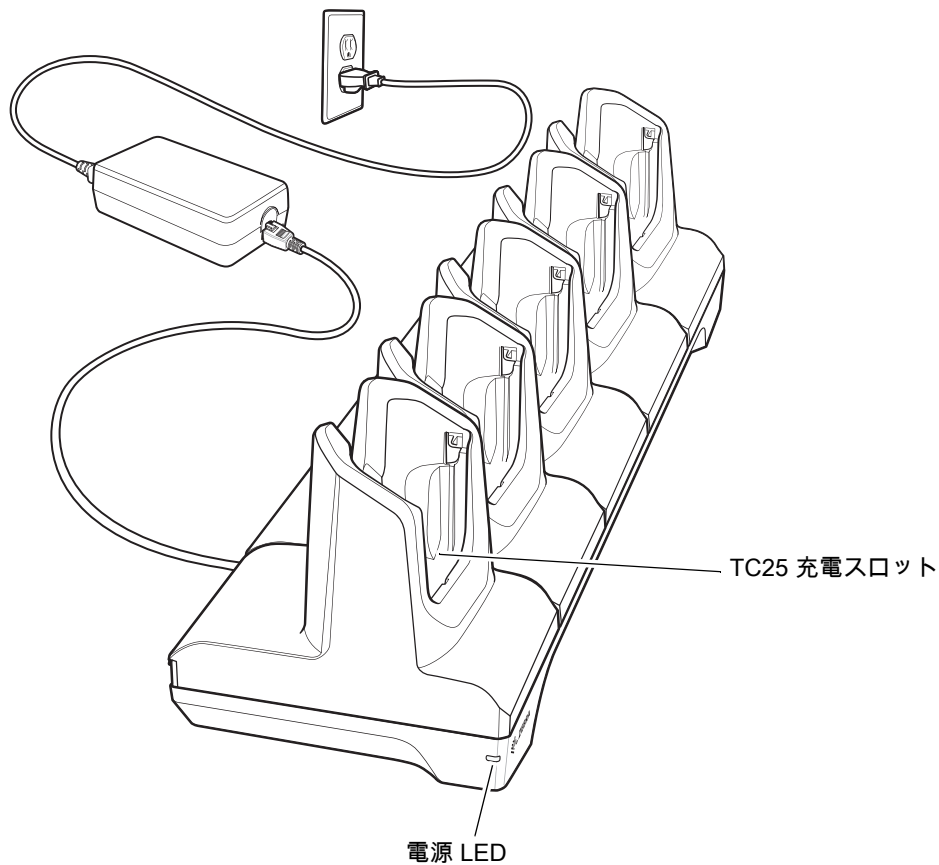
バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温 (たとえば、約 +37°C (+98°F)) の場所では、デバイスまたはクレードルはバッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つことができます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスやクレードルの LED にエラーが表示されます。

5 スロット充電専用クレードル

5 スロット充電専用クレードルは次の部品に充電用に 5VDC を供給します。

- TC25
- Power Pack
- TC25 および Power Pack
- トリガ ハンドルを付けた TC25

図113 5 スロット充電専用クレードル

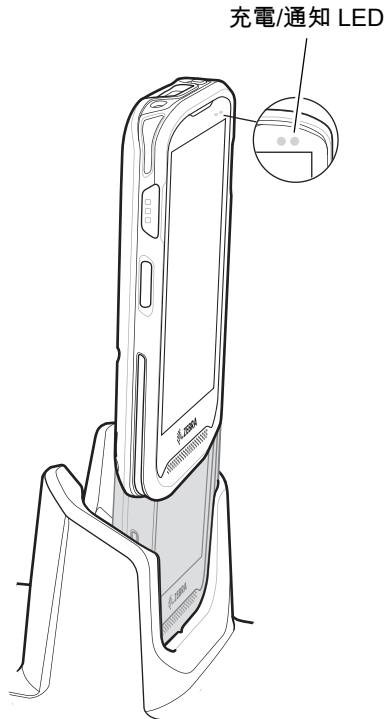


TC25 の充電

デバイスを充電するには、次の手順に従います。

1. スロットに TC25 を挿入すると充電を開始します。

図114 TC25 の充電



2. TC25 が正しく取り付けられていることを確認します。

バッテリーの充電

デバイスの充電/通知 LED は、デバイスのバッテリー充電状態を示します。デバイスの充電状態については、[21ページの表 4](#) を参照してください。バッテリーが完全に空になっている場合は約 4 時間で 90% まで、約 5 時間で 100% まで充電されます。



注 多くの場合、日常的な使用に対しては 90% までの充電で充分です。100% のフル充電を行うと、約 10 時間連続で使用できます。

Zebra の充電アクセサリとバッテリーのみを使用してください。TC25 をスリープ モードにして、室温でバッテリーを充電します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温 (たとえば、約 +37°C (+98°F)) の場所では、デバイスまたはクレードルはバッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つことができます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、デバイスやクレードルの LED にエラーが表示されます。

Extended Power Pack

Extended Power Pack は、TC25 バッテリーの充電をよりパワフルにします。

図115 Extended Power Pack 正面図

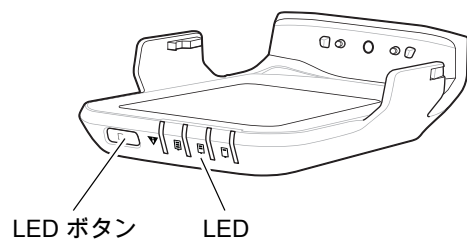
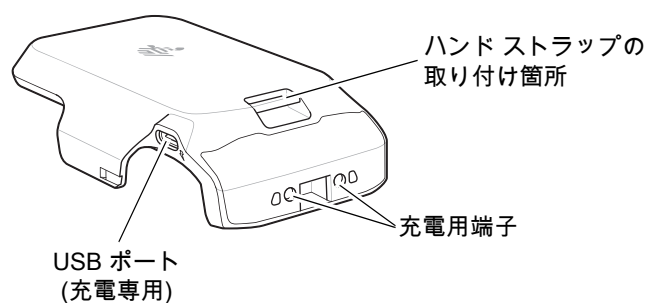


図116 Extended Power Pack 背面図

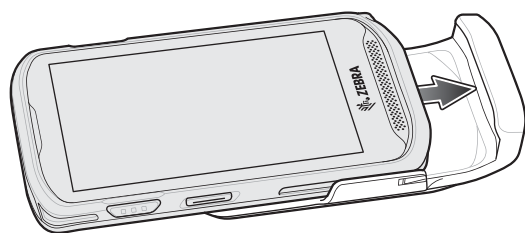


取り付け

Power Pack を取り付けるには、次の手順に従います。

1. Power Pack と TC25 の接合部を合わせます。

図117 Power Pack と TC25 の位置合わせ



2. カチッと音がするまで Power Pack を TC25 に押し込みます。

充電機能

Extended Power Pack の充電:

- クレードルを使用
- TC25 を取り付けたクレードルを使用
- USB ケーブルを使用

図118 クレードルでの Power Pack の充電

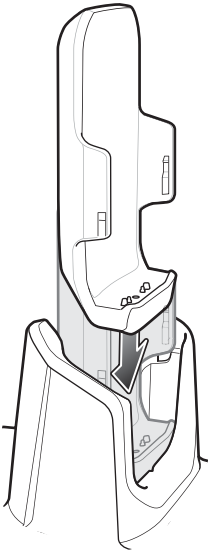
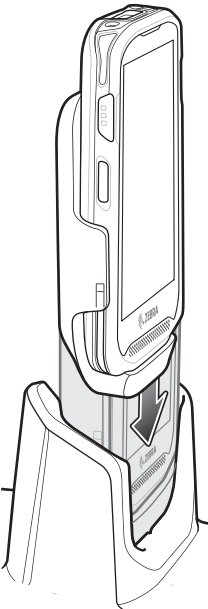
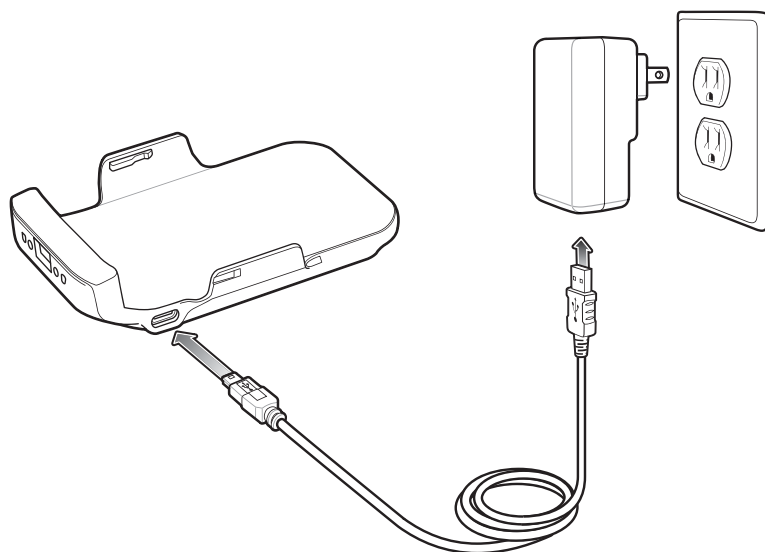


図119 クレードルでの TC25 と Power Pack の充電



重要 充電には Zebra USB-C ケーブルのみを使用してください。

図120 USB ケーブルでの充電



Power Pack の充電

Power Pack の充電 LED は、充電状態を示しています。充電状態については、[132ページの表 15](#) を参照してください。Power Pack が完全に空になっている場合は約 4 時間で 90% まで、約 5 時間で 100% まで充電されます。

図121 Power Pack の LED

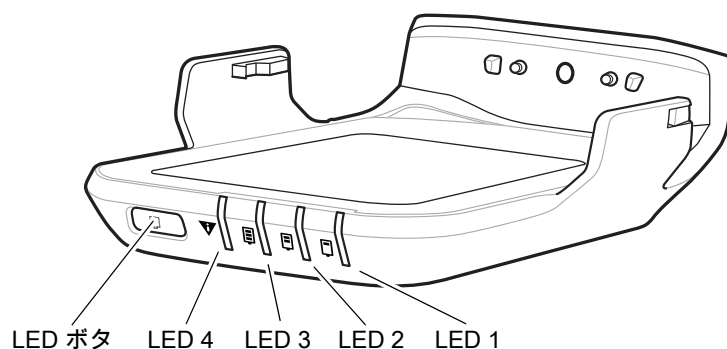


表 15 LED 充電インジケータ

LED の状態				意味
LED 1	LED 2	LED 3	LED 4	
				充電していません。
 点滅				充電レベルが 0% ~ 33%
 点灯	 点滅			充電レベルが 33% ~ 66%

表 15 LED 充電インジケータ (続き)

LED の状態				意味
LED 1	LED 2	LED 3	LED 4	
 点灯	 点灯	 点滅		充電レベルが 66% ~ 95%
 点灯	 点灯	 点灯		フル充電 (95 ~ 100%)
 点滅	 点滅	 点滅	 点滅	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 10 時間)

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温 (たとえば、約 +37°C (+98°F)) の場所では、デバイスまたはクレードルはバッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保つことができます。異常な温度のために充電が無効になったときは、LED でそれを示します。

パワーレベルの確認

Power Pack のパワーレベルを確認するには、LED ボタンを押してください。LED は充電レベルを示しています。5 秒後に LED がオフになります。

図122 パワーレベルの確認

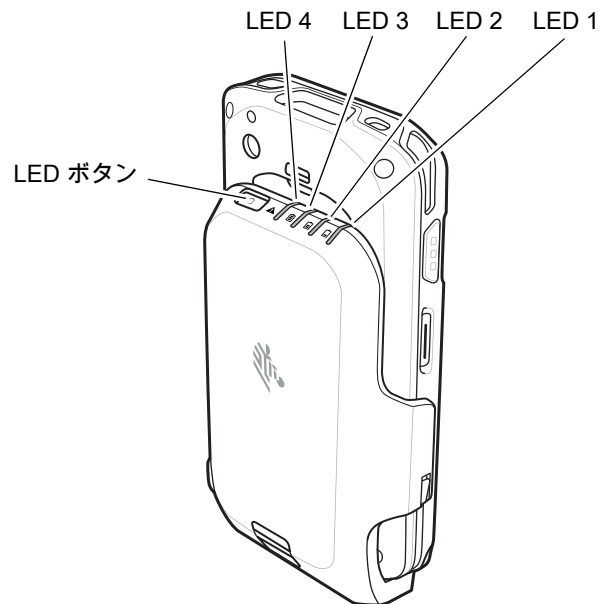


表 16 LED 充電状態インジケータ

LED の状態				意味
LED 1	LED 2	LED 3	LED 4	
				充電していません。
 点滅				充電レベルが 0% ~ 33%
 点灯	 点滅			充電レベルが 33% ~ 66%
 点灯	 点灯	 点滅		充電レベルが 66% ~ 95%
 点灯	 点灯	 点灯		フル充電 (95 ~ 100%)

Extended Power Pack のリセット

Power Pack が正常に機能していないと思われる場合は、Pack をリセットします。

ボタンを 10 秒間長押しします。4 個の LED はすべて 3 回点滅します。

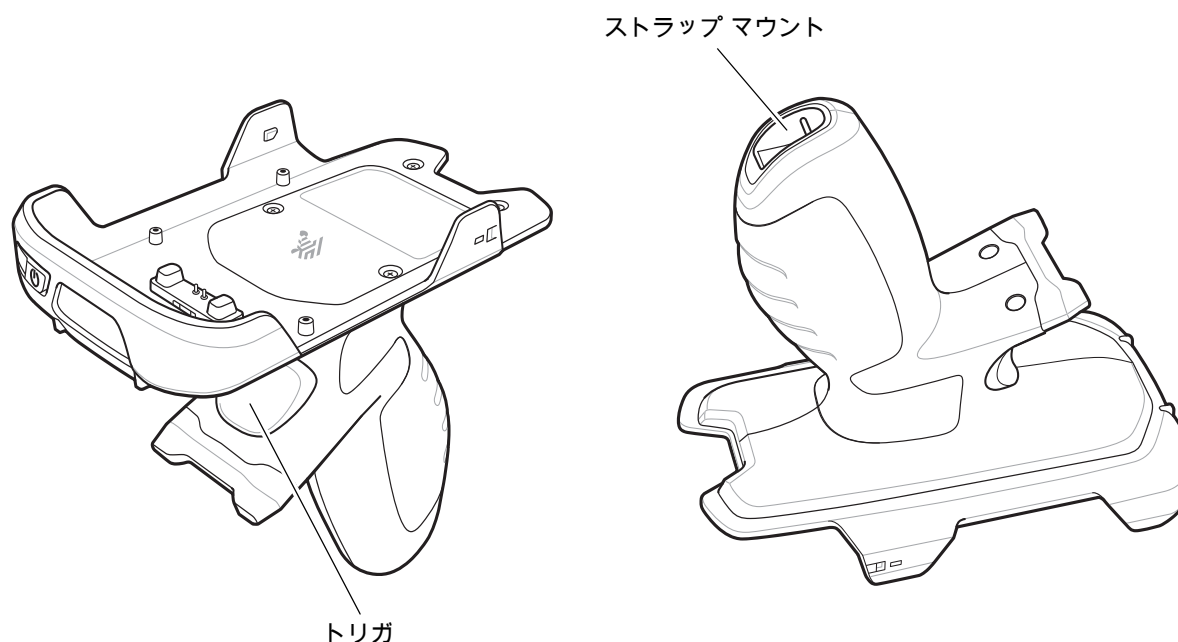
トリガ ハンドル



重要: トリガ ハンドルは、SE4710 イメージャと 2 ピン アクセス ドアを備えた TC25 デバイスのみで使用できます。

トリガ ハンドルを使用すると、スキャン トリガを備えたガン タイプのハンドルをデバイスに取り付けることができます。長時間にわたる大量のスキャンが必要な作業でデバイスを使用する場合に、ユーザーへの負担が軽減されます。

図123 トリガ ハンドル



オプションのストラップの取り付け

トリガ ハンドルにストラップを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ストラップの端のループをハンドルの下部にあるスロットに挿入します。
2. ストラップをループに通します。

図124 アタッチメント プレートをハンドルに取り付ける



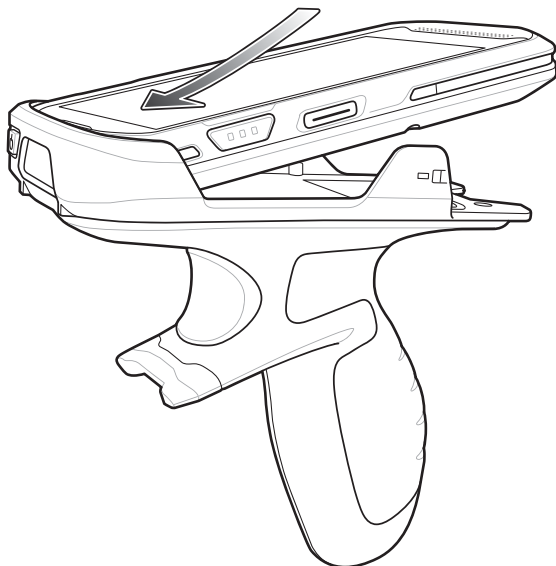
3. ループが締まるまでストラップを引きます。

トリガ ハンドルへのデバイスのセット

トリガ ハンドルにデバイスを取り付けるには、次の手順に従います。

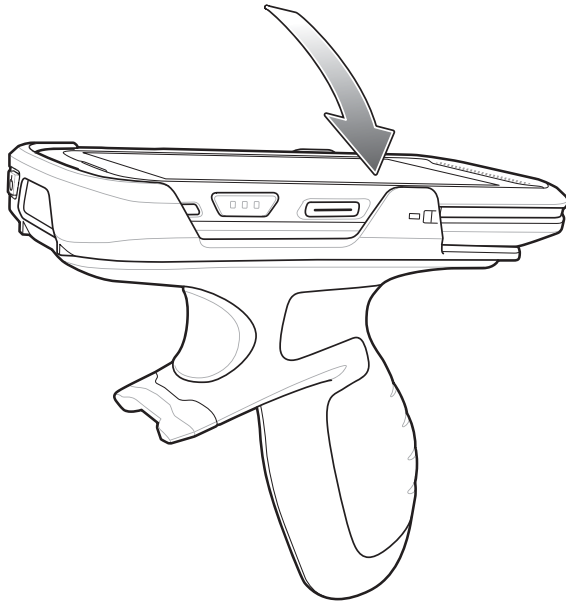
1. トリガ ハンドルの前部に TC25 の上部を合わせて挿入します。

図125 デバイスをトリガ ハンドルに挿入



2. デバイスを回転させるようにして、所定の位置にカチッとはまるまで押し下げます。

図126 デバイスをトリガ ハンドルから離しながら回転させる

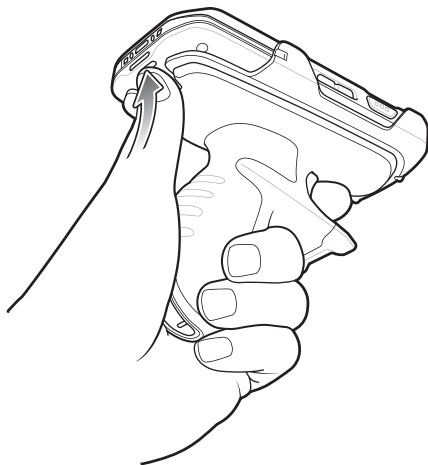


トリガ ハンドルからのデバイスの取り外し

トリガ ハンドルからデバイスを取り外すには、次の手順に従います。

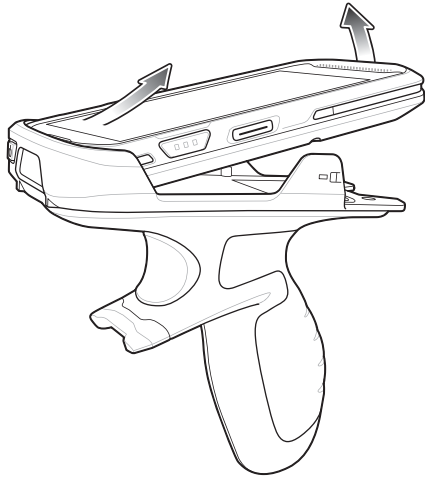
1. 親指で TC25 を押し上げます。

図127 デバイスの押し上げ



2. デバイスをスライドしてトリガ ハンドルの前部から引き離します。

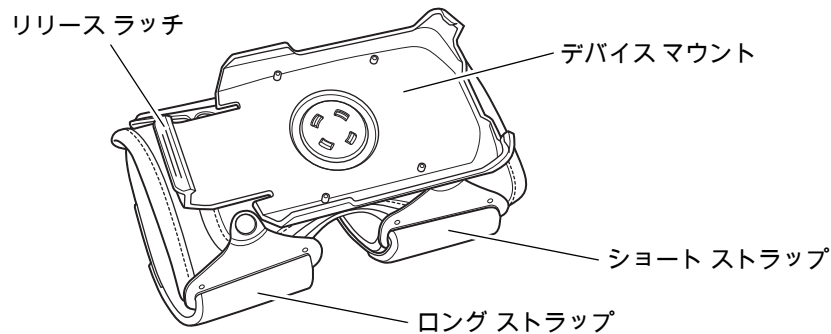
図128 トリガ ハンドルからデバイスを取り外す



リスト/アーム マウント

リスト/アーム マウントを使用すると、ハンズ フリー アプリケーションのために TC25 を前腕部に取り付けることができます。手首に最も近い位置にショート ストラップを巻き付けて、どちらかの腕にマウントを取り付けます。適切に取り付けるために、ストラップを一度外して、取り付け直す必要がある場合もあります。ストラップの取り付け手順については、[142ページの「ストラップの取り付け」](#)を参照してください。

図129 リスト/アーム マウント

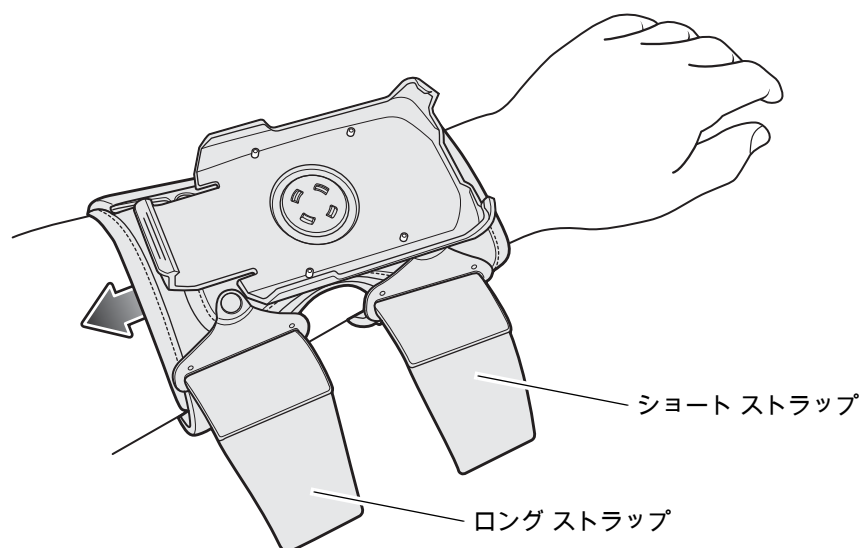


リスト/アーム マウントの取り付け

リスト/アーム マウントを取り付けるには、次の手順に従います。

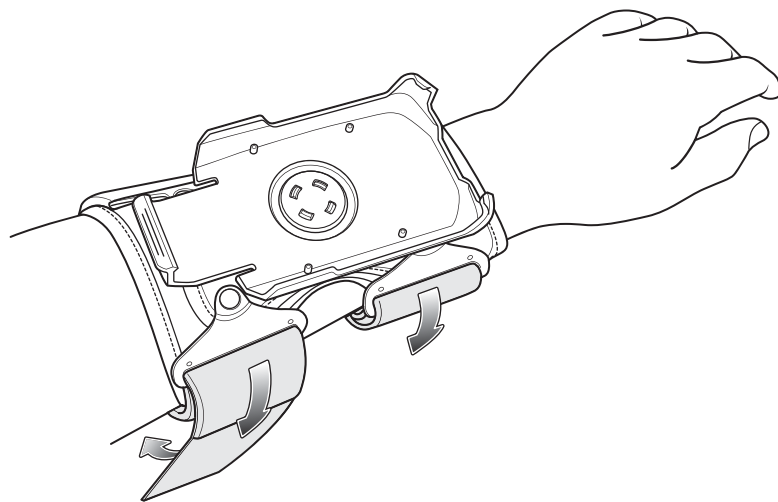
1. 両方のストラップを緩めます。
2. 手首に最も近い位置にショート ストラップを巻き付けて、肘側にリスト/アーム マウントをスライドします。

図130 前腕部でのスライド



3. 前腕部で両方のストラップを締めて、フック部分とループ部分と一緒に押します。

図131 ストラップの締め付け

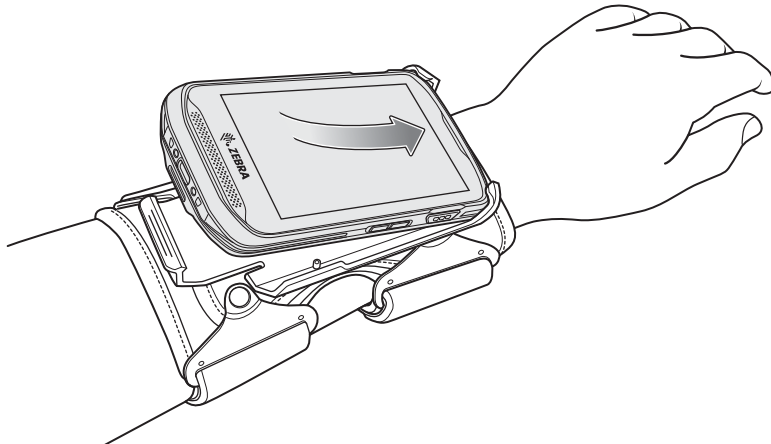


デバイスの取り付け

マウントに TC25 を取り付けるには、次の手順に従います。

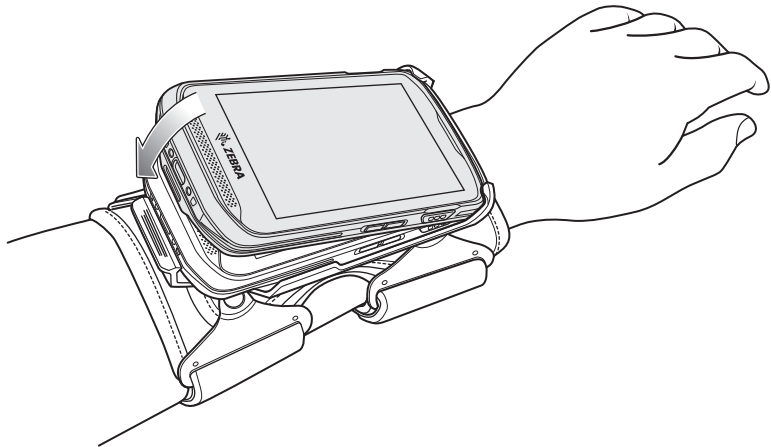
1. TC25 の上部をマウントの端に挿入します。

図132 TC25 のホルダへの差し込み



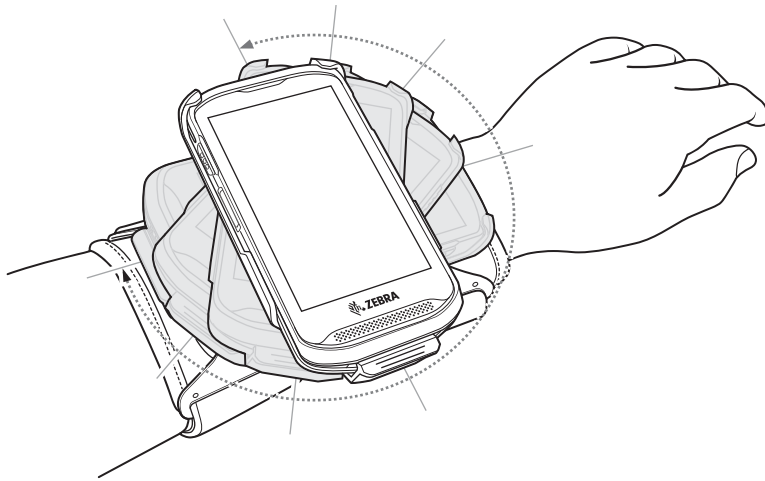
2. TC25 の底面をマウントに差し込み、所定の位置にはめ込みます。

図133 デバイスの固定



3. 見やすくするために TC25 を回転します。

図134 デバイスの回転



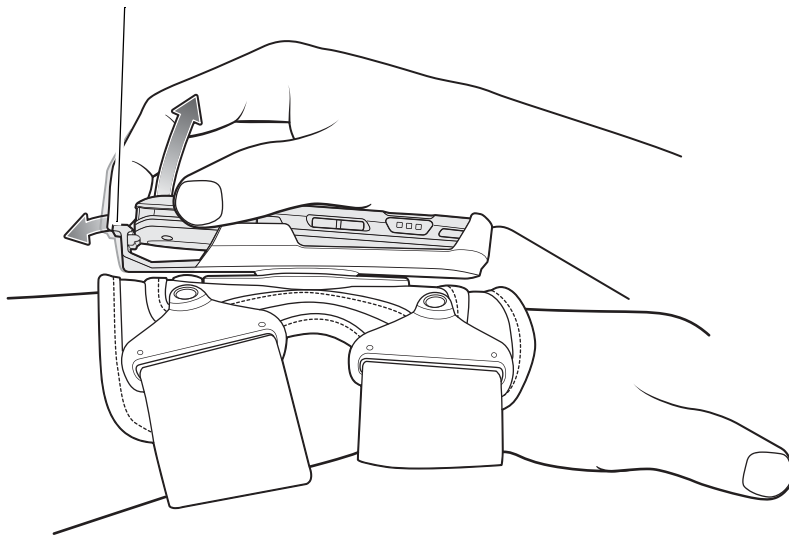
デバイスの取り外し

リスト/アーム マウントから TC25 を取り外すには、次の手順に従います。

1. リリース レバーを押し下げます。
2. スライドして TC25 をマウントから引き出します。

図135 TC25 の取り外し

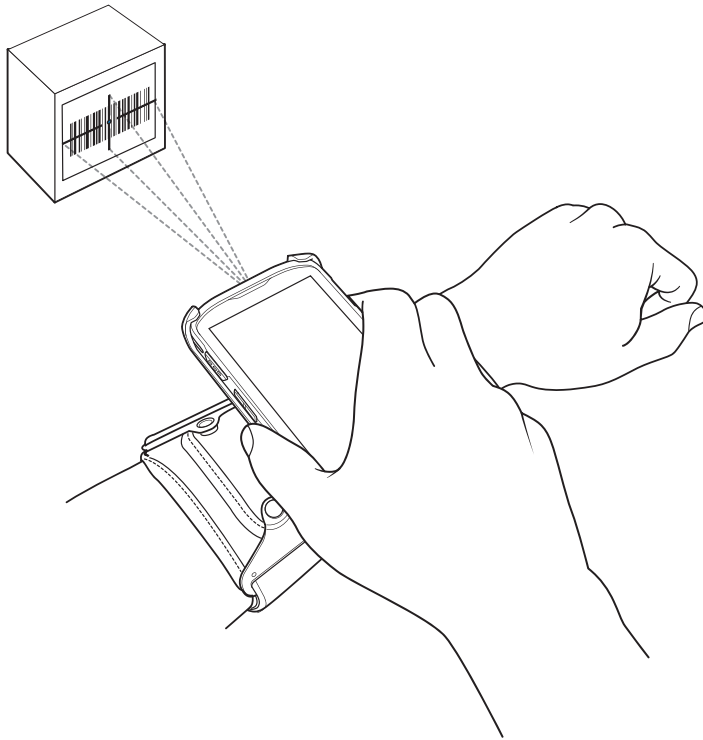
リリース レバー



スキャン

リスト マウントに取り付けた TC25 でスキャンするには、以下のようにデバイスを回転させます。

図136 リスト マウントに取り付けたデバイスでのスキャン

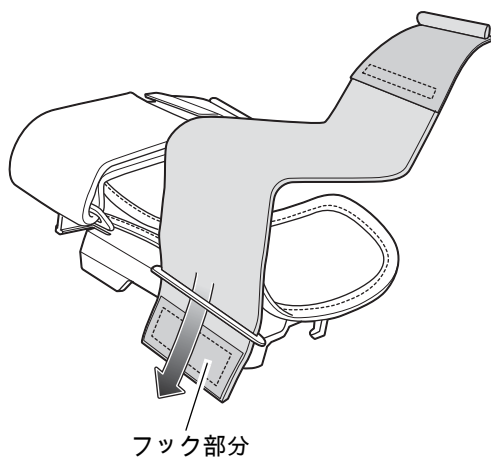


ストラップの取り付け

交換 (または清掃) のためにストラップを取り外して、新しいストラップを取り付け直すことができます。

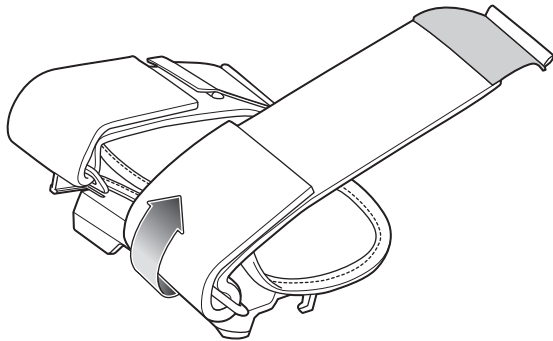
1. 使用中のストラップを取り外します。
2. ストラップの柔らかい方の端を後部ホルダのスロットに通し、フック部分を下図の位置にもっていきます。

図137 後部スロットに通したストラップ



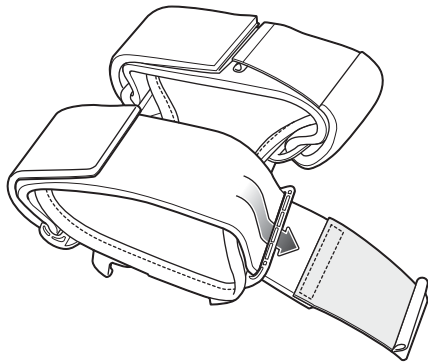
3. 端を折り畳んでフック部分とループ部分を一緒に押します。

図138 端の折り畳みと固定



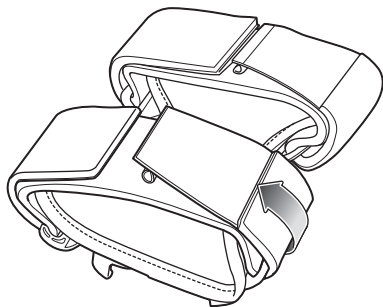
4. 硬い方の端を前部ホルダのスロットに通します。

図139 前部スロットに通したストラップの端



5. 折り畳んでフック部分とループ部分を一緒に押します。

図140 端の折り畳みと固定



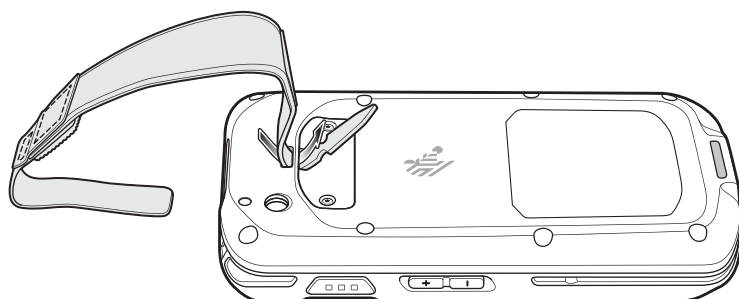
ハンドストラップ

ハンドストラップを使用すると、デバイスを固定して装着できます。

ハンドストラップを TC25 に取り付けるには、次の手順に従います。

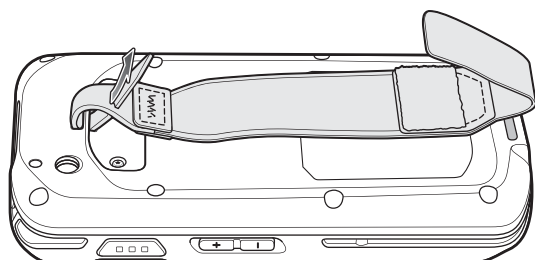
1. ハンドストラップの上端を TC25 の上部スロットに通します。

図141 上部の取り付け箇所に通したハンドストラップ



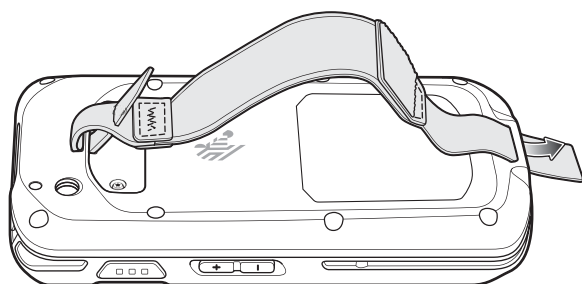
2. 端をスロットに通して引き出します。

図142 スロットに通したストラップの端



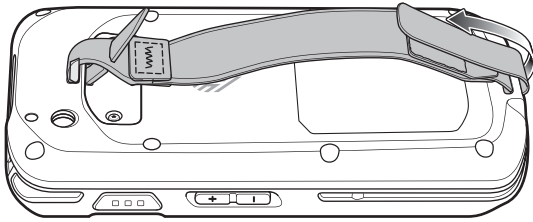
3. ハンドストラップの先端をハンドストラップのスロットに挿入します。
4. 切り込みがスロット内に収まるまで端を引きます。
5. ハンドストラップの反対側を TC25 の下部スロットに通します。

図143 下部の取り付け箇所に通したハンドストラップ



6. 端をスロットに通して引き出します。
7. フック部分をループ部分に押し留めます。

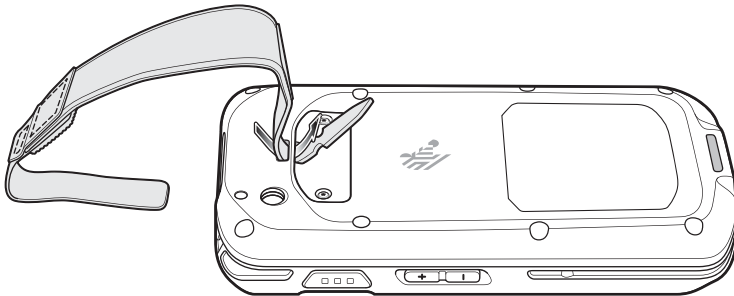
図144 調整して閉じたハンドストラップの端



8. デバイスとハンドストラップの間に腕を入れて、必要に応じてハンドストラップを調整します。
Extended Power Pack を装着した TC25 にハンドストラップを取り付けるには、次の手順に従います。

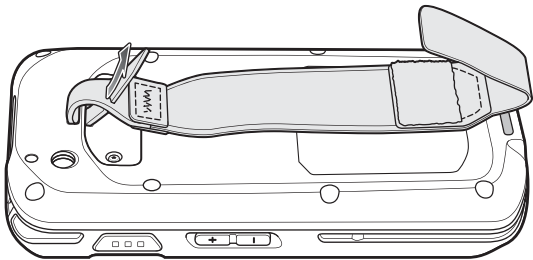
1. ハンドストラップの上端を TC25 の上部スロットに通します。

図145 上部の取り付け箇所に通したハンドストラップ



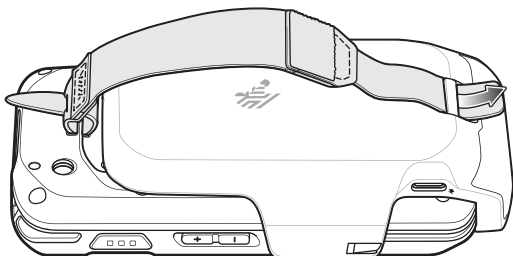
2. 端をスロットに通して引き出します。
3. ハンドストラップの先端をハンドストラップのスロットに挿入します。
4. 切り込みがスロット内に収まるまで端を引きます。

図146 スロットに通したストラップの端



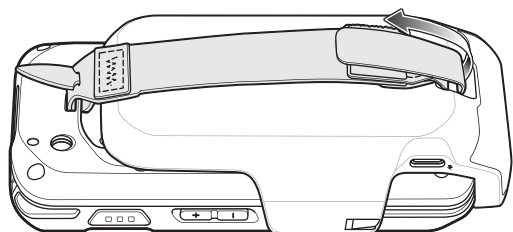
5. ハンドストラップの反対側を TC25 の下部スロットに通します。
6. スライドして TC25 を Extended Power Pack に差し込みます。

図147 Power Pack の下部にある取り付け箇所に通したハンドストラップ



7. 端をスロットに通して引き出します。
8. フック部分をループ部分に押し留めます。

図148 調整と閉じ込み

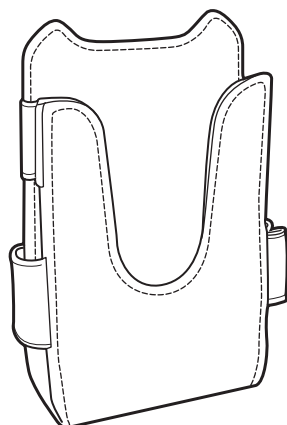


9. デバイスとハンドストラップの間に腕を入れて、必要に応じてハンドストラップを調整します。

ソフトホルスタ

使いやすくするために、ソフトホルスタを使用して、デバイスをベルトにしっかりと固定してください。ホルスタには、デバイスまたはトリガハンドルを固定するための調節可能なベルトがあります。

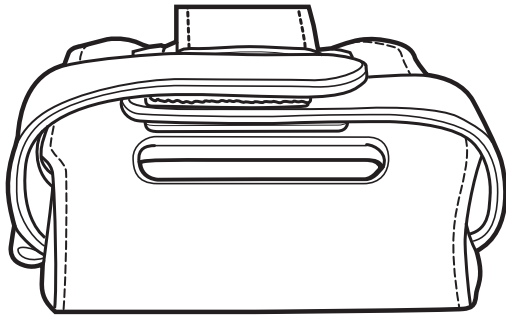
図149 ソフトホルスタ



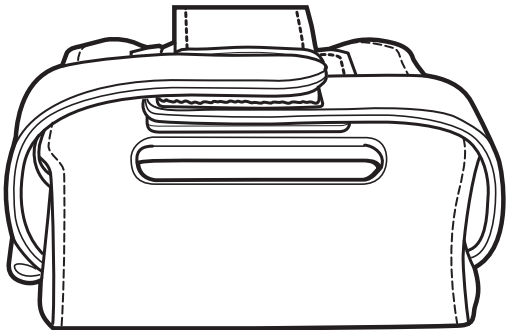
ホルスタの調整

ホルスタには、デバイスまたはトリガハンドルをしっかり固定する調節可能なベルトがあります。

図150 ベルトの調整



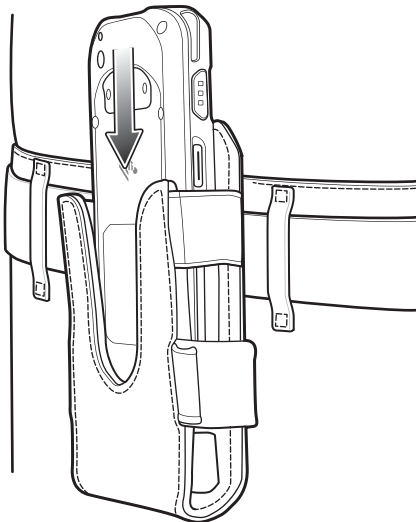
デバイス単体の場合はベルトを引き締める



トリガ ハンドルや Extended Power Pack
の装着時はベルトを緩める

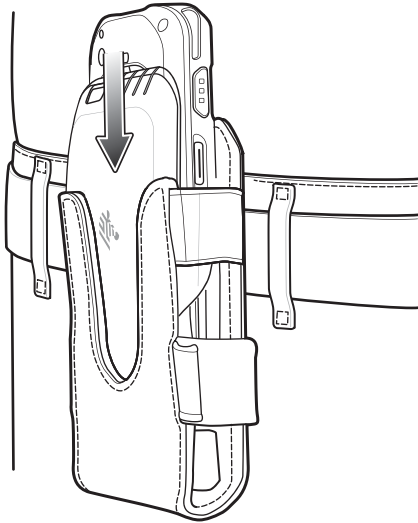
デバイスの出カウインドウを上に向け、ディスプレイを体側に向けてホルスタにデバイスを挿入します。

図151 デバイスが入っているホルスタ



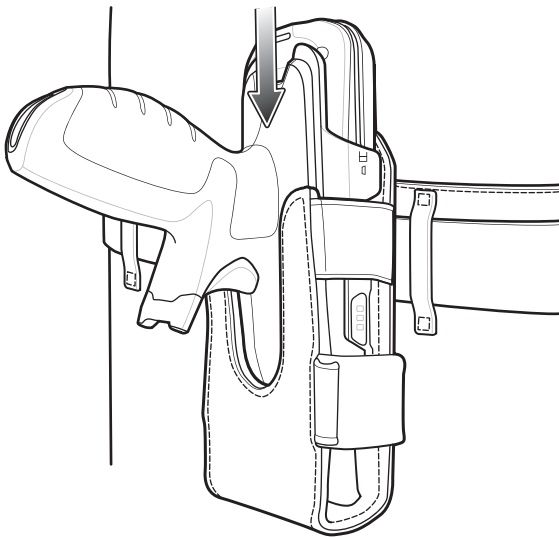
デバイスの出カウインドウを上に向け、ディスプレイを体側に向けて Extended Power Pack が装着されたデバイスをホルスタに挿入します。

図152 Extended Power Pack が装着されたデバイスが入っているホルスタ



デバイスの出カウインドウを下に向けて、トリガ ハンドルをホルスタに挿入します。

図153 トリガ ハンドル付きデバイスが入っているホルスタ



メンテナンスと トラブルシューティング

この章では、デバイスのクリーニングと保管方法、および操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

TC25 の保守

トラブルを避けるため、TC25 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- TC25 の画面を引っかかないでください。
- TC25 のタッチスクリーンはガラス製です。TC25 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- TC25 を極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、TC25 の保管や利用を避けてください。
- TC25 をクリーニングする場合は、レンズ用の柔らかい布を使用してください。TC25 の画面の表面が汚れた場合は、柔らかい布を薄めた窓ガラス用の洗剤で湿らせてクリーニングします。

ディスプレイのベスト プラクティス

画像の残留

画像の残留は、静的な画像を長時間画面に表示した場合に発生することがあります。新しい画像を表示した後も、前の画像がかすかに表示されることがあります。画像の残留を避けるには、次の手順に従います。

- アイドル状態が数分間続いたときにディスプレイがオフになるように設定します。
- 背景画像を定期的に回転させます。
- デバイスを使用していないときには、ディスプレイをオフにします。
- 次の特性を持つスクリーン セーバーを使用します。
 - 背景色を黒に設定します。
 - 動く部分が小さい (ディスプレイのサイズの約 2%) 画像を使用します。
 - 画像を画面上でランダムに動かすようにします。
 - 静的な画像を使用する場合は、スクリーン セーバーをできるだけ長時間使用します。

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で機器を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、このガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (+32°F ~ +104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーや充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れなどの事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、グローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として利用する機器は、USB-IF のロゴのある製品が、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のものに接続することができます。
- IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従った承認済みバッテリーを認証するため、すべてのバッテリーにはホログラムが添付されています。認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り付けしないでください。
- バッテリーの分解、破砕、屈曲、変形、穴開け、寸断などを行わないでください。
- バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータなどの熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。

- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、カスタマー サポートに検査を依頼してください。

クリーニング方法



注意 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、グローバル カスタマー サポート センターに詳細をお問い合わせください。



警告! 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピル アルコール、中性食器洗剤の組み合わせ、またはそのいずれかでのみ構成されている必要があります。

有害成分

化学薬品の中には、デバイスの樹脂部分を冒すことが判明しているために、デバイスに接触しないような配慮が必要なものがあります。このような化学薬品として、アンモニア溶液、アミンまたはアンモニアの化合物、アセトン、ケトン、エーテル、芳香族炭化水素および塩素化炭化水素、アルカリのアルコール溶液または水溶液、エタノールアミン、トルエン、トリクロロエチレン、ベンゼン、石炭酸、および TB-リゾフォルムがあります。

クリーニング方法

デバイスに液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。ディスプレイの周辺などに液体がたまらないように注意してください。デバイスは、自然乾燥させてから使用してください。

クリーニングの際の注意事項

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、デバイスの筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用してデバイスを扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してからデバイスを扱ってください。デバイスを扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、上記の有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を完全に乾燥させてからデバイスを扱うようにしてください。

必要なクリーニング材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。クリーニングは必要に応じて行うことができますが、パフォーマンスを最適に保つために、埃の多い環境で使用した場合は、カメラ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

TC25 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で、ボタンを含む筐体を拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまるように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

カメラと出力ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にカメラと出力ウィンドウを拭いてください。

コネクタのクリーニング

コネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. モバイル コンピュータからメイン バッテリを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。
5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
6. 乾いた綿棒で、ステップ 4 ~ 6 を繰り返します。



注意 ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm (0.5 インチ) 以上離してください。
8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの前面も、綿棒で拭く必要があります。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。
6. 綿棒のコットンの屑をすべて取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ~ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

トラブルシューティング

次の表は、発生する可能性がある典型的な問題と問題を解決するための対処方法を示します。

TC25

表 17 TC25 のトラブルシューティング

問題	原因	対処方法
電源ボタンを押しても TC25 の電源がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	TC25 のバッテリーを充電または交換します。
	システムがクラッシュしている。	リセットします。
電源ボタンを押しても、TC25 の電源がオンにならないが、LED が 2 つ点滅する。	データを維持できるレベルのバッテリー残量があるが、充電が必要。	TC25 のバッテリーを充電します。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	システム管理者にお問い合わせください。
	バッテリーの充電中に TC25 をクレードルから取り外した。	TC25 をクレードルに差し込みます。20ページの「 バッテリーの充電 」を参照してください。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C (32°F) 未満になるか 40°C (104°F) を超えると、バッテリーは充電されません。
ディスプレイの文字が見えない。	TC25 の電源がオンになっていない。	電源ボタンを押します。
ホスト コンピュータとのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、TC25 をクレードルから取り外したか、ホスト コンピュータから切断した。	TC25 をクレードルに置き直すか、通信ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	ケーブルの構成が間違っています。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールや構成が正しくない。	セットアップを実行します。
Wi-Fi でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Wi-Fi 無線がオンになっていない。	Wi-Fi 無線をオンにします。
	アクセス ポイントの範囲から外れている。	アクセス ポイントの近くに移動します。
Bluetooth でのデータ通信中に、データが転送されなかったか、転送されたデータが不完全である。	Bluetooth 無線がオンになっていない。	Bluetooth 無線をオンにします。
	別の Bluetooth デバイスの範囲から外れている。	もう一つのデバイスの 10m (32.8 フィート) 以内に移動します。

表 17 TC25 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
音が鳴らない。	音量設定が低いかオフになっている。	音量を調整します。
TC25 の電源が突然切れる。	TC25 が非アクティブになっている。	ディスプレイは一定の時間非アクティブになっているとオフになります。この時間を、15 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分、または 30 分に設定します。
	バッテリーが完全に放電してある。	バッテリーを交換します。
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	デバイスの反応がない。	デバイスをリセットします。
TC25 のメモリが満杯というメッセージが表示される。	TC25 に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホスト コンピュータに保存します (または SD カードを使用してメモリを追加します)。
	TC25 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが TC25 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを回復します。  >  [Apps] (アプリケーション) > [Downloaded] (ダウンロード済み) を選択します。使用していないプログラムを選択し、[Remove] (削除) をタップします。
TC25 で読み取ったバーコードがデコードされない。	スキャン アプリケーションがロードされていない。	TC25 にスキャン アプリケーションをロードするか、DataWedge を有効にします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	出力ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	TC25 を正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用に TC25 がプログラムされていない。	スキャンするバーコードのタイプに対応するように、TC25 をプログラムします。EMDK または DataWedge アプリケーションを参照します。
	TC25 がビープ音を鳴らすようにプログラムされていない。	正しく読み取ったときに TC25 がビープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
	バッテリー残量が少なくなっている。	スキャナのトリガを押したときにレーザー光線の放射が停止する場合は、バッテリー レベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、バッテリー残量が少ないことを TC25 が通知する前に、スキャナがシャットオフします。注: この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合は、代理店またはグローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。

表 17 TC25 のトラブルシューティング (続き)

問題	原因	対処方法
TC25 が近くの Bluetooth デバイスを検出できない。	他の Bluetooth デバイスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10m (32.8 フィート) 以内にデバイスを近づけます。
	近くの Bluetooth デバイスの電源がオンになっていない。	検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源をオンにします。
	Bluetooth デバイスが検出可能なモードになっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
TC25 のロックを解除できない。	ユーザーが正しくないパスワードを入力している。	ユーザーが正しくないパスワードを 8 回入力すると、再試行する前にコードを入力するように求められます。 パスワードを忘れた場合は、システム管理者に連絡してください。

技術仕様

以降のセクションでは、デバイスの技術仕様について説明します。

TC25

表 18 TC25 技術仕様

バッテリー ラッチ	名称
物理特性	
寸法	全長: 134.0mm (5.3 インチ) 幅: 71.3 mm (2.8 インチ) 奥行き: 17.9 mm (0.7 インチ)
重量:	200g (7.1 オンス)
ディスプレイ	4.3 インチ、高解像度 (800 x 480) WVGA、非常に明るい画像で、屋外でも見ることができ、タッチ パネルに光学的に結合されている
タッチ パネル	スタイラスまたは指または手袋をはめた指先入力 (別売の導電性スタイラス) によるデュアル モード容量方式タッチ、Corning Gorilla Glass 4
バックライト	発光ダイオード (LED) バックライト
内蔵バッテリー	充電式 3,000mAh (通常)/2,900mAh (最小) リチウムイオン、Power Precision+、バッテリーサイクル回数を長くするためバッテリー テクノロジーを向上、バッテリー メトリックにバッテリー残量をリアルタイムに表示できるためバッテリー管理が容易、急速充電 (2.4mA)
拡張スロット	ユーザーがアクセス可能な最大 32 GB SDHC 対応の microSD (FAT32 でフォーマット)
接続インタフェース	Universal Serial Bus (USB) 2.0 ハイ スピード (ホストとクライアント)
通知	可聴音、多色 LED、バイブ
音声およびオーディオ	2 個のマイクをサポート (雑音除去機能付き)、バイブレータ通知、スピーカ、Bluetooth 無線ヘッドセットに対応。高性能スピーカ フォン、セルラ回路切り替えボイス、HD Voice
性能特性	
CPU	APQ8037 64 ビット、8 コア、ARM Cortex A53 電力最適化

表 18 TC25 技術仕様 (続き)

バッテリー ラッチ	名称
オペレーティング システム	Android 7.1 Nougat
メモリ	2GB RAM/16GB フラッシュまたは 2GB RAM/32GB フラッシュ
出力	USB 5VDC @ 500mA (最大)
ユーザー環境	
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
相対湿度	オペレーティング: 5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	動作温度範囲内で 1.2m (4 フィート) の高さからコンクリートを覆うタイルへ複数回落下しても動作可能。
転倒	0.5m (1.6 フィート) の転倒を 500 回繰り返しても動作可能、IEC の耐転倒衝撃仕様に準拠および高水準達成
静電気放電 (ESD)	±15kVDC 大気放電、±10kVDC 直接放電、±10kVDC 間接放電
振動	4G PK サイン波 (5Hz ~ 2kHz)、0.04g2/Hz ランダム (20Hz ~ 2kHz)、試験時間は 1 軸あたり 60 分間で 3 軸実施
耐熱衝撃性	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F) の急激な温度変化
インタラクティブ センサ テクノロジ (IST)	
モーション センサ	3 軸加速度計ジャイロ、3 軸式加速度計
光センサ	周辺光センサによりディスプレイのバックライトの明るさを自動調整
近接センサ	音声通話中にユーザーがハンドセットを頭に当てていることを自動的に検出し、ディスプレイ出力とタッチ入力を無効化。
無線 LAN データ/音声通信	
無線	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/d/r/k/w/v/h/i IPv4、IPv6
サポートされるデータ速度	5GHz: 802.11a/n/ac - 最大 433.3Mbps 2.4GHz: 802.11b/g/n - 最大 150Mbps
動作チャンネル	2.4GHz: チャンネル 1 ~ 13、1 ~ 11 (米国) 5GHz: チャンネル 36 ~ 48、52 ~ 64、100 ~ 140、149 ~ 151、161 ~ 165 チャンネル帯域幅: 20、40、80MHz 実際の動作チャンネル/周波数および帯域幅は、各地域の規制および承認機関によって異なります。
セキュリティと暗号化	WEP (40 または 104 ビット)、WPA/WPA2 Personal (TKIP および AES)、WPA/WPA2 Enterprise (TKIP および AES) — EAP-TTLS (PAP、MSCHAP、MSCHAPv2)、EAP-TLS、PEAPv0-MSCHAPv2.
認証	802.11 a/b/g/n/ac、WPA、WPA2
高速ローミング	802.11

表 18 TC25 技術仕様 (続き)

バッテリー ラッチ	名称
無線 WAN データおよび音声通信	
周波数帯	ワールドワイド: LTE: 700/800/900/1800/2100/2600 (FDD 28、20、8、3、1、7)、 UMTS/HSPA/HSPA+: 850/900/2100: GSM/GPRS/EDGE: 850/900/1800/1900 注: インドネシアの構成では、LTE をサポートしていません。 南北アメリカ: LTE: 700/850/1800/1900 (FDD 12、17、5、2、4)、 UMTS/HSPA/HSPA+: 850/1700/1900 GSM/GPRS/EDGE: 850/900/1800/1900
GPS	統合型、自律型、アシスト GPS (A-GPS)、GLONASS、Beidou
無線 PAN データ/音声通信	
Bluetooth[Bluetooth]	クラス 2、Bluetooth v4.1 (Bluetooth スマート テクノロジー)、Bluetooth 広帯域サポート HFPv1.6、Bluetooth v4.1 Low Energy (LE)
データ収集仕様	
2D イメージャ	SE2100 イメージャ (1D および 2D) SE4710 イメージャ (1D および 2D)
スキャン アプリケーションが有効な場合のスキャンを示します (デフォルト)。	背面 - 8MP オートフォーカス、f/2.4 開口部、背面カメラのフラッシュ LED はバランスが調整された白色光を生成、タッチ モード対応
2D イメージャ エンジン (SE2100) の仕様	
読み取り幅	水平 - 41.5° 垂直 - 31.7°
画像解像度	640 (縦) x 480 (横) ピクセル
回転	360°
ピッチ	±60°
スキュー許容差	±60°
周辺光	直射日光: 10,000 フィート キャンドル (107,639 ルクス)
焦点範囲	読み取り部前面からの距離: 10.7cm (4.2 インチ)
照明システム	LED: ウルトラ ホワイト パターン角度: 水平 42°、垂直 32.0°、輝度 50%
2D イメージャ エンジン (SE4710) の仕様	
読み取り幅	水平 - 42.0° 垂直 - 28°
画像解像度	1280 (縦) x 800 (横) ピクセル
回転	360°

表 18 TC25 技術仕様 (続き)

バッテリー ラッチ	名称
ピッチ	±60°
スキュー許容差	±60°
周辺光	直射日光: 10,000 フィート キャンドル (107,639 ルクス)
焦点範囲	読み取り部前面からの距離: 9.4cm (7.64インチ)
レーザー照準波長	LED: 610nm 照準ドットの明るさレベル: 130fcd (公称)
照明システム	LED: ハイパーレッド 660nm パターン角度: 水平 53°、垂直 32°、輝度 50%

表 19 データ収集読み取り可能コード

項目	説明
1D バーコード	Code 128、EAN-8、EAN-13、GS1 DataBar Expanded、GS1 128、GS1 DataBar Coupon、UPCA、Interleaved 2 of 5、UPC Coupon Code
2D バーコード	PDF-417、QR Code

インデックス

数字

5 スロット充電専用クレードル キット 119

B

Bluetooth 107, 114
 PIN 115
 セキュリティ 115
 電源の状態 116
 プロファイル 116
Bluetooth ヘッドセット 58
Bluetooth ヘッドセットの使用 58

D

DataWedge 49, 106
Datawedge のデモ 84
DC 電源コード 121
DWDemo 50

E

EAP 113
Extended Power Pack 119

M

microSD カード 16, 22

P

PTT Express 86
PTT ボタン 14

R

RS507 スキャンング 103
RS6000 スキャンング 102
RxLogger 89

S

SIM カード 24

U

USB 56
USB を使用したファイルの転送 56

W

WEP 113
Wi-Fi ネットワーク 113
WLAN 107
WLAN に接続 113
WPA 113

あ

アプリケーション 49
アーム マウント 120
アルバム 80

い

イメージャ スキャン 95

う

ウェイクアップ ソース 32

お

オペレーティング システム 10
音声モード 58
音量の調節 59

か

会議通話 63
カメラ 15, 49, 74

インデックス

カメラの設定	76	スキャン ボタン	14
画面		スクリーン保護シート	120
ロック解除	53	ステータス アイコン	37
画面の回転	29	スピーカ	14
画面のタイムアウト	29	スピーカ モード	58
画面のフォント サイズ	30		
画面のロック解除	53	せ	
関連ソフトウェア	11	セキュリティ	113
関連文書	11	設定	51
		ウェイクアップ ソース	32
き		カメラ	76
規則		サウンド	31
表記	11	ディスプレイ	29
機内モード	28	ビデオ	77
機能	14	フォント	30
キーボード	44	センサ	158
ギャラリー	79		
緊急通話	58	そ	
近接センサ	15	ソフト ホルスタ	120
		ソフト リセット	55
く			
クリーニング	151	た	
クリーニング方法	151	ダイヤラの使用	59
クレードル		ダウンロード	49
コネクタのクリーニング	153	タッチスクリーン	44
クレードル結合アダプタ	120		
クレードル マウント	119	つ	
		通知アイコン	38
こ			
構成	10	て	
コード	160	ディスプレイ	
		クリーニング	152
さ		ディスプレイの設定	29
サウンド設定	31	低バッテリー通知	27
サウンド レコーダ	51, 85	適応型周波数ホッピング	115
サスペンド モード	56	データ収集	10, 95
		デバイスのリセット	55
し		電源	120
時刻の設定	28	電卓	49
写真	74		
写真の撮影	74	と	
写真設定	76	時計	49
写真転送	57	トラブルシューティング	154
使用可能な洗剤	151	トリガ ハンドル	120
情報、サービスに関する	12		
		な	
す		中黒	11
スキャン	95, 97, 99, 100, 101		
スキャン アプリケーション	84		

は

バッテリー	
管理	26
最適化	28
使用量の監視	26
低電力通知	27
バッテリー使用量	26
バッテリーの充電	20
ハード リセット	55
パノラマ	75
パノラマ写真	75
パノラマ写真の撮影	75
ハンズフリー イメージャ	96
ハンドストラップ	120
ハンドセット モード	58

ひ

光センサ	15
ピックアップリスト	96
日付の設定	28
ビデオ	74, 75
ビデオの設定	77
ビデオの録画	75

ふ

ファイル転送	56
ファイル ブラウザ	50, 69
フォント サイズ	30
フォント サイズの設定	30

へ

ヘッドセット モード	58
------------	----

ほ

ホーム画面	34
ホーム画面回転	36

む

無線ローカル エリア ネットワーク	107
-------------------	-----

め

メモリ	10
-----	----

ゆ

有害成分	151
------	-----

り

リスト マウント	120
リセット	55

れ

連絡先	49, 73
-----	--------

